



生活空間再生学ゼミナール

工学研究科

- 神吉 紀世子 教授** 専門分野：人間生活環境学
- 西山 峰広 教授** 専門分野：建築構法学
- 山岸 常人 教授** 専門分野：建築史学
- 上谷 芳昭 准教授** 専門分野：都市空間工学
- 小椋 大輔 准教授** 専門分野：生活空間環境制御学
- 聲高 裕治 准教授** 専門分野：空間構造開発工学

生活空間の価値と課題を考える

様々な文化遺産を含む多数の建築群からなる生活空間の安全の確保は、地球環境問題が21世紀の課題となり、さらに、巨大地震の発生が想定される状況の中で、現代の重要な緊急の課題となっています。ポケットゼミ「生活空間再生学ゼミナール」は、この問題意識にもとづいて21世紀の重要な社会的資源である建築群の再生と活用について考えることを目的としています。生活空間には、歴史的経過のなかで形成された住まい方の文化

とこれに関して展開する空間性があり、それ自体が価値あるものですが、環境負荷の低減、火災や地震時の安全性、社会構造の変動への応答等、現代において新たに直面している課題に応えつつ、将来にむけてより質の高い生活空間を伝え、創っていく営みが必要とされています。

多角的な視点

ゼミナールは、建築学専攻の計画系・構造系・環境系のそれぞれの系から2名ずつ、計6名の教員が講師となり、多角的な視点から生活空間の再生と活用について議論を行います。講義のほか、京都市内の建築物の見学、簡易な模型の作成と実験、環境測定とその分析等、系や講師の専門性をいかした多様な内容で開催しています。平成25年度は、「町並み調査と保全計画」「文化財建造物の修理の実態、既存木造建築の保存・修復・再生の基礎的考え方」「京都の大空間構造と支えるしくみ」「鉄筋コンクリートでつくる安全で環境にやさしい構造物」「健康で快適な住宅の温熱環境」「地球環境負荷低減のための再生可能エネルギー利用」の6つのテーマをとりあげました。

ゼミナールの風景～西陣にて（平成25年度）～

写真は、京都市内の西陣地区において伝統産業とそれに密接に関わる暮らしの空間を実地に見学した際のもので、建築物の特徴と同時に、伝統的町家の再生と新たな活用の取り組み、地震や火災に備えるための町家の構造補強の取り組みなど、地区で行われている生活空間再生の実際の取り組み例を、関係の方々を直接伺いつつ学び、さらに、町並み調査の作業体験も行いました。

自らの議論を

本ゼミナールを通じて、各自が、京都をはじめ国内外の都市や集落について、それぞれ独特の生活空間の特徴、安全の確保にむけた課題、再生手法のあり方などについて関心を深め、積極的に議論してほしいと考えています。



周北極域の世界: 亜寒帯林・環境・歴史

農学研究科

- 大澤 晃 教授** 専門分野：森林利用学分野

はじめに

ポケットゼミ「周北極域の世界：亜寒帯林・環境・歴史」では、私が長年研究してきた北半球高緯度地域の森林植生と環境に関する問題の基礎的な部分を含め、先住民の生活・この地域の歴史・地下資源の開発など、関連するいろいろな問題をいっしょに扱ってみることにしました。過度に専門的な議論を行うより、私自身これまで折りに触れて興味を持ってきた他の問題もいっしょに考えてみたいと思ったからです。新たに多くの資料を読みながら、学生のみなさんと一緒に勉強しています。

このポケットゼミでは北極圏とその周辺地域を含む「周北極域」の環境

を概観し、気候の温暖化によって進みつつある植生と環境の変化について考察します。現在この地域に住む人々が歴史的にどのようにこの地に定着し、亜寒帯林やツンドラ植生とどのようなかかわりを持って生活しているかも理解しようとしています。おもに18世紀以来ロシア、フランス、イギリスなどによる周北極地域への進出が進み、先住民の文化や生活に大きな影響を与えてきました。また今日では、石油、天然ガス、オイルサンド、オイルシェールなどの地下資源開発が進み、この地域の人々に影響を与えています。したがって、周北極地域の歴史的事実を踏まえ、またこの地域におこりつつあるさまざまな変化を総合的にとらえて、環境変化とその意味について考えることがこのポケットゼミの目的です。

ポケットゼミの内容

本来なら、周北極域に直接旅行して自然植生や環境を観察し、現地の人たちと話し、これらを行ったうえでいろいろな資料を読み、考える、という方法が理想です。しかし、毎週開講するスタイルの授業には収まりようがありませんし、旅費も高額になってしまいます。そこで、関連した資料をできるだけたくさん読み、足りないところは実際に現地へいったことのある私が説明し、スライドなどを見せ、イメージを膨らませた上で考える、という方法をとることにしました。周北極域に関する書籍で日本語で出版されたものはあまりないので、資料のほとんどは英語の文献を使っています。本来の調査・研究活動により近い学び方をしてもらうため、毎週20～30ページ分の英文を読んでいます。その中で重要だと思った部分を学生が順番で解説し、ディスカッションをします。扱っているテーマは、亜寒帯林植生、氷河期以降の気候と植生変化、地球温暖化と亜寒帯林、先住民の歴史、ロシアのシベリア進出、フランス・イギリスの北米進出と植民地経営、地下資源問題などです。

10 Faculties

京都大学の10の学部についてご紹介します。



学部紹介 Faculties

京都大学の10の学部紹介について

学部の特長、教育カリキュラム、学ぶ事ができる科目などについて述べられています。また、各学部の在学生や卒業生が自らの学部について語った生の声も収録しています。

みなさんが受験する学部を決める際の指針としてください。

- | | | | | | |
|----|--|--|----|--|--|
| 22 | | 総合人間学部
Faculty of Integrated Human Studies | 42 | | 理学部
Faculty of Science |
| 26 | | 文学部
Faculty of Letters | 46 | | 医学部
Faculty of Medicine |
| 30 | | 教育学部
Faculty of Education | 54 | | 薬学部
Faculty of Pharmaceutical Sciences |
| 34 | | 法学部
Faculty of Law | 58 | | 工学部
Faculty of Engineering |
| 38 | | 経済学部
Faculty of Economics | 62 | | 農学部
Faculty of Agriculture |



総合人間学部

Faculty of Integrated Human Studies

総合人間学部のホームページ：
<http://www.h.kyoto-u.ac.jp/>

入学についてのお問い合わせ：
総合人間学部教務掛 tel. 075-753-7875



【写真】「人間形成史論演習A」

新たな「人間の学」をめざして

総合人間学部が望む学生像

本学部の基本理念に共鳴し、積極的に総合人間学の開拓を志す学生、また文系・理系の既成の枠に縛られることなく、多様化する21世紀国際社会のリーダーたらしめる学生、未知の分野・未踏の地を恐れず、限りない好奇心をもつことのできる学生、学を究めるためにはいかなる苦労をもいとわず、その先に見えてくる新たな光に無上の喜びを感じることできる学生、本学部はそういう学生が門をたたくことを望んでいます。

総合人間学部への誘い

本学部は、平成4年10月1日に法令上設置され、平成5年4月に第1期生を迎えた、京都大学で最も新しい学部です。

この学部を「総合人間学部」と名付けた理由は、ここでの研究と教育が、自然と調和した人間の全体的形成を目標とするからです。「総合人間学」は、心理や思想といった内面、あるいは身体面からだけでなく、政治・経済・文化・歴史といった社会環境、さらには物質や生物などの自然環境との関係を含めて、人間存在のあらゆる面に光を当てようとする学問です。すなわち、人間と、人間をとりまく世界を、総合的に捉える学問の確立が、総合人間学部にも与えられた課題です。

現代社会の危機感の中にあるわれわれは、人間自身を最大のテーマとして取り上げます。そうしてこそ初めて人類生存や文明の可能性を追求することができるからです。このような根本問題の追究は、従来のように高度に専門化された研究だけでは不可能です。京都大学の自由な学風と伝統のもとに、既存の個別科学の枠を越えた、より多様で総合的な学問の場を提供することを、われわれはめざしています。

総合人間学部は、人間・環境学研究所(大学院)に直結する学部として構成されています。専攻分野の細分化を避けて、1学部1学科制をとり、総合人間学科の下に、人間科学系、認知情報学系、国際文明学系、文化環境学系、自然科学系の5学系を設けました。

120名の入学生は、最初の1年間どの学系にも属しません。そして、自由に広い学問分野に触れた上で、2年進級時に自らが主専攻とする学系を選択します。また広い視野を持つ創造性豊かな人間を育成する目的で、副専攻制度を設けています。これは各自の主専攻の他に、異なる学問分野を系統的に履修することによって、幅広い専門知識を身につける制度です。卒業の際に、学位記と並んで主専攻・副専攻を明記した専攻認定書が発行されます。

総合人間学部の教育

●5つの学系

総合人間学部には、5つの学系があります。

人間をめぐる現代の複雑な状況は、人間について蓄積されてきたこれまでの叡智をふまえ、人間についての根源的、総合的理解を緊急に進めることを、われわれに求めています。この要求に応えるため、思想、社会、文化といった多様な観点から、人間の総合的な把握がなされなければなりません。こうした観点から現代の人間の在り方を系統的に学ぶことによって、従来存在しなかった新しいタイプの人材を養成するため、「人間科学系」が設置されています。さらに、人間と機械の情報処理の問題を総合的に学ぶことは、焦眉の急となっています。脳の機能の探究から、人間の認知、行動発現、言語機能の探究、さらにはその基礎をなす情報科学や数理学にいたる広範な領域を深く学ぶために、「認知情報学系」が設置されています。

世界のグローバル化が進む状況のなかで、西洋ならびに近代主義と、非西洋ならびにその固有の文明を、多様かつ複合的な視点から捉えることが要請されています。近代主義を主として社会科学領域や歴史文化研究の側面から分析し、いち早く近代化した日本の在り方を検討するとともに、東アジアとの比較を行うことによって新たな国際的な文明の理念を構築するため、「国際文明学系」が設置されています。また世界各地の固有の民族性や地域性、人間にとって基本的な居住の視角から各文明の特質を解明し、文明相互の交流を理解するため、「文化環境学系」が設置されています。

自然を理解し、人間と自然の共生を保持するために、多様な自然現象を物理学、物質科学、生物科学、地球科学的手法によって探究し、自然現象の構造や基本原理を明らかにする必要があります。自然科学の諸分野の基礎を学ぶとともに、自然と人間の共生関係を維持するための自然観・物質観を養成するため、「自然科学系」が設置されています。

以上5学系から総合人間学部・総合人間学科が構成され、それらのダイナミックな連携のもとでの教育と研究をめざしています。

●専攻の決定

「文系」、「理系」という入学試験の形態にかかわらず、自由な学風のなかで、幅広い学問分野に触れ、自分の専攻する分野を見極めた上で、2年進級時に主専攻を決めて、学系に所属します。

●4年一貫教育

柔軟で広い視野をもつ知性の涵養を目的とした全学共通科目と、総合人間学部固有の授業科目とを4年間を通じて有機的に結合させたカリキュラムが実施されます。大学院「人間・環境学研究所」の教員が、総合人間学部の学部教育を担当し、指導教員となっています。また、指導教員とは別に、教員アドバイザー制度を設け、履修上の指導と学生生活上の相談に応じます。

●副専攻制度

総合人間学部では、広い視野を持ち創造性豊かな人間を育成する目的で、主専攻のほかに、副専攻の制度を設けています。副専攻は、各自が所属する学系の専門分野以外の特定の分野を系統的に履修する制度です。これによって、専門以外の分野でも深い知識と素養を身につけることができます。副専攻は、指導教員等とよく相談の上、各自で選択します。副専攻を修得したことに對しては学士の学位記とは別に副専攻名を記した認定書が発行されます。



Message

在学生メッセージ



「総人での学び」

人間科学系2回生
(県立千葉高等学校(千葉県)出身) 吉川 将平さん

僕はリベラルアーツへの憧れ、分野を越えて自由に学びたいという思いから総人を選びました。総人は履修制限が緩く、割と好き勝手に授業が受けられます。実はこれが自分の興味関心について考える機会になり、関心や視野を広げることもできて。色々な講義を受けるうち、どこかで繋がりが見つかって、ひとりりで集約していく。驚くことに、沢山の総人の先輩方が同じことを言うのです。院生や教授の方々との距離も近く、今年はなんと学生と教授陣の共同プロジェクトまで始まりました。

また、周りの総人を見ていくと、サークルで部長や会長をやる人が多いですね。自分でサークルを作る人もいます。それから総人 OBOG には自分で会社や事業を創る人も多く、総人で学んだリベラルアーツが活かしているそうです。

型通りの「勉強」だけでない総合的な学び、それが存分にできる場が総人です。



「総人＝知的好奇心を満たす場所!」

認知情報学系4回生
(岡山芳泉高等学校(岡山県)出身) 土手 しきほさん

総合人間学部に入ってよかったと思うことは自分が興味のあることに何でも取り組めること、様々なことを学ぶ人々と友達になり話ができることです。高校生のころ私はやりたいことが多すぎて、自分が何が一番興味があった学んでいきたいのかわかりませんでした。だから、何でも学べる総合人間学部で1,2回生の頃は様々な授業を選択したのですが、その中で認知神経心理学に興味を持ち、現在は人の顔を記憶する際の処理水準の違いが与える差に関して学び研究しています。総合人間学部には、パレスチナ問題に関心がある人、東南アジアの文化に興味がある人、運動や食生活が健康に与える影響に関して研究している人等、様々なことを学ぶ人がいます。何でも学べる環境で友達からも様々な刺激を受けて充実した日々を過ごすことができます。



● 大学院「人間・環境学研究科」

総合人間学部の大学院進学志望者の多くは、「人間・環境学研究科」に進学しています。また、本学の他の研究科や他大学の大学院に進学することもできます。「人間・環境学研究科」には、次の3専攻が設けられています。

共生人間学専攻

人間は、個体であると同時に共同体をなす共生的存在です。本専攻は、人間がもつ基本的諸機能の解明を通して、共生的存在としての人間の在り方を解明するとともに、それに由来する諸問題の解決を可能にする学、すなわち「共生人間学」を目指します。このため、人間社会論講座、思想文化論講座、認知・行動科学講座、数理科学講座、言語科学講座及び外国語教育論講座の6講座を設置しています。

共生文明学専攻

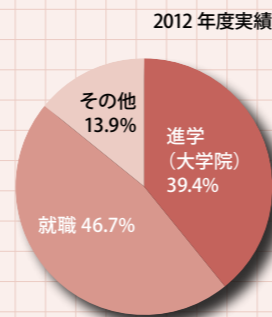
文明間の対立が深刻化する今日、これを回避するための文明間の対話がいまほど強く求められている時代はありません。本専攻は、このような地球的視点と未来への展望をもとに、文明相互の共生を可能にする学、すなわち「共生文明学」を目指します。このため、現代文明論講座、比較文明論講座、文化・地域環境論講座及び歴史文化社会論講座の4講座を設置しています。

関連環境学専攻

人間の未来は、自然と人間の調和的共生を図るべく、いかにして科学技術と産業とを導いていかにかかっています。本専攻は、この調和的共生を可能にするための新しい科学技術と社会システムとを探索する学、すなわち「関連環境学」を目指します。このため、共生社会環境論講座、分子・生命環境論講座、自然環境動態論講座及び物質環境論講座の4講座を設置しています。

卒業後の進路

進学：約4割が人間・環境学研究科等の大学院へ進学します。就職：就職先は官公庁や教育機関、マスコミやIT関係といった情報通信業、金融業、化学・電気・機械等のメーカー、広告会社等のサービス業等、総合人間学部の特色を示すように多岐に渡っており、卒業生は社会の広い分野で活動しています。



就職先の例

(株)IHI / JFE スチール(株) / (株)富士通 / (株)ニコン / トヨタ自動車(株) / 伊藤忠商事(株) / 丸紅(株) / 数研出版(株) / 日本生命保険(相) / (株)三井住友銀行 / (株)ジェーシービー / 朝日放送(株) / (株)朝日新聞社 / 阪急電鉄(株) / 中国電力(株) / 京都市役所 / 国土交通省 / 教員(高等学校)

総合人間学部で取得可能な資格

総合人間学部では、下記の種類、教科について課程認定を受けています。教育職員免許法の定めにより、所定の単位を修得し、所定の手続きを行えば免許状が取得できます。また、博物館等の学芸員や図書館司書の資格も他学部の科目を修得することで、取得することができます。

総合人間学部で取得できる教育職員免許の種類及び教科

種類	教科
中学校一種	国語, 社会, 数学, 理科, 保健体育, 英語, ドイツ語, フランス語
高等学校一種	国語, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 保健体育, 情報, 英語, ドイツ語, フランス語

Message

卒業生メッセージ

2008年 文化環境学系卒業
伊藤忠商事株式会社 勤務



吉田 雄一 さん

「京都大学で学び、育んだもの」

2008年3月に京大を卒業してから早や5年が過ぎ去ったが、在学時代の日々を未だに昨日の如くに思い出す。希望に胸をふくらませて入学した2004年4月。「周りと違うことがしたい」と始めた競技ダンスとアラビア語。他学部にも増してユニークな仲間が集まっていた総人。語り出せばきりが無いが、全ての景色が今も色あせることなく、脳裡に焼き付いている。現在社会人6年目となった僕は、「大学で学び、育んだものは何か」と、ふと思うことがある。知識・教養や物の見方、語学ももちろんその一部なのだが、やはりここで強調したいのは「学びを楽しむ姿勢」である。現在、総合商社で勤務する僕は、急速に変化し続ける世界(経済)の波に揉まれながら日々仕事をしており、中国語や国際司法等、「新しいもの」を(短期間で)習得する必要性に迫られている。そんな折、自分を支えてくれるのはやはり、京大総人で学び、育むことができた「学びを楽しむ姿勢」であると痛感している。

2009年 国際文明学系卒業
外務省 勤務(フランス滞在)
(女子学院高等学校(東京都)出身)



塚田 美貴子 さん

「好奇心を広い視野と自由な発想に育てる空間」

法学や経済学に絞ってしまうのではなく、幅広くものごとを考えたい!と思い、総合人間学部に入學しました。西欧近代史や現在世界を取り巻く状況を「文明」という視点から考えるダイナミックな学問はとても刺激的でしたし、他方で都市空間を文学・社会学・建築学といった多方面から考えるというような全く異なった分野もいくつも学ぶことができるので、好奇心の強い方には魅力的な学部だと思います。そして、東京から来た私にとっては、ゆっくりした時間の流れと自然がある環境の中で4年間自由に過ごした経験は貴重なものになりました。現在携わっている外交という分野では、世界の大きな流れを捉え、そこに働きかけていくことが求められますが、総人で学んだ、視野の広さと自由にものごとを組み立て考えることは今の自分の基礎となっていると感じます。

学系紹介

人間科学系

本学系は、既存の人間についての知を踏襲しつつ、より包括的根底的な人間理解を目指しています。その道筋として3つが考えられます。第一は「思想」の方向で、人間存在の哲学的、倫理的な解明ならびに芸術などの創造行為の思想的、歴史的解明です。第二は「社会」研究の方向で、社会的存在としての人間の形成や社会行動について実証的、理論的研究です。第三は「文化」研究の方向で、文学や映画などの文化現象についての歴史的社会的な研究です。「思想」、「社会」、「文化」の三方向はさらに以下の6分野から成り、それらは相互に有機的に連関し、人間についての知を刷新して、新たな総合的学構築を目指します。

人間形成論, 社会行動論, 文化社会論, 人間存在論, 創造行為論, 文芸表象論



[写真] ホッティチェリ《リベラル・アーツに導かれる若者》
背景は宇治分校正門(昭和31年)

認知情報学系

脳、身体、言語、数理情報などに関する研究をとおして、人間の多様な創造世界に関する理解を深めることが本学系の目的です。人間同士、あるいは人間と環境との関わりは、脳、身体、言語等をインターフェイスとして行われています。環境の認識と環境への働きかけは脳内の認知機構と行動制御機構によって実現されるものです。人間相互のコミュニケーションは言語システムを媒体に行われ、それを媒介する計算機の情報処理には複雑な数理機構が関与しています。本学系では、人間の健康や脳の機能から、人間の認知、行動発現、言語機能、そしてその基礎となる運動・代謝栄養医学、情報科学や数理科学に至るまで、人間や機械の情報処理システムを総合的に学びます。その過程で、理系・文系という枠を超えた幅広い探究能力と、人間の認知行動の包括的理解に基づく科学的で柔軟な思考能力を身につけることを目指しています。

認知・行動科学, 数理情報論, 言語科学, 外国語教育論



[写真] MRIを用いた実験風景

国際文明学系

社会科学・人文科学の諸分野が、「タコツボ化」して柔軟さや他分野との連携を失い、現代社会が直面する深刻な諸問題の解決に十分な対処ができなくなったとする指摘がなされるようになってすでに久しい。それを克服すべく、本学系において学生諸君は、社会科学系諸分野、日本・東洋・西洋の歴史と文化に関する諸分野から、主専攻を選び、その研究に従事するとともに、関連する諸学問を領域横断的に学ぶことになる。これを通して、真の意味での「ユニバーシティ」で学んだ者が体得する、高度で幅広い教養(リベラルアーツ)と、柔軟な思考に裏付けられた専門知の習得を目指してもらいたい。「何をどう学ぶか」を自分で設計したいと願う意欲的で主体的な学生を期待する。

社会相関論, 歴史文化社会論



文化環境学系

本学系では近代文明のグローバル化が進化する現代にあってその基層単位をなす世界各地固有の民族性や地域性、人間社会にとって基本的な人間活動や居住の諸相の実態と、将来的な意義を見定める視座の確立を追及します。また各文明の地域的特性を多角的に比較しながら、文明相互の交流とその文化的所産、さらには文明の自己相対化の諸相を種々の記憶にも留意しつつ複眼的な視点から解明します。教育方針としては、文明・文化や環境に関して日本人の常識が必ずしも世界の常識ではないこと、文明・文化はたえず交流変化しつつ、その自己同一性は長く保たれるという複雑な存在であることを理解し、文明・文化や環境の諸問題を研究する上で、現場で学ぶことの重要性を身につけてもらいます。

比較文明論, 文化・地域環境論



自然科学系

自然科学系は、物質や生命、地球、さらには宇宙を支配する基本原理やその間の相関関係を理解することを目指した学系です。物理科学、化学・物質科学、生物科学、地球科学で構成されています。それぞれの学問領域が持つ基本的な考え、知識を基礎とし、さらにその間の壁を越えて新しい領域を模索するために必要な教育と研究が行われています。自然科学の基礎に基づく「自然観」と、他の系での学修から得る「人間観」を組み合わせ、新たな知の創造をめざします。講義は、大学院人間・環境学研究科の以下の研究分野に属する教員によって行われます。

分子生命環境論, 自然環境動態論, 物質相関論



[写真] 地球科学演習C(伊豆大島巡検)





文学部

Faculty of Letters

文学部のホームページ：
<http://www.bun.kyoto-u.ac.jp/>

入学についてのお問い合わせ：
文学部第一教務掛 tel.075-753-2709



【写真】山東京伝の似顔絵

文学部が望む学生像

文学部における教育は、人文学の名のもとに、思想、言語、文学、歴史、行動、さらに現代文化に関わって展開されてきた諸学の成果を学生に教授し、共に学び考えながら、新たな知的価値を創出することをめざしてなされるものです。そこでの活動には、単に文系の範疇に含まれるものだけでなく、高度な数学的方法や実験的手法、また情報処理の技術が必要とするものもあります。文学部は、人文学の諸学問に関して、こうした幅広い能力を具え、かつ深い教養と倫理性にも優れた人材を育成することをめざしています。過去から現在に至り、さらに未来にまでびる人類の営みについて、様々な角度から関心を寄せ、柔軟な思考力によって問題を発見し、その解決のため、論理的に、また歴史的に、創造性豊かな考察を展開することのできる学生を歓迎します。

文学部への誘い

文学部は2006年に創立100周年を迎え、次の100年に向けて新たな一歩を踏み出しました。創立以来何度かの改組を経て、現在文学部には、哲学基礎文化学、東洋文化学、西洋文化学、歴史基礎文化学、行動・環境文化学、基礎現代文化学の6つの系と、その中に32(大学院では31)の専修が設置され、人類の思想や言語文化、歴史、行動さらには文化全般に関する諸学問をカバーしています。

文学部の多種多様な研究を束ねるキーワードは、人間とその文化的営みです。ですからその研究は、人類文化の遙かな起源から現代まで、地理的に日本から始まって地球の全域に及びます。そのため、文学部の系と専修も実に多種多様です。それぞれの専修は、独立した研究室を形成しており、学部生は教員や大学院生と授業等の場を共有することを通して、多くのことを学んでゆきます。さらに研究室の多くは、他大学で研究者として活躍している卒業生を加えた研究会を運営しています。この研究室を中心にした独自のネットワークの裾野が、各専修の学問的伝統を支えているのです。

「京都学派」と呼ばれる独自の自由な学風を育み、各界に多数の人材を送り出してきた本学部は、わが国の数ある文学部の中でも特筆すべき位置を占めています。100年を超える歴史を通して培われた文学部の勉学環境は、他所ではなかなか体験できるものではありません。これから入学してこられる皆さんには、この文学部という知的交流の場にぜひ加わり、新風を吹き込んでほしいと願っています。

根源的な 人間理解への 多元的な アプローチ

文学部の教育

●国際化と新しい研究者の育成

他学部と同様、文学部における教育の大きな目標は研究者の養成にあります。日本研究であれ、外国研究であれ、国内の評価だけで研究者として認められた時代は終わりました。日本で学んだ研究者は世界の研究者と対等に渡り合い、自分の研究の価値を世界に認めさせ、国際研究水準の引き上げに寄与し、最終的には世界の研究者が、ナショナルリズムの垣根を越えて、相互理解の共通基盤に立つよう努めねばなりません。文学部では学部生の段階から、留学や外国人研究者との交流、さらには学際国際シンポジウムなどへの参加を通じて、国際スタンダードにかなった研究者を育てようとしています。

●文学部の4年間

文学部の学生が1回生の時に履修する科目はほとんどが全学共通科目です。学年が進むにつれて勉強する分野が限定されがちですので、1・2回生の間はできるだけ幅広い学問分野に触れておいた方が長期的にプラスとなるでしょう。また、この時期は所属専修が決まっていなはいとはいえ、ある程度将来分属する専修を念頭にそれぞれに必要とされる外国語を勉強しておくことが望まれます。

2回生になるとときには、3回生で専修に分属する準備として6つの系に仮分属します。各専修が開講している入門的な講義や基礎演習といった学部専門科目を履修して、2回生の秋に希望専修を決定するのに備えます。もちろん3回生になる際に、他の系の専修を選ぶこともできます。2回生で履修する文学部英語や各言語の文献講読は系の分属に従ったクラス編成のもとで行われます。これは、各専門分野に関連した文献を読解するためのものです。

3回生では本格的な専門教育が始まります。各専修に分属して、講義の他、演習や特殊講義といった専門的な授業を履修しますが、中には大学院生と席を並べるものもあります。最初は圧倒されてしまうかもしれませんが、大学院生の真剣な態度から学問研究が身近に感じられるようになるでしょう。他学部比べて文献講読の形式を取る授業が多いかもしれませんが、専修によっては実験や野外実習(フィールドワーク)を課しているところもあります。

4回生では、卒業論文の作成が勉強の中心になります。各自が自ら論文のテーマを決定し、資料を集めて分析し、論文にまとめていく過程は、ときには苦しいかも知れませんが、一つのを完成する重要さを学ぶことができるでしょう。この経験は卒業後の社会生活にとっても非常に有意義なものです。そして大学院へ進学して研究を進めようと考えている人にとっては、卒業論文が本格的な研究の最初の一步となります。

入学から卒業までの流れ

学部4	特殊講義・演習等	卒業論文	研究指導
学部3	全学共通科目各群	各専修の特殊講義・演習等	
学部2	全学共通科目各群	系共通科目 講義・講読・実習等	
学部1	全学共通科目各群	ポケット・ゼミ	系共通科目 講義

全学共通科目
人文・社会科学系科目群、自然・応用科学系科目群、外国語科目群
現代社会適応科目群、拡大科目群

文学部・文学研究科科目

Message 在学生メッセージ



『好奇心を大切に』

心理学専修4回生
(ノートルダム清心高等学校(広島県)出身) 高田 茉莉花さん

「心が動く」「心を痛める」
私たちは心という言葉をよく使います。では、この心とは何でしょうか？心はどこにあるのでしょうか？
…こんな事を考えると、心理学という学問に少し興味が湧きませんか？私も心理学を専攻したのは「面白そう！もっと知りたい！」という単純な動機です。単純ではあるけれど、好奇心は1番大切な動機だとも思います。
心理学専修では、疑問を解き明かすため、学生が自主的に実験を進めます。これは簡単なことではないし、私自身まだまだ勉強不足を感じる日々です。それでも答えを求める過程は面白いし、自分の関心を追求できるのは幸せなことだと思います。
他の専修を含め、京都大学文学部には、学生の好奇心に応える素晴らしい環境が整っています。是非、自分の好奇心を大切に、充実した学生生活を送ってください。



『受験生の皆さんへ』

現代史学専修4回生
(津高等学校(三重県)出身) 長森 謙介さん

この冊子を読んでいる受験生の方へ。
僕が、京都大学に入学してはや3年と少し。この間にたくさんの方のことを学ばせてもらいました。学業はもちろんのこと、それ以上に一人の人として生きていく知恵を得ることができたと実感しています。
大学生になると環境が大きく変化します。学ぶこと、部活やサークル活動、さらにはアルバイトも含めてがらり生活が一新し、そんな生活の中で、教科書には載っていない知恵を蓄えることができました。
そして、僕は大学生活で出会った人々たちから刺激を受けることが一番自分を成長させてくれていると確信しています。特に京大にはすごいと思われたいような人だらけです。そう思える人々と交わることで、僕は自分を磨くことができました。ぜひ、皆さんも京大で自分を磨いてみませんか？

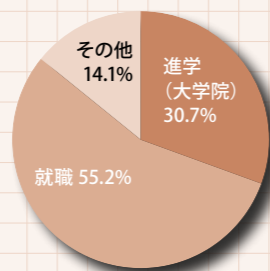




卒業後の進路

2012 年度実績

ここ数年は、就職者が50～60%程度、大学院進学者が30%前後、他大学や各種学校への進学者が3%前後で、男女別に見てもその割合は大きな変化はありません。就職者の特徴としては、これまでは、公務員、教員、マスコミ関係が多数を占めていましたが、最近では情報通信業、金融業に就く割合が高くなってきました。また、一つの企業等に集中して就職するのではなく、幅広い業種に分散しているのが、大きな特徴です。



就職先の例

JRグループ/川崎重工/公立学校教員/国家・地方公務員/産経新聞社/シティ・コム/私立学校教員/住友生命保険/日本放送協会/日本郵政グループ/富士通/毎日新聞社/三井住友FG/読売新聞社 等

文学部で取得可能な資格

文学部では、教育職員免許状の取得を目的とした教職課程をはじめ、博物館学芸員の資格取得の教育課程を設けています。また、地理学専修の卒業生で測量に関する科目を修得し、卒業後1年以上測量に関する実務を経験した者は、測量士の資格を取得できます。他に、教育学部開講の所定の科目を履修することによって、図書館司書、学校図書館司書教諭の資格を取得できます。

文学部で取得できる

教育職員免許の種類及び教科

種類	教科
中学校一種	国語・社会・英語・仏語・中国語・宗教
高等学校一種	国語・地理歴史・公民・英語・仏語・中国語・宗教

Message

卒業生メッセージ

2013年 西洋史学専修卒業
早稲田佐賀中学校・高等学校 教諭
(城南高等学校(福岡県)出身)

中村 大樹 さん



『自由を謳歌』

「とにかく面白い人と出会いたい」私が京都大学に入学した動機はこれに尽きます。入学後に会った私の友人はバラエティに富み、それぞれに自分の世界や得意分野を持ち互いにそれを尊重できる人たちでした。京大は大学の規模が大きいため、学外活動では自由に学部の枠組みを超えて様々な研究分野について交流する機会もあります。また実際に、私の卒論も指導教官の教授のご専門とは異なる領域をテーマとしていました。それほど自由な学風の中にあつて、私の想定を超えていたのは多くの京大生が象牙の塔にこもらず、積極的に社会に関わろうとしていたことです。

一見、実生活とは乖離しているように思われる歴史学も、それを本気で学ぶ者には筋道を立てて物事を考えられる論理的思考力を与えてくれます。それは自分の考えを相手と議論し交流するために不可欠な能力で、研究職を目指すのにはもちろん、一般企業に就職するにしてもその後の人生で役立つものです。

自由な学風は自己責任と表裏一体であり、たしかに厳しい側面もあります。しかしそれは、きっとあなたに多くの選択肢を与えてくれることでしょう。あなたも京都大学の自由な学風を謳歌しませんか。

2012年 フランス語学フランス文学専修卒業
文学研究科文献文化学専攻
修士課程2回生
(奈良高等学校(奈良県)出身)

大山 明子 さん



文化のステンドグラスを求めて

初めての海外経験—学部時代に経験した交換留学は、フランスという国の空気にじかに触れ、そこに生きる人とことばを見つめ、その中に溶け込んでゆく、まさに「体験」という言葉がぴったりのものでした。そして、日本に関心を寄せ、日本語を勉強する多くのフランス人学生の眼差しはそのまま、自らの自国文化への眼差しへと転じてゆくのでした。

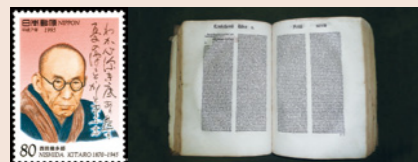
京都大学へ各国から来る学生と一緒に授業を受け、交流することもまた、様々な国を知り、日本を世界の中に見いだすきっかけを与えてくれます。

国際的な視野が求められる時代。そのきっかけとなり基礎となるのは、多様な文化をまず「感じる」ことでしょう。その感覚がしっかりとした枠を作り、私たちの心を彩り、そこに光がさし込む時、より豊かで実際の世界像が浮かび上がるのだと思います。

学系紹介

哲学基礎文化学系

哲学基礎文化学系は、様々な文化圏・言語圏において蓄積されてきた哲学・思想を学び、新しい時代の思想の担い手たらしめる人材を育成する「場」です。そこはまた、社会や他の学問領域において自明とされている事柄が、原点に立ち返って問い直される「場」でもあります。たとえば、「殺人は悪。」これは現代日本の常識です。でも、その根拠は何でしょう。そもそも「善・悪」の区別には、どんな意味があるのでしょうか。また科学や歴史学は「実証的な学問」を目指しています。しかし、ここで標榜されている「実証性」とは一体何なのでしょう。「人間にとって宗教とは何か」、「美とは、芸術とは何か」。これらの問いを問うことは、文系・理系の枠を超えた人間の知的営み全般へと眼差しを向けることでもあります。哲学基礎文化学系とは、そんな知的野心あふれる「場」でもあるのです。



[写真] 左：西田幾多郎
右：アウグスティヌス「告白」の冒頭部分。1491年シュトラスブルグで刊行された最初の印刷本(インクナブラ)。文学研究科蔵

東洋文化学系

東洋文化学系では、日本・中国・インド・チベット等東アジア諸地域の文学・思想・宗教・言語などを中心に、広く時代を超えた研究を行っています。専門分野によっては、もう一步踏み込んで科学や芸術、さらに現代のサブカルチャーまで足を踏み入れることになるかも知れません。基礎となるのは、なによりも文献資料の原典をきちんと読むこと。原文でしかわからない意味や美しさを理解するには、しっかりした語学力が不可欠です。研究を進展させるには、英・仏・独を始めとする外国語を駆使する必要も出てくるでしょう。

私たちは東洋に身を置き、東洋で生まれた作品群と日々向き合っています。しかしその過程で、しばしば外の世界から向けられた視線や、外の世界に根を下ろして新たな伝統を育む「東洋」と遭遇することになります。わかったつもりでいたことが姿を変えて再度眼前に現れるのです。そんな時、私たちは、人間が創造する文化の普遍性と独自性に思い至ります。東洋と世界はどのように関わるのか、歴史的伝統と現実はどうつながっているのか、文学や芸術の想像力はどんな世界を作るのか。正確な専門的知識、分野を超えた広い視界、その両者をあわせて考えてみてください。



[写真] 左：中国語学中国文学研究室所蔵の貴重資料
右：デルゲ版チベット大蔵経『般若経』

西洋文化学系

西洋文化学系は、ヨーロッパおよびアメリカの文化と社会について、主として文学と言語の視点に立つて研究教育を行っています。取り扱われる時代は、古典古代から中世、近代、現代までと広範囲にわたっています。どのような研究対象を選ぶにせよ、文献資料の正確な読解と整理が研究の基礎となるため、まず十分な語学力を養うことが大切です。ただ本学系での研究は語学の習得にとどまらず、そこから創造的な読解へと進んでいくことが共通の特徴です。また文学や言語文化について考察したい人、文学理論や批評に関心のある人にとっても最適の場所です。図書館には貴重な文献が多数所蔵されており、意欲のある人にとって無尽蔵の知識の宝庫となるでしょう。本学系は長い学問的伝統を誇り、多くの優れた研究者を養成してきました。他方、卒業後に就職する人も大勢います。本学系で習得できる能力は語学力に限らず、幅広い理解力、読解力、コミュニケーション能力など社会生活の基本となるものであり、卒業生は報道、出版、流通、官公庁など多方面で活躍しています。



[写真] 左：授業風景(スラブ語学スラブ文学)
右：授業風景(アメリカ文学)

歴史基礎文化学系

歴史基礎文化学系は、日本史学・東洋史学・西南アジア史学・西洋史学・考古学の5つの専修科目によって構成されています。文献史料を主な材料とする前者と考古学では、研究方法は大きく異なりますが、いずれも人類社会の発展の状況を時間軸に沿って跡づけ、考察しようとする点では共通しています。また、文献・史料を読み解く基礎学力を重視し、演習・実習の授業の充実にも努めている点も5専修の共通点です。文学研究科図書館だけでなく、附属図書館・博物館や人文科学研究所など近隣の施設にも豊富な文献や資料が所蔵されています。また、他の系で行われている授業—たとえば、地理学や現代史学、東西の古典語などを合わせて学ぶことにより、人類文化の営みを総合的にとらえる視点を獲得することができます。とても恵まれた学習環境にあるといえるでしょう。

本学系は、京都大学文学部(当時は京都帝国大学文科大学)創設以来、日本の歴史学・考古学の発展を牽引してきました。現在、日本国内はもちろんのこと、国際的にも研究と教育の拠点として、ますます重要な役割を果たしています。



[写真] 左：文学部陳列館
右：織田信長朱印状

行動・環境文化学系

心理学専修では、心の働きを実験を通して研究しています。基礎心理学、実験心理学、基礎行動学の分野では認知を中心とする基礎的領域を扱い臨床心理学は含みません。

言語学専修では、人間の言語が機能する仕組みについての理論的研究、現在話されている言語を調査・分析し記述する研究、古文書を読み言語の変化や、文献以前の言語について推定する研究などが行われています。

社会学専修では、社会の構造や変化、人々の関係、文化などについて研究します。地域、家族、ジェンダー、メディア、福祉、環境など様々なトピックを扱い、社会調査にも力を入れています。

地理学専修では、地域の形成過程や地域構造の分析を通して、地表空間における様々な人間活動を研究しています。地理学、地域環境学、環境動態論の各小分野では、地域現象全般、人間と環境の関係、景観とその変遷を対象とした研究を扱っています。



[写真] 左：台の上にヤシの実を置いて石で叩き割るフサオマキザル(サンパウロ市・チエテ国立公園)
右：計量分析の授業

基礎現代文化学系

基礎現代文化学系は、科学哲学科学史、二十世紀学、現代史学、情報・史料学という4つの研究分野からなり、現代の文化と社会について、人文系の視点から考察することを目指しています。現代は、人類史においてももっとも大きな変貌を遂げた時代だと言われます。その変貌を捉えるために、哲学や歴史、思想、文学といった従来の研究分野のみならず、映像や科学、情報といった、これまで人文学ではあまり扱われてこなかった分野をも視野に入れ、現代をつねにグローバルな視点に立つて考える学際的な研究を行っています。

科学哲学科学史専修は、自然科学という人間の営みを哲学的、史的に研究しています。情報・史料学専修は、人文学と情報学が融合した新しい領域を開拓しています。二十世紀学専修は、20世紀の大衆文化とメディアを研究し、映像・画像研究やジェンダー論など多様な領域におよんでいます。現代史学専修では、現代史は世界史であるという観点から20世紀の歴史を研究しています。



[写真] 左：文献研究用ツール SMART-GS で、手書きドイツ語日記から「幾何」という単語を探す。
右：寄託された大伴昌司資料の展覧会案内ビラ



教育学部

Faculty of Education

教育学部のホームページ：
<http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/>

入学についてのお問い合わせ：
教育学部教務掛 tel. 075-753-3010



【写真】授業風景

人間らしさを擁護し促進する態度を養う

教育学部が望む学生像

20世紀は教育が学校中心に機能した学校教育社会でした。しかし、21世紀は学校社会だけでなく、社会のさまざまな場所と一人ひとりの人生のさまざまな局面とにおいて、人間形成の営みがゆるやかにネットワーク化される「人間形成社会」が出現すると予想されます。これからの教育学は、この「人間形成社会」の展開過程で必要になる、新しい種類の「教育」を創造するという課題に取り組まなければなりません。

そのため、教育学部では、心と人間と社会について深い関心と洞察力をもち、柔軟な思考と豊かな想像力に富む学生を求めています。

教育学部への誘い

2009年、教育学部は創立60周年を迎えました。それとともに、改修により学舎も一新され、新たな歴史への一歩を踏み出しました。教育学部はこの60年、戦後日本の教育にかかわる諸科学と心理学の研究をリードしてきたのです。

教育学部は、教員養成を目的とした学部ではありません。現代の教育にかかわる諸問題を学問的に探究し、よりよき社会実現のための知

と技法を開発し、その習得をめざした学部です。現代の教育の諸問題は、複雑な要因が多層に折り重なっています。その諸問題に正面から向き合い、その解明のために、心や社会、人間それ自体に関するさまざまな学問とその方法を学ばなければなりません。人間を深く探究する人文科学、社会の仕組みや動きを解明する社会科学、人間の心に関する諸科学など、教育学部には、多様な学問を学ぶことができるよう、3つの系が用意されています。その意味で、教育学部は「教育」という現実的テーマを共有する「小さな総合学部」にほかなりません。

教育学部では、理論を実践に展開することと、そのためのフィールドを重視しています。学校に限らず、生涯を通じた人間の生成と変容を視野にいれ、21世紀に求められる新しい教育学と心理学の創出を目指し実績を上げています。少人数教育の徹底と、学問の多様さと、まとまりのよい一体感、これが教育学部の特徴です。

教育は未来を創る営みです。教育学部は未来にかかわる学問を学ぶ場です。変化の激しい現代は未来が見通しにくい時代。その分、教育にかかわる諸学問への期待と役割は、ますます大きくなっているのです。

教育学部の教育

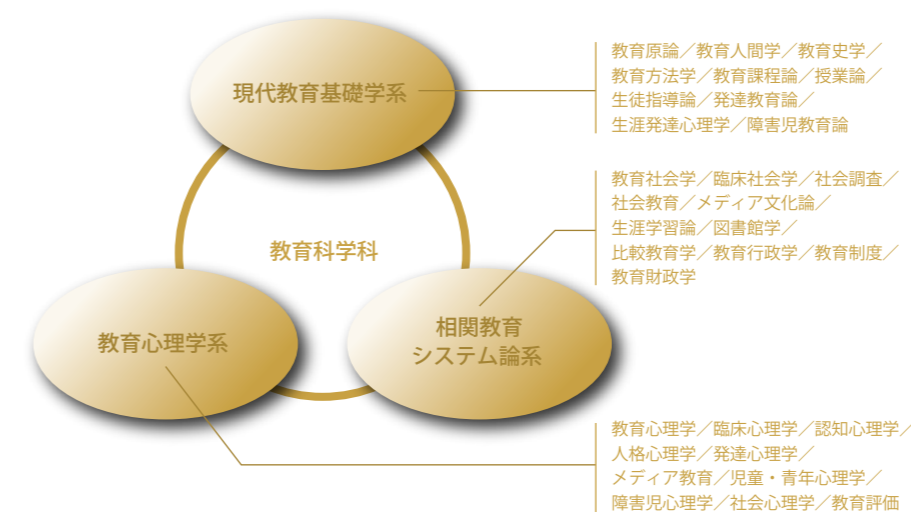
●学部教育の方針

教育学部においては、一般教育と専門教育を有機的に関連させながら、現代人にとりわけ必要とされる、広い視野と異質なモノへの理解、多面的・総合的な思考と批判的判断力を備えた「人間らしさを擁護し促進する態度」を啓発するための高度な一般教育と幅広い専門教育を行っています。

●学部4年間のカリキュラム概要

教育学部生については、1回生の必修科目として「教育研究入門」推奨科目として「情報学」を開講しています。また、全学の学生を対象にして、教職科目をはじめ、毎年継続的に多くの「全学共通科目」として講義及び少人数ゼミ等の教養教育科目を開講しています。

教育学部は、平成10年度から1学科（教育科学科）3大学科目（系）



【写真】京都大学教育学部・東京大学教育学部合同公開講座 高校生・大学生・大学院生のための進路セミナー「学校の先生」という仕事

Message

在学生メッセージ



教育学部の魅力

教育科学科2回生
(神戸海星女子学院高等学校(兵庫県)出身) 北井 瑠美さん

教育学部は一学年60人という少人数であるため学部生同士の仲も良く、とてもアットホームな雰囲気です。11月祭においては学部全体でステージや屋台を企画するので学年を越えたつながりを持つことができます。部活やサークルなど頑張る場所は一人一人違いますが、いつでも戻ることができるのが教育学部だと思います。

私は心理学を学びたいと思い教育学部を選びましたが、1回生の専門の授業で様々な分野の教授の講義を受けているうちに教育方法や発達教育にも興味を持つようになってきました。2回生からは専門の授業が主となりますが、教育学部では自分の興味のあることを幅広く学ぶことができるのも魅力の一つだと思います。

受験勉強は時に辛い時もあると思いますが、努力した先には充実した大学生活が待っているので頑張ってください。



自分を刺激し、高められる場所

教育科学科 関連教育システム論系3回生
(加古川東高等学校(兵庫県)出身) 黒澤 茂さん

皆さんは教育学部についてどのようなイメージをお持ちでしょうか。大半の方が教員養成の場だと考えているのではないかと思います。しかし京大の教育学部ではそれ以外にも幅広く学ぶことのできる場が用意されています。例えば私は教育行政に関心があるのですが、教育だけではなく、財政学、経営学などつながりのある分野についても勉強しています。その他にも、この冊子を見ていただくと様々な学問分野が皆さんに対して開かれていることがお分かりいただけると思います。勿論、中学校、高等学校の教員免許を取得することも可能です。何を学ぶかは皆さんの自由です。もし「自由の学風」の下で学びたいのであれば、そして、教育に興味をお持ちであるならば、京都大学教育学部は皆さんの知的好奇心を刺激し、満たしてくれる場所となるはずですよ。

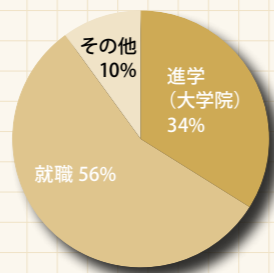




卒業後の進路

2012 年度実績

教育学部の平成 24 年度卒業生は 73 名で、そのうち 41 名(約 56%) が就職しています。その中には教育(学校)関係に就職し、教師等になった人も数名います。また、25 名(約 34%) が大学院に進学しています。残りの 7 名(約 10%) は聴講生等です。



就職先の例

大阪府教育委員会／愛知県庁／高知県庁／フジテレビ／日本旅行／三井住友銀行／中日新聞社／中・高等学校教員など

教育学部で取得可能な資格

本学部の修学期間内に教育職員免許法に定められた科目の必要単位を修得し所定の手続きをすれば、教育職員免許状の中学校 1 種、高等学校 1 種免許状を取得することができます。また、中学校、高等学校の免許状を取得し、免許法に規定する特別支援教育領域に関する科目の単位を修得すれば、特別支援学校教諭 1 種免許状を取得することができます。本学で取得できる免許状は、聴覚障害者・知的障害者・肢体不自由者に関する教育の領域です。

その他修学期間中に法律に定める科目の必要単位を修得すれば、それぞれ社会教育に関する指導・助言を与える社会教育主事、博物館の資料収集、保管展示及び調査研究などの仕事に携わっている学芸員、図書館法に規定している図書館において図書に関する職務に携わる図書館司書の資格を取得することができます。また、教育職員免許状を有する者が図書館学に関する科目の必要単位を修得すれば、学校図書館司書教諭の資格を取得することができます。

Message

卒業生メッセージ

2013 年 相関教育システム論系卒業
(株) 富士通ラーニングメディア 勤務
(大阪桐蔭高等学校(大阪府) 出身)



拝野 晃希 さん

教育学部が有する多様な学問形態

京都大学教育学部には、「人間」に関心を抱いている人が集まります。この文章を読んでくださっている皆様も、「人間」に興味を持つ方々でしょう。教育学部の素晴らしいところは、同じ興味を持ちながらも学びたいことの違う人たちと触れ合える点であると私は考えています。教育論を学ぶ人もいれば、心理学を学ぶ人も、教育政策を学ぶ人も、世界の教育を学ぶ人も。様々な興味の形が許され、お互いに刺激し合える環境がこの教育学部にはあるのです。

教育学部で刺激を受けた私は今、企業研修や教材開発の企業に入社し、より良い教育システムの開発に携わるといふ人生の方向性を見出して働いています。皆様方が「人間」に多大なる関心を持っていらっしゃるのなら、ぜひ教育学部の門戸を叩いていただきたいと思います。

2012 年 相関教育システム論系卒業
教育学研究科教育科学専攻
修士課程 2 回生
(旭丘高等学校(愛知県) 出身)



門松 愛 さん

「世界を舞台に教育について考える」

私は、漠然と人の成長に関わることを学びたいと思い教育学部に入学しました。教育学部に入って驚いたのは学べる内容の多様さでした。学部 1 年次の専門科目で、教育学部では心理学から哲学、方法論から社会学まで学べることを知り、わくわくしたのを覚えています。このような多数の専門分野のなかでも私が惹かれたのは、比較教育学という海外の教育の制度や実践を学ぶ学問でした。海外の教育を知ることで、教育の意義や望ましいあり方を、世界を舞台にして考えることができるのは意義深いことだと感じています。私は、この面白さにのめり込み、現在は研究者として研究に動んでいます。受験生の皆さん、大学には考えもしなかった世界が待っています。ぜひ貪欲に遊びに、学びに来てください。

学系紹介

現代教育基礎学系

この系では、教育という人間の営みについての原理や方法、その根底にある人間観、人間が文化、歴史、社会的存在として発達するプロセスに関する研究をおこなっています。根本的かつ複雑な人間の営みを問題とするため、この系の研究方法やアプローチは多岐にわたっています。哲学・思想研究、歴史学、人間学、方法学、発達理論など、広い視野での研究・教育が重視されている点が特徴です。

- 具体的には、以下のような問題を扱っています。
- 人間形成および教育に関する思考の枠組みはいかにあるべきか(哲学)
- 今日の教育の特徴は歴史的にどのような変遷のもとでできあがったのか(歴史学)
- 人間とは何かという問いのかかわりで大人と子どもとの関係はどのように捉えられるのか(人間学)
- 学校教育において、カリキュラムの編成や授業の実践はどのような仕組みと方法で行われるのか(方法学)
- 人間の生成や成長発達はどのように捉えられるのか(発達理論)

現代教育基礎学系では、現代の教育や人間に関わる諸問題を学問的に読み解き、教育という営みが実演される日常の舞台においてそれを捉えなおすことのできる幅広い識見、力量の育成を目指しています。そのため、多様で充実したカリキュラム編成がなされています。

教育原理、教育哲学、教育史、教育人間学、教育方法学、教育課程論、授業論、発達教育論、生涯発達心理学、障害児教育論など

教育心理学系

教育心理学系では、教育心理学、認知心理学、臨床心理学を中心に充実したカリキュラムが組まれ、他学部の心理学系教室とも連携して活発な教育・研究活動を行っています。

教育心理学では人の発達の特徴、教授-学習法、知能、メディア教育など、教育活動に密接にかかわる心理学的諸側面に関する知識の習得とその応用をめざします。認知心理学では、記憶、推論、意思決定、他者理解、共感といった高次認知過程の諸側面に関する主要な理論や知見を学習し、さらに心理実験調査等を実施して各自の研究をまとめます。臨床心理学では人格の形成、心理療法の諸理論、心の健康とストレス等に関する基礎知識を習得し、種々の心理検査の実習を通して臨床実践に役立つ手法を身につけます。教育心理学系では、心の仕組みとはたらきについての幅広い識見と柔軟な思考力の育成を基本としつつ、大学院進学希望者の指導にも力を入れており、教育心理学・認知心理学・臨床心理学の研究者をめざす人、大学院修了後に臨床心理士の資格取得をめざす人にも適した教育カリキュラムを整備しています。

教育心理学、臨床心理学、認知心理学、人格心理学、メディア教育、発達心理学、児童・青年心理学、障害児心理学、社会心理学、教育評価

相関教育システム論系

21 世紀は単に学校だけが教育にかかわるのではなく、社会全体が人間形成社会になり、そうした社会での教育の柔軟なありかた、ネットワーク化が課題になります。相関教育システム論系は、こうした方向を視野に入れて、教育と社会との結びつきを創造的に探求することを目的としています。教育社会学では、人間の社会形成にかかわる集団の教育作用について研究するとともに、学歴社会、青少年問題、教育変動などの諸問題を社会学の手法を用いて分析しています。生涯教育学では、図書館やメディアを含んで、生活のなかでの多様な学習のあり方を、とりわけ国際的・歴史的な観点から理論的、実践的な研究をしています。比較教育政策学では、国際的視野に立って、教育制度、政策、実践、理論などの比較考察をしています。また政策科学的視点からは、具体的に教育行政についての立案などを行っています。学部教育においては、これからの社会と人間に求められている重要な課題を意識したカリキュラムを提供し、特に少人数のゼミや講義に特徴があります。

教育社会学、臨床社会学、社会調査、社会教育、メディア文化論、生涯学習論、図書館学、比較教育学、教育行政学、教育制度、教育財政学

教育学研究科及び教育学部における研究・教育の概略図





法学部

Faculty of Law

法学部のホームページ:

<http://kyodai.jp/>

入学についてのお問い合わせ:

法学部教務掛 tel. 075-753-3107



【写真】法経本館外観

制度・組織の設計・運営を 指導できる人材を育成する

法学部が望む学生像

法学部では、世界・国家・社会の様々な問題に対する強い関心を持ち、多方面にわたる学力、とりわけ社会科学に関する基礎的な学力を備え、論理的思考力に優れた学生を求めています。

法学部への誘い

法学部は、明治32年(1899年)に法科大学として創設されました。それ以来、約36,000名の卒業生を世に送り出しています。

創設期の教授陣は、自由な学問研究を尊び、東京帝国大学とは異なる大学のあり方を模索しました。創設当初から行われた卒業論文制度とそれに関連した演習の必修化は、そうした模索の成果です。今では卒業論文制度は残っていませんが、演習を重視するとともに、自由選択の余地をできるだけ広げ、学生の自主的学修を奨励するという伝統は、脈々と受け継がれています。

法学部では、特に戦後の経済・社会の急激な変容、文化・科学の著しい進展に対応して講座数および教員数を拡充してきました。

平成4年(1992年)からは、研究・教育の国際化・学際化・高度化に対応して、それまで学部配置されていた講座を大学院に配置し、大学院講座の担当者が学部教育も担当するという組織変更を行いました。平成16年(2004年)には、法曹の養成を目的とした専門職大学院として、法科大学院を設置し、平成18年(2006年)には、経済学研究科と協力して、公共的な役割を担う高度専門職業人の養成を目的とした専門職大学院として、公共政策大学院を設置しました。

法学部は、国家や社会のあり方を見直したり、組織を運営する際に指導的な役割を果たせる人材を養成することを目的としています。今日、世界も日本も大きな転換期を迎え、それに伴って様々な問題が生じています。こうした状況に対応した新しい制度を設計するためには、文化の多様性を尊重し、平和な社会の実現に貢献できる豊かな国際感覚を備え、法律や政治の仕組みに関する専門的な知識を持ち、社会全体を視野に入れて知識を組み合わせる構想力を養わなければなりません。法学部は、こうした能力を備えた人材を育成するために、豊かな教養と法律学・政治学の基礎的知識を提供することを使命としています。

法学部の教育

●卒業までの単位取得の仕組み

法学部を卒業するためには、各科目を履修し、試験で合格点をとる必要があります。法学部の試験は100点満点で採点され、60点未満は不合格となります。合格した場合、各科目の授業時間に応じて単位が与えられます。

本学では、夏休みを境として、1年を前期と後期の2学期に分けるセメスター制を採用しています。外国語およびスポーツ実習科目を除いて、半期週1回(90分)の科目は2単位、半期週2回の科目は4単位となっています。

卒業に必要な単位数を構成する科目は、教養科目と専門科目に分かれます。教養科目は半期2単位が原則であるのに対して、専門科目には2単位科目と4単位科目があります。卒業するためには、教養科目を48単位以上、専門科目については演習2単位を含む80単位以上を取得する必要があります。

●第1・第2学年では主として教養科目を学ぶ

教養科目は、全学共通科目と法学部が提供する法学部基礎演習をいいます。全学共通科目は、人文・社会科学系科目群(A)、自然科学系科目群(B)、現代社会適応科目群(C)、拡大科目群(D)、外国語科目群(E)にわかれています。

卒業するためには、Aの科目群および法学部基礎演習から20単位以上、Bの科目群から8単位以上、Cの科目群から6単位以上(ただし、ABDの科目群の科目による代替可)を取得しなければなりません。

Eの科目群は、英語とその他の外国語からなり、英語を8単位以上(うち2単位については法学政治学英語I・IIが必修)、その他の外国語のうち1つを8単位以上取得しなければなりません。第1学年における外国語科目は、原則として学部のクラス単位で開講されます。

これらの教養科目は、原則として、卒業までのどの学年においても履修することができますが、実際には、主として、第1および第2学年で履修するようにカリキュラムが編成されています。なお、本学では、1年生のことを1回生、2年生のことを2回生と呼びます。

●高学年になるほど専門科目の授業が増える

専門科目は、科目の内容に応じて、履修することができる学年に違いがあります。

まず、1回生のみが受講・受験することができる専門科目として、法学入門I・II、政治学入門I・II、家族と法があります。これらは、いずれも導入的な科目にあたります。

次に、2・3回生のみに対応される科目として、憲法第一部、憲法第二部、刑法第一部、民法第一部、国際機構法があります。さらに、2回生・3回生に加えて、4回生も履修することができる科目として、刑法第二部と民法第二部があります。これらは、主として法体系全体の基本的な部分に相当する科目にあたります。

その他の専門科目は、原則として3・4回生に配当されています。ただし、政治学関連科目と一定の基礎法関連科目からは、それぞれ2科目に限って、2回生も履修することができます。さらに、経済学部の一部の科目も履修することができます。

なお、専門科目には、毎年必ず開講される基本的科目と並んで、新しい法現象・政治現象、企業における法実務などに対応する特別科目も年度ごとに開かれています。

以上のほか、演習(ゼミ)は3・4回生に配当され、半期2単位で、6単位まで履修できます。少人数クラスで周到な予習に基づいた活発な討論が行われています。

●科目選択の自由と主体的学習

こうしたカリキュラム編成を通じて、1・2回生では、広く深く教養を身につけることを主たる目標とし、専門科目の本格的な勉強は、それを基礎として特に3回生以上で行うことを推奨しています。専門科目では、必修科目はありません。このような趣旨を踏まえ、自分なりにどのような科目を選択し、学習計画を練っていくかは、すべて学生各自の主体的判断に任されています。ただし、専門科目については、学生に堅実な学習を促すため、各学期において履修登録できる専門科目の単位数に上限を設けています(キャップ制といいます)。

Message

在学生メッセージ



妥協を許さない環境

3回生

(大阪教育大学附属高等学校池田校舎(大阪府)出身) 韓 載東さん

京大へ行きたいという気持ちは高1のときからありましたが、もともとは他の学部を志望していました。受験直前になって法学部へ志望を変えたので法学部への動機は正直に言うところありません。ただ、京大法学部は法学科と政治学科に分かれておらず、どちらの学問も好きに学ぶことができるため入学してからでも自分のやりたいことを決められるのでよかったです。今はと云いますとすっかり法律に興味を湧いていて、法曹になるために日々励んでいます。京大の特徴として、いわゆる「自由の学風」がよく挙げられますが、僕はそれ以上に自分の周りの人たちが魅力的だと思います。優秀な人、努力家な人、様々な人がある中で自分もうかうかしてられない。お互いに刺激しあい切磋琢磨する。こんな環境が僕は好きです。



京都大学法学部というハコを通して

3回生

(南山高等学校女子部(愛知県)出身) 多和田 容子さん

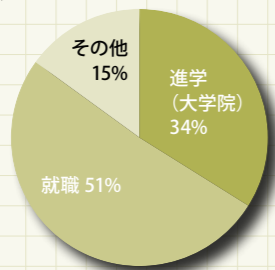
法学部に在籍していると、必ずと言っていいほど「弁護士さんになるの?」とお声を頂きますが、京都大学の法学部の卒業生の進路は様々です。私自身も政治系の職に就きたいとこの環境に飛び込みました。入学して分かったのは、それぞれの大学はハコであり、その中でも京都大学法学部は魅力的な友人や専門知識、イベントに関する情報や知的なサークル活動に至るまで何もかもが詰め込まれている「だけ」という事です。私達は、懇切丁寧な案内が得られない代わりに、そのハコから自分が欲しいもの、目指すべきものを選択し、掴み取っていくことができます。法律は勿論、政治についても一流の教授陣、才知溢れる学生の中で自分のための「宝探し」がしたい方、できる方は是非、京都大学の扉を叩いてみてください。



卒業後の進路

2012 年度実績

卒業生の進路は、国家・地方公務員、民間企業、法科大学院を含む大学院への進学など多方面にわたっていますが、なかでも、大学院進学者の約74%は、京都大学をはじめとする全国の法科大学院に進んでいます。また、平成18年度に設置された京都大学公共政策大学院は、入学者の約25%が本学部の出身です。民間企業への就職先としては、金融・保険業が比較的多いですが、業種を問わず幅広くなっています。



法学部で取得可能な資格

法学部では、教育職員免許状の取得を目的とした教職課程を設けています。また、法学部以外の学部が開講する科目を修得することにより、その学部で取得できる資格や、受験資格が得られることがあります。

取得できる資格の例

教育職員免許状(中学校1種社会・高等学校1種公民)

就職先の例

国家・地方公務員/商工組合中央金庫/三井住友銀行/三菱東京UFJ銀行/三井住友信託銀行/SMBC日興証券/野村証券/住友商事/大阪ガス/関西電力/東海旅客鉄道/西日本旅客鉄道/西日本電信電話/読売テレビ放送/シティ・コム/日本コントロールシステム/トヨタ自動車/マッキンゼー・アンド・カンパニー/楽天/日本たばこ産業/リオ・ホールディングス/三井不動産

専門科目

法学部専門科目	経済学部開講科目	演習
法理学、法社会学、日本法制史、西洋法制史、ローマ法、東洋法史、英米法概論、ドイツ法、憲法第一部、憲法第二部、行政法第一部、行政法第二部、税法、国際法第一部、国際法第二部、国際機構法、民法第一部、民法第二部、民法第三部、民法第四部、商法第一部、商法第二部、経済法、知的財産法、民事訴訟法、国際私法、国際取引法、労働法、社会保障法、刑法第一部、刑法第二部、刑事訴訟法、刑事学、政治原論、政治過程論、比較政治学、アメリカ政治、国際政治学、国際政治経済分析、政治学、日本政治外交史、政治思想史、行政学、公共政策、法学入門Ⅰ、法学入門Ⅱ、政治学入門Ⅰ、政治学入門Ⅱ、家族と法、外国文献研究(英・独・仏)、特別講義(日本政治思想史、存在論と政治、外交史、民事執行・保全法、アセット・マネジメントの実務と法、生命保険の実務と法、金融法と銀行実務、信託法の理論と実務、国際企業取引の実務と法)、特殊講義(環境と法)、演習	ミクロ経済学1、ミクロ経済学2、社会経済学1、社会経済学2、経済政策論、財政学、経済史1、経済史2、租税論、労働経済論、金融論、基礎統計学、経済統計学、経営学原理、会計学1、会計学2、経済学史、社会政策論、公共政策論	法理学、法社会学、日本法制史、東洋法史、英米法、ドイツ法、憲法、行政法、税法、国際法、国際機構法、民法、商法、経済法、国際私法、労働法、社会保障法、刑法、政治原論、政治過程論、比較政治学、アメリカ政治、国際政治学、国際政治経済分析、政治史、日本政治外交史、政治思想史、行政学、公共政策

法学部4年間の学生生活イメージ



入学式

京都大学全学の入学式の後、歴史ある法経第四教室で厳かな雰囲気なか、法学部だけの入学式も。

始業と履修登録

ガイダンスや先輩のアドバイスなどを参考にしながら、自分の時間割を作る。受講する授業を自分で決めることができるのが高校との大きな違い。1年生ではまだ法学・政治学の専門的な科目はなく、いろいろな分野の素養を幅広く身につけたい。また、語学の授業は法学部のクラス単位で受けることになるため、クラスの親睦の場となる。

後期試験

あつというまの1年の、ひとつの結果が出る。

ゼミ(演習)の登録

3年生からのゼミに関心をもつようになる。ゼミ登録は2年生の後期に行う。この頃から、学問の専攻や将来の進路の可能性などが現実のものとして目の前に広がる。

新入生を歓迎する立場に

勉学に、サークルに、アルバイトに、忙しくなってくる。

専門のサークルに目が向く
法学部サークル連合(略称:法サ連)という法学や政治学に関する活動を専門に行うサークルに入学する人も多くなる。



合格発表

新生活に胸をふくらませ、入学準備に奔走。

前期試験

夏休み前の7月に、大学生活はじめての定期試験がある。

専門科目が始まる

憲法・民法・刑法といった基礎科目が本格的に始動し、やっと法学部らしい勉強が始まる。

クラス発表

10あるクラスで、クラスメートと初顔合わせ。

11月祭

クラスやクラブ・サークルで出展。おおきな一体感が生まれる場でもある。

Message

卒業生メッセージ

2013年 卒業

京都府労働委員会事務局 勤務
(光泉高等学校(滋賀県)出身)

高田 裕生 さん



自由と責任

私がなぜ、法学部に心惹かれたのかと言えば、社会のルールを知りそれを仕事にしたいと思ったこと、そしてそれ以上に自由度の高い環境に惹かれたこともあります。

この法学部は専門科目として法律、政治、経済があり、ここからどんな授業をとるかは各々に委ねられています。学習環境も十分すぎるほど与えられているので、これをいかに活用し自らの学習を進めていくかは本当に自由であるといえます。

しかしその反面、法学部の単位認定は厳格です。勉強以外にも様々な活動ができる中、試験までに理解を深めておかなければ良好な成績を修めることは困難です。自らの責任で自分の行動をコントロールする必要があります。

自由な選択には責任が伴う。このような環境だからこそ「自由」の本来的な意義が自分の体験を通じ体感できるのではないのでしょうか。

2008年 卒業

2010年 法科大学院
(法学研究科専門職学位課程) 修了
2012年 法学研究科 博士後期課程修了
東北大学大学院法学研究科 准教授
(岐阜高等学校(岐阜県)出身)

今津 綾子 さん



法学部だからできること

法学部というと、裁判官や弁護士になりたい人だけが行くところ、というイメージがあるかもしれませんが、もちろん法曹を目指す人も多く在籍していますが、法律を扱う仕事はほかにもあり(私の選んだ法学部教員というのもその一例です)。さらに言えば基礎的な法的素養や思考方法は将来いかなる職業に就くとしても助けになります。視野を広げて新たな進路を拓いていくことも大学生生活の大きな意義ですから、あらかじめ具体的な進路を設定している必要はなく、むしろ柔軟な姿勢で多くのことを吸収してほしいと思います。京大法学部は、優れた教育を享受できる点、カリキュラムの自由度が高い点、高い意欲と能力を持つ仲間を得られる点においてこの種の研鑽を積むのに非常に適した環境であり、無限の可能性が用意されています。

進路を意識する

インターンシップ、就職説明会などに参加するようになり、就職がロー・スクールか大学院か、夏にはだいたい方向性を決めるケースが多い。

就職活動本格化

エントリーシートを書いたり説明会に出席したりとあわただしくなる。

ロー・スクール適性試験

5、6月にロー・スクールの「適性試験」が実施され、あらためて気を引き締めることになる。

ロー・スクール最終合格発表

ロー・スクールの合格者が決まる。

卒業式

4年間を振り返りながら、友と涙を流す歓喜の瞬間。

はじめてのゼミ

勉学生活の醍醐味は、なんといってもゼミ。議論に興じる輪が、至るところで見られるようになる。



それぞれの進路に応じた活動

ロー・スクール志望は自主勉強会などを開いて本格的に試験勉強に取り組む。公務員志望は、4月の試験に向けて猛勉強。一般企業志望は面接が真っ盛りとなり、東京や大阪を行ったり来たりの日々。

ロー・スクール入学準備

ロー・スクール志望(法曹志望)を決めた学生は、そろそろ試験の準備を始めなければならない。

省庁回り(公務員)

公務員試験の後には、省庁回りに励む。ここで、自分の志望する省庁を定める大事な機会である。

最後の試験

就職・進学先が決まった学生は最後の試験に挑み、卒業に向かって離陸準備に入る。





経済学部

Faculty of Economics

経済学部のホームページ：
<http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/>

入学についてのお問い合わせ：
経済学部教務掛 tel. 075-753-3406



[写真]「証券投資論」の授業風景

未来を切り拓く 柔軟な思考力と想像力を培う

経済学部が望む学生像

経済学部の教員たちは、経済学・経営学の教育は、すぐに役立つ知識を与えることではなく、学問的基礎のうえに柔軟な思考力と創造性を備えさせることだと考えています。そのため、大学において意欲をもって学び、社会に出てからの経済活動においても自分を成長させ続けようとする学生を望みます。経済学部は、これまで、産業・経営・学術・行政などの領域で活躍する人材を多数生み出しました。経済学部は、このような良き伝統を継承し、そこに自分なりの発展を付け加えようと意欲する学生諸君が入学してくることを望んでいます。

なお、経済学部は、平成21年度入試から高等学校の文系の教育課程に対応した一般学力検査による選抜(190名)だけでなく、理系の教育課程に対応した学力検査による選抜(25名)、論文を重視した選抜(25名)にも定員の一部を割いています。それは、数学などに現れる理学的才能や読解力と結びついた論文作成に現れる文科的な才能が経済学にむすびつくことを期待しているからです。

経済学部への誘い

伝統性と先端性の統合

本学の経済学部は1919(大正8)年に法学部(法科大学)から別れて誕生しました。法学部の時代にもすでに1899(明治32)年から経済学関連の講義がスタートしていましたから、その歴史は日本でも一、二という伝統をもっています。この長い歴史の間に京都大学経済学部は、多数の著名な研究者を輩出し、また個性的な実業界のリーダーや各方面で活躍する優れた人材を送り出してきました。さらに、本学部はたえず先端的分野の拡充をはかってきました。最近の例をあげると、2006年に経済学部・経済学研究科を母体として、新たにMBA取得コースとして経営管理大学院を開設しました。

自学自習と少人数教育の重視

京都大学は自由闊達な気風を求める「自由の学風」を歴史的に育んできましたが、経済学部も学生の自学自習・自発自啓を基本精神としています。学部科目はすべて選択科目であり、必修科目はありません。

経済学や経営学の専門科目だけではなく、隣接分野である法学・政治学科目を含めて、幅広い分野から自主的に選択し、自由に学ぶことができます。また、大学院との共通科目や、経験豊かな社会人講師による講義も開講しています。

また、本学部では、創立以来、演習(ゼミナール)制度を重視し、少人数の学生と担当教員による対話型学習システムをつくってきました。ゼミナールは、学生が共同学習と討論を通して最も成長できる場であるとともに、親しい友人をつくる絶好の場です。卒業後もゼミナール単位での同窓会が盛んに行われています。

多様性と国際性

本学部は、論文入試をはじめ、留学生入試、外国学校出身者入試、3年次編入学入試など、国立大学のなかで先んじて、多様な入試制度を導入してきました。そのねらいは、多様な経験をもった学生の能力を一層高めるとともに、多様な学生同士が刺激し合いながら相互に切磋琢磨し、豊かな教養と人間性、国際感覚を身につけることにあります。ちなみに、留学生の比率は大学院生を含めると京都大学のなかでは最も高く、国際性にあふれる学部です。

経済学部の教育

● 4つのコースを設置

経済学部は、経済と経営、経済学と経営学の相互依存関係を重視して、平成21年度から経済学科と経営学科の2学科を経済経営学科1学科に統合しました。学科による区別のない1学部1学科の体制のもとで、「理論・歴史コース」「政策コース」「マネジメントコース」「ファイナンス・会計コース」という4つのコースが示されていて、そのガイドにしたがって専門科目を履修することによって、コースそれぞれの特性に応じた専門化がはかれるようになっています。1学年は前期と後期の2セメスターにわかれ、1セメスターにわたり毎週1回の授業を履修して試験に合格すれば2単位が得られます。学部科目はすべて選択科

目ですが、入門科目、専門基礎科目、専門科目Ⅰ、専門科目Ⅱと年次配当によって階層化されています。

● 第1学年で学ぶこと

第1・第2学年では「全学共通科目」と呼ばれる教養科目を主として履修します。これと並行して第1学年では、全学共通科目によって語学学習や教養学習を行うだけでなく、入学したばかりの学生に、不足した知識を補い、自立した学習力をつけさせるための「入門演習」と9つの入門科目(ミクロ経済学入門、マクロ経済学入門、社会経済学入門、基礎統計学、経済史・思想史入門、現代経済事情、経営学入門、会計学入門、情報処理入門)によって、経済学・経営学の専門学習のための準備をすることになります。

● 第2学年から学ぶこと

第2学年からは「専門基礎科目」及び「専門科目Ⅰ」の授業群、第3学年からは「専門科目Ⅱ」の授業群が取れるようになります。第3学年以上になると、経済学・経営学の専門科目だけでなく、法学部が提供する法学や政治学の科目も取れるようになります。また、高度な学習を求める学生には、大学院と橋渡しする大学院共通科目も履修できます。

● 少人数ゼミナール

京都大学経済学部で重要な役割を果たしているのは演習(ゼミナール)です。指導教員の指導のもとで、少人数の学生同士で、様々な具体的テーマについて報告・討論しながら、問題の本質を捉えるべく共同で学習します。ゼミナールにおいて、自発的な参加意欲や勉学意欲をつちかい、コミュニケーション能力を高めることができます。ゼミナールでの主体的な勉強を通じて身につけた能力は、一生役立つと思います。ゼミナール参加者は、第4年次に卒業論文を提出することができます。

Message

在学生メッセージ



自由だから多様、多様だから自由

経済経営学科4回生
(Academy of the Holy Angels(アメリカ合衆国)出身)

古田 佳也さん

京都大学経済学部の特徴は、この学部の学生がどのような人で、何を勉強しているかを一言で表現できないことです。世界各地から、また多様な入試制度を経てきた学生が、入学後も自由な学習環境の下で目標を設定し学習するので、卒業時には更に個性溢れる学生が輩出されます。この学部には多様性を尊重する環境があるので、自由な行動や考え方が許されます。そして自由だからこそ、更に個性を伸ばすことが出来るのです。

私は、経営学と英語の教職免許取得の学習を両立してきました。資格や留学、ゼミやサークルなど、友人もそれぞれが決めたことを頑張っています。彼らの考え方や経験に刺激され、私も自分の目標に向けて努力出来ます。経済学部で何をするかは自分次第ですが、この環境でなら頑張れると信じています。



自由から見つける

経済経営学科4回生
(南山高等学校女子部(愛知県)出身) 櫻林 祐理子さん

京都大学の「自由の学風」は経済学部においても共通であり、最大の魅力です。経済学部における自由は、履修において特に強く表れています。経済学部では、必修科目がなく、経済系・経営系という枠に囚われないため、自分の関心のある講義を自由に履修します。従って、幅広い知識が得られると同時に、自分が本当に学びたいことを見つけられます。また、自分の時間の確保を優先して講義を選択しても構わないので、その時間の使い様によって、サークル・趣味等の学業以外の面を充実させることも十分可能です。

自由であることはもちろん、本当に重要なのはそこから自分の学びたいこと・やりたいことを見つけ、実現することです。ぜひ皆さんも京都大学で多くのことを見つけてください。



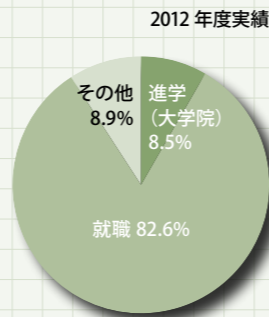
●「自学自習」と学問の自由

大学での勉強は基本的に「自学自習」です。つまり自分で問題を見つけ、自分でものを考え、自分でその解決を見つけ出すことが求められます。また、大学を支える基本原理は「学問の自由」です。自由があるから多様な考え方が生まれ、科学は進歩し、社会の要請に応えることができるのです。自由な学問を行うためには学問の伝統のなかで育まれてきたものをしっかり勉強する必要があります。自由に絵を描くためにはしっかりとデッサンの修行を積まなければならないことと同じです。経済学の考え方を学ぶことができれば、社会のどのような立場にあっても迷うことなく判断できる力を得ることができると思います。このような意味で、自由に学ぶことのできる場所が京都大学経済学部です。



卒業後の進路

京都大学経済学部はすでに90年余の歴史があり、多数の個性的な人材を社会に送り出してきました。学界のリーダーとして多数の優れた研究者を出してきましたし、政界・実業界のトップリーダーも少なくありません。毎年約1割の学生は大学院へ進学しています。



就職先の例

みずほフィナンシャルグループ/SMBC日興証券/伊藤忠商事/三菱東京UFJ銀行/関西電力/京都銀行/日本生命保険/日本たばこ産業/丸紅/住友商事/トヨタ自動車/野村證券/みずほ銀行/三井住友銀行/三井住友信託銀行/三菱商事/有限責任あずさ監査法人

経済学部で取得可能な資格

大学を除くすべての国公立、私立学校の教員となるためには教育職員免許状が必要です。経済学部は教員免許状についての課程認定を受けており、教育職員免許法に定められた所要の単位を修得すれば、次の種類の免許状が取得できます。

経済学部で取得できる教育職員免許の種類及び教科

種類	教科
中学校一種	社会
高等学校一種	地理歴史、公民、商業

Message

卒業生メッセージ

2012年 卒業
有限責任あずさ監査法人 勤務
(膳所高等学校(滋賀県)出身)

島本 大地さん



2009年 卒業
住友商事株式会社 勤務
(甲陽学院高等学校(兵庫県)出身)

藤井 翔さん



“チャレンジ”できる場所

経済学部では自由な学風の下、様々なことにチャレンジできることが一番の魅力だと思います。私の学生生活を思い返すと、ボートと会計士の勉強に尽きます。日本一を目指して合宿所に泊まりがけでボートの練習に励む傍ら、予備校に通い休憩時間で勉強をやるという、今思えばだいぶ無茶なことをやっていた。こういう生活があつてこそ、私は自分のやりたいことに一生懸命になることの大切さを学べたと思います。今の生活でも面白かったことはすぐに取り入れ、行動してみるというスタンスは変わっていません。私にとって大学はいろんなことを経験でき学べる場だと思っています。皆さんも自ら進んで学び行動し、この経済学部の環境でいい大学生生活を満喫してほしいと思います。

「Enjoy!」

私は現在、総合商社で働いています。グローバルな社会貢献を目指す業務は多岐にわたり、非常に刺激がある一方、未知の領域に日々挑戦する必要があります。私自身、ペットや畜産動物の健康を通じて人々への癒しや食の安全の提供を目指す事業を担当していますが、学生時代には想像もしていなかった分野です。
しかし、どんな時でもベースとなっているのは、間違いなく経済学部時代の経験です。勉学のみならず、先生、友人から人として多くの刺激を受けました。
経済学部の自由な学風においては、何をやるにも自分次第だと思います。特定分野を追求するもよし、広範な知識の習得に努めるもよし。学生時代だけでなく、将来に繋がる大きな一歩になるでしょう。Enjoy your life!

入門科目紹介

ミクロ経済学

市場メカニズムのもとで経済行動を分析する学問を「ミクロ経済学」と言います。ミクロ経済学の起源は19世紀から20世紀にかけて登場した最大化原理を基礎に置く完全競争モデルまでさかのぼります。しかし、現代経済は大企業による寡占化の道をたどり、完全競争の虚構性が批判されるようになりました。そこで将棋のように戦略的に意思決定する「ゲーム理論」が登場しました。ゲーム理論を中心とした現代ミクロ経済学はたくさんの応用経済学の基礎ツールとなっています。医療・福祉経済学、マーケティング経済学、情報・通信経済学、都市・交通経済学、企業・組織経済学、環境経済学のような先端分野で、ミクロ経済学が役に立っています。

経営学

経営学は、広く経営現象を研究する学問です。「経営」とはある目的を達成しようとする事業について、それを計画し、指揮し、管理する活動です。その対象は民間企業の経営が従来の中心でしたが、近年は病院や政府、地方自治体などの社会的部門でもその経営の善し悪しが問題にされるので、広がってきています。企業の経営でさえ単純に利益だけを目的として行われておらず多くの人が利害や欲求の関連の下に動いているので、経営は複雑なシステム現象であり、それを研究する経営学も非常に複雑な理論体系となってきています。経営学は企業だけではなく病院や政府、NPOなどを経営することの難しさとその醍醐味を理解させてくれると思います。

マクロ経済学

マクロ経済学は経済活動を大きな視点から分析する経済学の1分野です。大きな視点というのは、つまり、その分析対象が特定の個人、企業、産業の経済活動ではなく、1国経済や世界経済全体だということです。なぜ経済は好況と不況を繰り返すのか、政府は景気の変動を抑制するためにどのような政策を採ればよいのか、なぜ産業革命以降先進国は産業構造の転換を果たし所得の大きな上昇を達成できたのか、それに対し多くの発展途上国が農業中心の経済構造から脱却できず所得の低い状態にあるのはどうしてなのか、といった疑問をもったことがあるでしょう。マクロ経済学が取り組んでいるのは、これらの疑問により正確な答えを与えることだといえます。

会計学

会計学は、「事業の言語」といわれる会計を対象として発達した学問です。会計の仕方がかわれば事業の見え方もかわるため、どのような考え方に基いて事業活動を認識し表現すべきかという問題が重要になります。会計学は、現実の会計を正確に理解するとともに、望ましい会計について考えてきた学問です。会計は、社会会計・国民経済計算といったマクロ会計と、家計・企業会計・非営利法人会計・公会計といったミクロ会計に分類されます。また、会計情報の利用者の相違によって、企業外部の株主や債権者などに対する財務会計と経営者などのための管理会計に分類されており、それぞれに対応して財務会計学と管理会計学が発達しています。

社会経済学

もともと「社会経済学」は、スミス、リカード、マルクスなど古典派と呼ばれる人たちの経済理論の名称でした。かれらは、経済分野だけでなく政治や文化などの分野に及ぶ広い社会的視座をもつとともに、数世紀に及ぶ歴史を考察する長期的視野をもっていました。しかし、20世紀に入ると、大量生産技術の成立といった技術面の変化や、巨大企業の出現といった組織面の変化によって、古典派経済理論の有効性は低下しました。このような資本主義の変化をふまえて、新たな理論を作ったのはケインズとカレツキです。現代の社会経済学は、古典派経済学者たちの社会的歴史的視点とケインズとカレツキの理論とを結合して、現代資本主義の構造や制度を分析します。

情報処理

情報処理とは人間の意思決定活動であり社会活動そのものです。またインターネットやコンピュータなどの情報通信技術は、このような活動を支援する道具です。今では、情報通信技術の急速な発展が社会を大きく変え、情報通信技術なくしては企業の経営が成り立たなくなっています。情報処理は、単に、経済学や経営学を学び、理解し、分析するためだけに活用されるものではありません。コンピュータシミュレーションによって社会や組織を解析し、あるいは未来を予測するといった新しい方向も生まれています。情報通信技術と情報処理は、経済学や経営学と深く関係し、今後の発展が期待される分野なのです。

基礎統計学

統計学は元々は国家の為政者が行政のために必要とした、資料を提供するための方法だったようです。人口、所得、耕地面積等の資料を収集し、整理し、一国の国力を測るなどが当初の目的でした。今日では、データの処理にも幅があり、行政だけでなく、商業、そして、株式や為替におけるような売り買いに直接結びつく統計など、応用は様々です。基礎統計学では、記述統計学と数理統計学によって成り立つ二つの領域を概観します。前者では、物価指数など、実務上よく使われるツールの説明をします。後者では、データに関する様々な推定や、仮説に関する検証を学びますが、多少とも、数学的です。この講義では、このような最も基礎的なツールを学ぶことも、非常に重要です。

経済史・思想史

温故知新という言葉を知っていますか？昔のことから新しいことを知る。経済史や思想史とは、まさにそんな学問です。このふたつの分野は、現在の経済社会や経済学を歴史的に眺めることで、経済や社会に関する「忘れ去られた課題」を再発見し、併せて「新しい課題」や経済学のあり方を構想します。例えば、ある国が経済大国になる過程の分析からその秘訣や条件そして様々な問題点を学んだり、ある企業の発展・没落から経営とは何かと考えてみたり、また、人間が集団形成するときの諸問題を把握することで理想社会について提言したりします。歴史的な発想法を身につけて、当たり前だった日常の「新たな可能性」について一緒に考えてみませんか。

現代経済事情

人間の社会を扱う以上は、経済学は経済的・社会的問題の解決という目的意識から無縁ではありえません。これは「政策関心」と言い換えることもできるでしょう。経済政策論、財政学、金融論、社会政策論、世界経済論、公共経済学など、「現代経済事情」の諸講義は、いずれも「現代の社会問題や経済問題を素材に考える」という共通項を持っています。経済問題に対しては、通常さまざまなアプローチがあります。複雑な社会現象そのものを理解する際には、やはり総合的・多面的な分析視角が必要となります。「現代経済事情」の諸講義に共通するねらいは、現実の経済問題などへの感受性と複眼的な見方を養うことにあります。





理学部

Faculty of Science

理学部のホームページ：
<http://www.sci.kyoto-u.ac.jp/>

入学についてのお問い合わせ：
理学部学部教務掛 tel. 075-753-3637



【写真】 数学教室正面入口

自然への疑問。自然からの声。 そして自然の理に学ぶ。

理学部が望む学生像

- ・自由を尊重し、既成の権威や概念を無批判に受け入れない人
- ・自ら考え、新しい知を吸収し創造する姿勢を持つ人
- ・優れた科学的素養、論理的合理的思考力と語学能力を擁し、粘り強く問題解決を試みる人

理学部への誘い

自然はどのようになっているか、そして自然はなぜそのように成り立っているのか、自然を動かす法則は何なのか、私達人間はしばしばこういう疑問を抱きます。理学部は、答えを誰も教えてくれないような自然への疑問を持つ人たちが、自然の声に耳を傾け、疑問を解く喜びとともに、さらなる自然の深い秘密に接することを楽しむ学部です。

理学部は、京都大学の中でも最も長い歴史をもつ学部で創立以来何度かの改革を行ってきましたが、最近の大きな改革は1994年に理

学科のみの一学科制が発足したことです。この制度は、多岐にわたる学問分野を学ぶ過程で自らの適性を発見し、それに応じた専門分野の選択を可能にし、同時に従来の学問分野の枠組みにとらわれない人材の育成を意図しています。3年次、4年次において、各専門分野に分かれ、少人数ゼミや実験・実習を通じて更に深く学問的教養を身に付けます。学生の自ら学ぶ意欲を尊重し、育てていく教育方針が基本です。京都大学理学部は、国内国外において著名な多数の独創的研究者を輩出してきました。その中にはノーベル賞やフィールズ賞のような国際的に最高レベルとされている賞の受賞者も含まれています。

また、理学部には霊長類研究など新しい研究分野をいくつも開拓してきた伝統が今でも息づいています。こうした学問の創造や開拓は、研究や教育に対する自由な雰囲気の中で生まれ育つものであり、一朝一夕でつくられるものではありません。このような環境のもと、常に新たな教育・研究のプロジェクトが計画・遂行されています。

理学部の教育

● 理学部の教育理念

教育目標

- ・自然科学の基礎体系を深く習得し、それを創造的に展開する能力の養成
- ・個々の知識を総合化し、新たな知的価値を創出する能力の養成

教育の特徴

- ・自由な雰囲気の下で学問的創造を何よりも大切にし、自律的学修が推奨される学風
- ・理学科のみの1学科制
- ・緩やかな専門化を経て、研究の最前線へ

● 理学部の教育方針

1年次・2年次では、主として全学共通科目と専門基礎科目を履修する。

1年次から2年次にかけては、全学共通科目である一般教育科目と、学部科目のうちの専門基礎科目を主として履修します。全学共通科目は、全学部・研究所・研究センターの教員が全学部の学生を対象に開講されている科目で、次のような5つの科目群に分類されています。

- ・人文・社会科学系科目群
- ・自然・応用科学系科目群
- ・外国語科目群
- ・現代社会適応科目群
- ・拡大科目群

このうちの自然・応用科学系科目群には、理学部クラス指定科目など理学部教員が担当する科目も多数含まれています。また、専門基礎

	1回生	2回生	系 登 録	3回生	4回生	単位数
一般教養科目	*****	*****		*	*	12~20
外国語科目	*****	*****				10~12
現代社会適応科目群及び拡大科目群	*	*				0~4
専門基礎科目	*****	*****		**	**	24~38
専門科目	**	***		*****	*****	54~
卒業研究(必修)				*****		

科目は自然科学の基礎事項を扱い、専門科目を履修する上での基礎となる科目です。

これらの講義以外にも演習、ゼミナール、講読、実験・実習など様々な形の授業科目があり、これらの科目を履修することによって、専門分野を学ぶための基礎を養うとともに、幅広い学問に接して高い教養を身につけ、人間としての視野を広げるように工夫されています。

2年次の終りに系登録をする。

理学部は理学科だけの1学科制を取っており、その中に5つの系が設けられています。これらの系は、おおよそ次のような専門分野と対応しています。

- ・数理科学系：数学
- ・物理科学系：物理学、宇宙物理学
- ・地球惑星科学系：地球物理学、地質学・鉱物学
- ・化学系：化学
- ・生物科学系：動物学、植物学、生物物理学

これらの系への登録は2年次の終りの時期に行います。

少人数クラスを設け履修を円滑に進める。

系登録するには、所定の科目の単位を2年次の終りまでに修得する必要があります。必要な単位数や科目履修の進捗などで不明なところがあったり、理学部での学習での様々な不安や問題について相談できるように、1,2年次では理学部の2人の教員が担任となる少人数クラス(1クラスの学生は10数名)が設けられています。そのほかにも学生生活や進路などの悩みについて相談できる理学部相談室もあります。

科目履修の時系列的な目安

*の多いマスほど履修の必要性が高いことを目安として示しています。ただし、履修の仕方は個々の学生ごとに相当に違いがあるので、このようにならない場合も少なくありません。

Message

在学生メッセージ



「興味のあることを、貪欲に」

生物科学系4回生
(高槻高等学校(大阪府)出身)

三浦 稔史さん

ぼくが京都大学理学部を知り、目指そうと思ったのは「iPS細胞面白そう!」という動機でした。が、現在は生態系における菌類など微生物の働きについて研究しています。

あれ?と思うかもしれませんがぼくの場合、ポケゼミや実習で野外に出て実際に触れ、また親や先生方、オケや学部の友だち、先輩と話すことで自分のやりたいことが決まっていきました。もちろん、数多くの講義やセミナーのおかげでさまざまな分野の最新の知見や問題点を知ることができ、それが自分の関心の発端となったことは言うまでもないでしょう。

今後、研究をしていく上ではより専門的、実践的なことを学び、また様々な物事に関心を寄せ問題点を捉える目を養うことが必要だと考えています。

皆さんの目標とする良き先輩になれたら幸いです。お互い頑張りましょう!



「探究の場」

地球惑星科学系4回生
(小野高等学校(兵庫県)出身)

古角 晃洋さん

京大理学部では3回生から各系に所属するようになります。入学当時から分野を絞ってひたすら突き進む人もいますし、様々な分野に手を出して興味湧いた分野に進んでいく人もいます。私自身、物理学を専攻しようと思いましたが、数学、生物学、地学と興味も移っていき、気が付くと構造地質学を学んでいました。興味の赴くまま自由に物事に打ち込めるというのは京大理学部ならではの魅力だと思います。

因みに、構造地質学は、断層や褶曲などの地質構造を力学的に解析する学問です。フィールドワークもデータ解析もできるという素敵な分野です。入学した暁にはぜひ地質学に触れてみてください。

知的好奇心にあふれる君達、理学部でおおいに大学生活を楽しんでください。



3年次から4年次にかけては主として専門科目を履修する。

3年次では、上の5つの系のいずれかに属し、その系で提供される専門基礎科目・専門科目(演習や実験などの科目を含む)を履修します。これらの科目の数は多く、広い分野にわたって履修することが可能です。また専門科目には卒業に認められる履修単位の上限がありません。これは広く浅く学ぶことを勧めることを意図しているのではなく、年次とともに履修科目の専門化の程度を進めていき、各自に適した専門的課題を見つけて、それに関連する分野の科目を重点的に履修しやすくするためのものです。

4年次では卒業研究に取り組む。

4年次では卒業研究として、数理科学系では数学講究、その他の系では課題研究と呼ばれる科目を履修することが必修になっています。この科目では、学生は個別に教員の指導を受け、研究の手法を学びつつ、課題の追求とその結果をまとめる基礎力を身に付けます。この学習を通じて、専門分野の研究の現場に触れることが期待されています。

学部3年次からの大学院への飛び入学について。

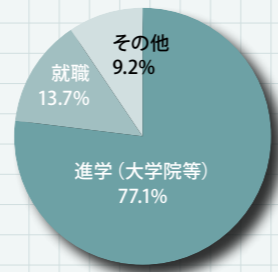
大学院理学研究科の数学・数理解析専攻と化学専攻においては、大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績で修得したと理学研究科が認めた者には、大学院修士課程の出願資格を認めています。また、博士後期課程において特に優れた研究成果を挙げた者については、修士課程と通算して5年未満の在学中で博士の学位が授与されることがあります。

卒業後の進路

2012年度実績

理学部を卒業後、大学院に進学する者が全体の約5分の4、また、民間企業等に就職し専門的・技術的職業に従事する者は全体の10分の1程度です。

なお、理学研究科で博士の学位を取得する者は毎年100名程度です。



就職先の例

愛知県公立高等学校/旭化成アミダス/芦屋市役所/イー・ギャランティ/伊藤忠商事/ウィルウェイ/グリー/滋賀県庁/シティ・コム/数研出版/スズキ/住友生命保険/駿台予備学校/清風学園/第一生命保険/大同生命保険/W-CARP Japan/デロイトトーマツコンサルティング/東洋新薬/奈良学園/西日本シティ銀行/西松屋チェーン/ニッセイ情報テクノロジー/日本航空/日本制御エンジニアリング/日本電信電話/ねこじゃらし/兵庫県信用農業協同組合連合会/福岡多田精機/福島県公立高等学校/プロシース/防衛省/朋優学院/三井住友カード/三井住友信託銀行/三井物産/三菱東京UFJ銀行/ヤマハ発動機/代々木ゼミナール/臨海セミナー/早稲田摂陵

理学部で取得可能な資格

理学部では、教育職員免許状の高等学校教諭一種免許状(数学・理科)と中学校教諭一種免許状(数学・理科)の課程認定を受けています。数理科学系・物理科学系・地球惑星科学系の卒業生については、測量法施行令第14条第1項に規定する「相当する学科」としての認定を受けていますので、所定の科目を修得することにより、測量士補の資格を取得することが可能です。また、学芸員の資格についても、所定の科目を修得することにより取得することが可能です。

アクチュアリーサイエンス(保険数学)とは

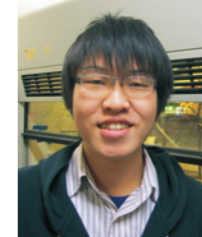
アクチュアリーサイエンスとは、保険や年金などにおける将来のリスクや不確実性の分析・評価の方法を、数理的手法を用いて研究する学問分野です。数理科学系では、日本アクチュアリー会との連携のもと、企業で指導的な立場でアクチュアリーとして豊富な実務経験を持つ5名の客員教授を招聘し、学生が、生命保険や損害保険についての講義・演習を通してアクチュアリー試験のための基礎知識を修得することができるようにしています。

Message

卒業生メッセージ

2013年 化学系卒業
理学研究科化学専攻 修士課程1回生
(灘高等学校(兵庫県)出身)

福井 識人さん



「自由の学風を享受」

京大の自由の学風を最もよく体験できるのが理学部だと思います。例えば理学部には必修科目が存在せず、私の専攻は化学ですが学部生時代は化学以外にも物理や数学の専門科目も履修しました。このおかげで広い視野を持って進路を決めることができたと思います。現在は有機化学を専門にし、新規機能性分子の合成に励んでいます。研究室では先生方の指導の下、日々の実験計画から次の実験内容まで自分自身で決めて研究を行っています。この環境に身を置いて1年ですが、既にいくつかの「世界で初めての分子」を合成することができました。このように常に世界の最先端の研究に触れることができるのは大きな経験だと思います。今後は将来研究者になることも視野に入れつつ研究を楽しみたいと思います。皆さんも是非京大に来て自由の学風を体感してください。

2011年 数理科学系卒業
理学研究科数学・数理解析専攻
博士後期課程1回生
(丸亀高等学校(香川県)出身)

蓮井 翔さん



「研究者に憧れる人へ」

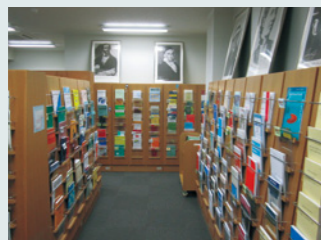
京都大学理学部は全国から意欲のある学生が集う場であり、積極的に勉学に打ち込まんとする人間にとってよい環境なのは当然ですが、京大理学部の魅力はそれだけに止まるものではありません。意欲はあっても明確な目標がない、という人は多いと思います。私自身、入学当初は漠然とした研究者への憧れがあるばかりでした。現在ではどうにか研究をやっていますが、今の自分があるのは、ひとつには京大の先生方や友人たちからよい刺激を受けられたこと、そして講義内容をきちんと理解していただけても一定の基礎力がつく京大のカリキュラムのおかげであったと思っています。具体的な目標はまだないものの研究者の道を考えているという方は、是非京都大学を目指してください。

各系の紹介

数理科学系

数学は、数、図形、数量の変化などの背後にある法則を明らかにすることを目指す学問です。その長い歴史のなかで確固とした体系を築いてきましたが、現在でも多くの新しい問題が、その内部から、あるいは物理学、地球惑星科学、化学、生物科学など他の科学からの影響の下に生まれ、それらを解決するために新たな理論が次々に創出されています。また数学は、その普遍的な性格により、自然科学は勿論のこと、情報科学、経済学など多くの分野とのつながりを持つようになっていきます。数理科学系においては、20世紀前半までに確立した、代数学、幾何学、解析学の基礎を広く学習するとともに、最近の発展しつつある数学を目標として学びます。

数論、代数学、代数的位相幾何学、微分位相幾何学、微分幾何学、力学系、複素多様体論、複素関数論、表現論、関数解析、微分方程式論、確率論、代数解析学、数理物理学、作用素環論、計算機科学、応用数学、保険数学



【写真】 数学図書室の新着雑誌の閲覧室。数学研究は世界中で活発に行われ、現在も数多くの雑誌でその成果が公表されており、その多くの成果リアルタイムでここで読むことができます。

物理科学系

物理学は、自然界の普遍的な法則を明らかにし、物質の種類や時間・空間・エネルギーのスケールの違いによって様相の異なる様々な現象を、統一的に理解することを目的とします。本系は3教室に分かれ、物理学第一教室では主に物質の構造と性質について、物理学第二教室では時空の基本構造から素粒子、原子核、重力、宇宙論まで、宇宙物理学教室では太陽から最遠方銀河まで宇宙の様々なスケールでの諸現象について、それぞれ理論、実験、観測等からめながら幅広い研究と教育を行っています。

不規則系物理学、量子光学・レーザー分光学、低温物理学、光物性、固体量子物性、固体電子物性、時空間・生命物理、ソフトマター物理、非線形動力学、凝縮系理論、相転移動力学、流体物理学、非平衡物理学、原子核・ハドロン物理学、素粒子物理学、宇宙線物理学、素粒子論、原子核論、天体核物理学、太陽物理学、太陽・宇宙プラズマ物理学、恒星物理学、銀河物理学、理論宇宙物理学



【写真】 課題研究における実験。放射光を利用した流体金属のコンプトン散乱実験で、試料の加熱機構を院生がセットしている様子。

地球惑星科学系

われわれの生活する地球、地球を取り巻く惑星間空間を研究の対象としています。雲の動きを引き起こす大気の流れ、日本の前に広がる太平洋の奥深くの静かな流れ、地震を起し火山を造る地球内部の変動、オーロラと関係している太陽からの粒子と地球磁場、ヒマラヤをつくり南米とアフリカを引き裂いたマントルの流れ、ダイヤモンドを造り出した高温・高圧の世界、35億年前ら藻として存在した生物はいかなる変遷を経て今見る生物になったか、他の惑星には生物は存在したか、身近で遙かな事柄を研究し教育しています。

固体地球物理学、水圏地球物理学、大気圏地球物理学、太陽惑星系電磁気学、地球テクトニクス、岩石学、鉱物学、地層学、地史学、宇宙地球学



【写真】 夏休みに合宿形式で行われる3年生向けの地質調査実習の様子。数百万年前に海底に堆積した地層を観察し、方向や特徴を記録する。

化学系

化学は、原子、分子のレベルで物質の構造、性質、反応の本質を明らかにし、それに基づいて自然を理解し有用な物質の創造を目指す、物質科学の要をなす学問です。原子、分子、生命から宇宙に至るこの自然界に存在するあらゆる物質を研究対象としますから、知的探求の場としては広大なフロンティアを持っており、その研究方法やスタイルも分野によってかなり異なり、合成、分析、測定の実験中心の分野から、理論と計算が中心の分野まで色々とあります。このように研究対象や研究方法も大変バラエティに富んでいますから、各人の能力や適性に応じて自分に適した研究分野が大変見つけやすい学問分野です。

固体物性化学、生物構造化学、量子化学、理論化学、物理化学、分子分光学、光物理化学、分子構造化学、電子スピントリクス、表面化学、金相学、無機物質化学、有機化学、有機合成化学、集合有機分子機能、生物化学、遺伝子動態学

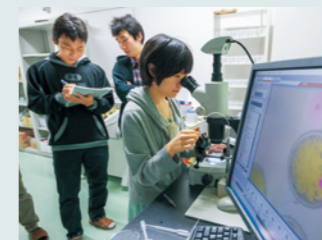


【写真】 化学系の実験風景

生物科学系

生物科学系は、地球上の多様な生物が織りなす様々な存在様式や生命現象を研究対象としています。マクロ的な視点からは、生態学、行動学、系統分類学、人類学を中心に自然史や野外研究に重点をおいた伝統に培われた研究を展開し、生物の進化や多様性の機構を明らかにしようとしています。一方、様々な生物のゲノムが解読され、ライフサイエンスもポストゲノム時代に入り、新しい研究の方向性が求められるようになりました。ミクロ的な視点からは、動物や植物の細胞生物学、発生学、分子生物学、構造生物学の独創的な研究により多彩な生命現象を分子レベルで解明しようとしています。このようにミクロ・マクロの両方の視点から、多様なアプローチと方法論を駆使しつつ、生物をその環境と合わせて統合的に理解することを目指しているのが、生物科学系の特徴です。

自然人類学、人類進化論、動物系統学、動物行動学、動物生態学、動物発生学、環境応答遺伝子科学、植物生理学、形態統御学、植物系統分類学、植物分子細胞生物学、植物分子遺伝学、ゲノム情報発現学、理論生物物理学、分子生体情報学、神経生物学、構造生物学、分子発生学



【写真】 メダカ卵への溶液顕微鏡注入

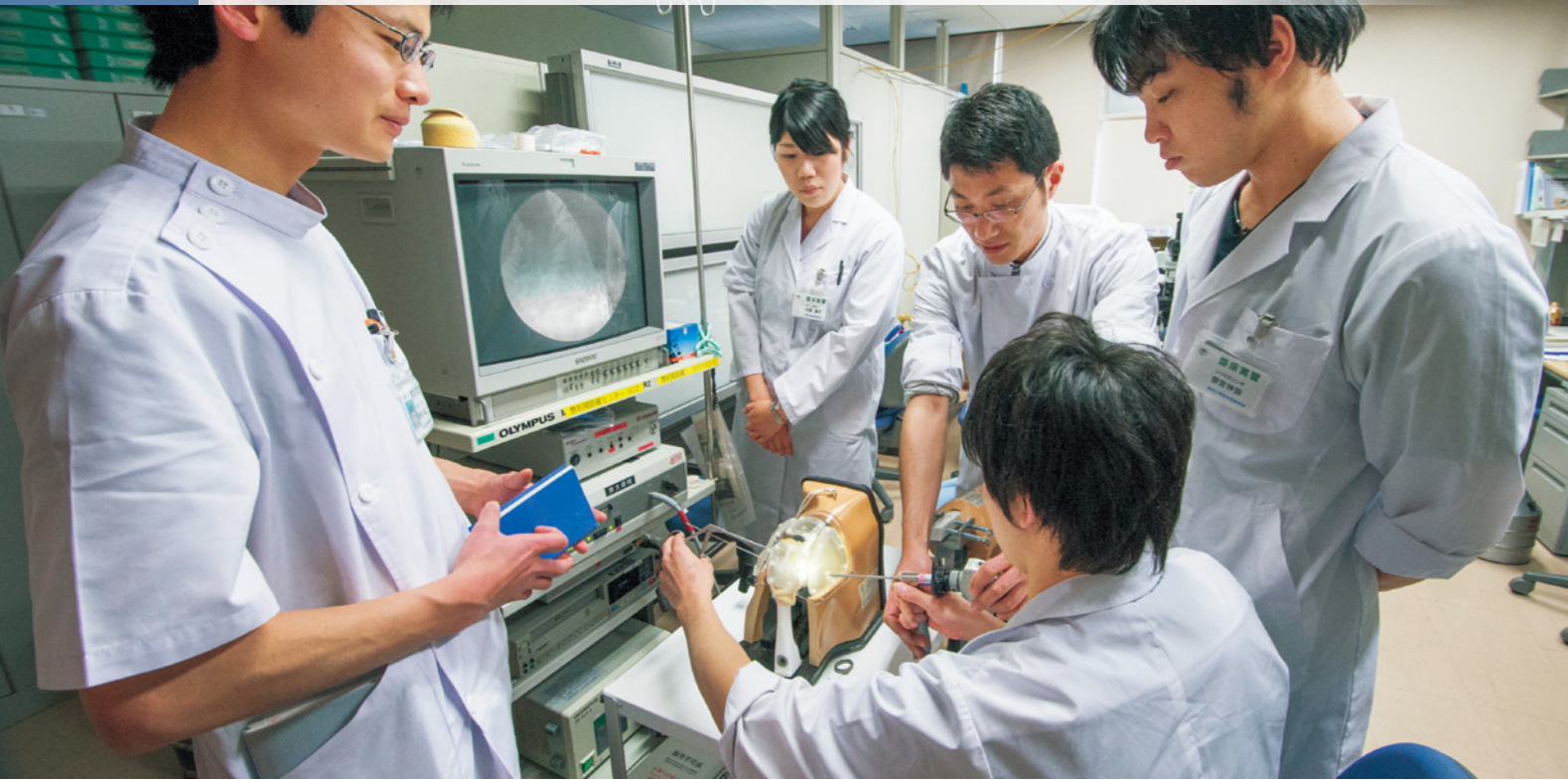


医学部 医学科

Faculty of Medicine

医学部・医学研究科のホームページ：
<http://www.med.kyoto-u.ac.jp/>

入学についてのお問い合わせ：
医学研究科 教務・学生支援室 tel. 075-753-4325



【写真】関節鏡の指導

新医学領域の開拓と革新的医療の創成

医学部が望む学生像

京都大学医学部は 21 世紀の医学・医療の発展を担い、人類の福祉に貢献することを自らの使命と考え、この理想を追求する学生を求めています。医学には大きく分けて、基礎医学および臨床医学の研究に携わる分野、多様な疾患に悩む患者の医療に携わる分野、さらに環境・福祉・予防など、広く地球的な視点から人々の健康増進に関わる社会医学分野があります。

医学は生命科学の中心的分野の一つです。医学研究は生命の不思議を解き明かし、その結果知り得た生命の営みの原理に基づき、なぜ病気が起こるかを解明しようとするものです。さらにこの病因解明に基づき、新たな診断法や治療法、およびその予防法の開発に努力を傾けます。このような医学研究の遂行には、真理を追求するための強い好奇心と未知への挑戦心、不屈の精神と忍耐力などが必要です。

医療の原点は「人を愛する」ことにあります。それ故、医療に携わる者には、感性豊かな人間性や人間そのものに対する共感と深い洞察力、および人々の健康を増進し、病める者を救おうという強い意志と情熱が必要です。また現代の医療は多様な職種との連携あるいは共同作業を要することから、医師には円滑に医療を遂行する

ための指導力と大きな包容力、ならびに厳しい倫理観が求められます。さらに、医療の進歩と発展に寄与するためには、強い向上心と探求心を持ち続けることのできる人材が求められます。

社会医学は、単に一人ひとりの患者ではなく、我が国あるいは世界の大きな集団を対象として、人々の健康増進を追求する分野です。さらに、このような問題解決のために行政的、あるいは啓発的活動も行う必要があります。このような社会的な要因による医学的問題解決のためには、秀でた社会性と優れた行政的活動能力、および幅広い国際性が要求されます。したがって、この分野では広い視野を持ち、人間社会全体に目を向ける感性、柔軟な思考力と豊かな人間性を持つ人材が望まれます。

京都大学は学生の自主性、自己啓発を教育の主眼として、個性豊かな創造性の涵養を目指しているため、自ら学習課題を発掘し解決しようとする主体性を持った人材を求めています。さらに、京都大学医学部は、多様な能力と幅広い教育背景を持ち、医学・医療の分野で指導的立場に立ちうる人材を集めたいと考えています。このような背景に鑑み、医学に従事する職業的な制約による適性を重視し、高い知的能力のみならず、人間性を含めた総合的に卓越した能力・人格を有する学生の入学を切望するものであります。

理念と目標

京都大学医学部は、医療の第一線で活躍する優秀な臨床医、医療専門職とともに、次世代の医学を担う医学研究者、教育者の養成をその責務としています。

京都大学医学部が育てるのは、単に既存の知識を応用して医療にあたるだけでなく、病気など医学事象の背後にあるものを見抜き、自分の頭で考え、新たな知を創出できる人間、また、広く社会と人間行動を理解し病める人の感情を洞察できる人間、社会全体の健康をめざし高い倫理観を持って行動する人間です。

また、これを人類すべてに発信できる国際性豊かな人間を育てることも我々の使命です。

医学科の教育

医学科のカリキュラムは、医師や医学研究者を養成するための講義と実習などを基本とします。すべての授業が必須科目で、6 年間の授業で、医学全般を学び、経験します。基礎医学では、生命科学ならびに医師に必要な解剖学・生理学・生化学・病理学・法医学などを学びます。社会健康医学では、個人に対する医療だけでなく、社会全体に対する医学の応用を学びます。臨床医学は、すべての臨床医学の分野について、授業と臨床実習を通じて、基礎となる理論と実際の医療現場での活用を学びます。

これらを通じて、6 年の卒業後、医師国家試験の受験資格が与えられます。また、MD - PhD コースが用意されており、研究に専念することを希望する学生は、第 4 学年終了後、大学院へ進学して、医学研究に専念し、早期に学位を取得して研究者としての道を歩むことができます。この他にも、研究者になる種々の道が用意されています。このような学生の学習を促進するために、京都大学では医学教育推進センターを設けて、教育改革を推進しています。

●医学科の教育がめざすもの

京都大学医学部医学科では、個々の学生の、医師、医学研究者としての資質を最大限に伸ばし、医療や医学研究の分野で活躍できる、すぐれたリーダーを養成することをめざしています。

「医師」には専門知識の習得と同時に、その知識を論理的に使う問題解決する能力や、病める患者さんと向き合っ病気を治療する感性豊かな人間性および人間そのものに対する深い洞察力を必要とします。また、何よりも、人々の健康を増進し、病めるものを救おうという強い情熱が必要です。一方で、病気の発生機序の解明、新しい診断法や治療法の開発などをめざす医学研究も重要です。また、医療制度が寄って立つ人間社会への深い理解も重要です。京都大学医学部は、このような分野ですぐれた医療人を育成することをめざしています。

「医学研究者」には、新しい知を開拓するための情熱と、卓越した能力が必要です。京都大学には、国際的にも卓抜した研究業績を有する指導者が集まっており、研究開発のできる人材を育成する環境がたちづくられています。



【写真】医学部歴史資料館・記念講堂

Message

在学生メッセージ



研究という選択肢

3 年生

(南山高等学校女子部(愛知県)出身)

重見 麻友さん

私は医学研究に興味があり、京大医学部に実際に入学して、学生と研究室の近さに驚きました。私自身、1 回生の後期にあるラボにお世話になり、休日も正月も忘れるほど通い続ける楽しい日々でした。今は授業や部活で忙しいため、研究の現場からは離れていますが、将来の選択肢として研究分野についても真剣に考えようと思っています。医学の中には臨床や研究のほかに、社会医学という分野もあります。様々な分野の一流専門家がいる京大では、将来についての選択肢を努力次第で無限に増やすことができます。もちろん、選択肢が多いと選ぶときには迷いますが、多ければ多いほどより適切なものを選ぶはずですが、世界トップレベルの先生方や全国から集まる愉快な仲間たちとともに、医学を学び、夢を語ることのできる素晴らしい大学です。是非ご期待ください。



「自由」の可能性

4 年生

(高田高等学校(三重県)出身)

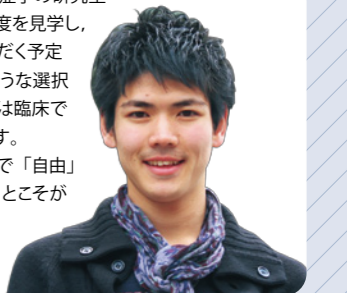
長野 真大さん

この三年間で僕が実感したことは京大の「自由」の学風とは、沢山の時間が与えられると同時に、眼前には数多くの道が広がっているものごとです。

僕の同級生の中にも、インドへ NGO としてお手伝いに行く人から超一流の先生の教室で研究をする人まで様々なことをしている人がいます。

僕自身は 1、2 回生の頃に微生物感染症学の研究室に通っており、今夏にはインドの医療制度を見学し、アメリカに臨床研究の留学をさせていただく予定です。僕は研究に興味があるのでこのような選択をしてきましたが、臨床に興味のある人は臨床で海外へ留学している人なども数多くいます。

このように無限とも思える選択肢の中で「自由」を謳歌し、自分の進む道を決められることこそが京都大学医学部の良さだと思います。



●生命科学の深淵に触れる基礎医学

第1学年から第2学年にかけては、「全学共通科目」の履修が主体となります。並行して、医療人の素養をはくむ取組や研究マインドを育成するチャレンジが始まります。たとえば、生命科学に関する英語の教材に関して少人数で教員と議論し、人体の理解の基本となる解剖学をはじめとする基礎医学の履修を開始します。

基礎医学の履修は、第3学年から本格的になり、生命科学の深淵に触れる学習を、さまざまな面から掘り下げて深めていきます。同時に、京都大学では、多くの学生が様々な研究室で研究に参加しています。世界的な先進的研究を行っている研究室が多く、最新の医学研究を身をもって体験できる機会となっています。このため、早い時期から海外で研究を行う学生もいます。

●実践的な臨床医学教育

臨床医学の教育では、近年、単に医学知識を習得するだけでなく、臨床の現場に適応して責任をもって診療できるリーダーとしての人材を育成することが強く求められています。臨床医学は主に第4学年の授業で学び、第5・6学年では病院での実習を行っています。京都大学では、この実習をより参加型にする改編を行っています。

医学部附属病院には、世界や日本の医学をリードする医師が多数います。また、近年多くの新しい部門、設備が加わりました。例えば基礎医学との橋渡しとしての臨床研究センターが役割をはたし、いち早く患者さんに最先端の医療を届けています。また、地域医療との密接な関係を作り上げ、医療機関同士の連携により医療の効率を上げるための地域医療ネットワークも機能しています。初期診療・救急医学の部門も整備され、多くの救急患者さんを助けています。移植医療や、分子治療、あるいはiPS診療部など最先端の医療が京大病院にはあり、世界の最前線を体験できます。新しくがん専門棟が構築されるなど、さらなる整備が進んでいます。診療・治療・教育の場として充実した施設です。

また、学外の実習病院では、第一線で医療に携わっている経験豊かな医師が多数臨床教授として学生教育に協力しており、豊富な臨床経験に基づいた少人数教育が行われます。これら密度の高い臨床教育を通して、最新の医療とその発展に貢献できる人材育成をめざしています。

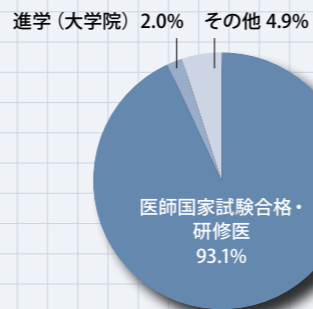


【写真】「医学概論」講義風景

卒業後の進路

2012年度実績

研究分野によっては大学院に進学する者もいますが、一般的には医師免許取得後、医学部附属病院あるいは研修病院において2年間の卒後臨床研修を行います。



医学部で取得可能な資格

医学部の所定の課程を修了し、卒業した者および卒業見込み者には、厚生労働省が実施する医師国家試験の受験資格が与えられます。

カリキュラム概要

1回生	2回生	3回生	4回生	5回生	6回生
教養科目 (全学共通科目) 人文・社会科学 自然・応用科学 外国語科目 など		専門科目 基礎医学 社会医学 臨床医学 マイコース・プログラム		臨床実習 卒業試験	
				↑	↑
				共用試験(CBT, OSCE)	医師国家試験

Message

卒業生メッセージ

2013年 卒業
医学研究科医学専攻
博士課程1回生
(東大寺学園高等学校(奈良県)出身)



森 圭史 さん

自分が歴史の一部になる場所

京都大学医学部は、権威にとらわれずに常に虚心坦懐に自然を観察することで、免疫を抑制する免疫細胞を発見した坂口志文博士、ES細胞から生殖細胞を誘導してマウスの誕生まで至らせた齋藤通紀博士など科学界に衝撃を与えた数々の偉人を輩出してきました。私もゆくゆくは新しい分野を切り開いて尊敬する先人たちの仲間入りをしたいと思い、医学部卒業後にすぐに大学院博士課程に進学しました。日曜の午後は京都の街で気分転換もしつつ、憧れの科学者で普遍的教養人でもある篠原隆司博士(写真右)といつも議論や雑談をしながら朝から夜遅くまで未解決の問題に取り組むというのはとても幸せです。過去の英雄の足跡をたどるだけでなく、実験によって誰よりも一足先に未来も覗けてしまう京都の地で一緒に生命の神秘を解き明かしましょう!

2013年 卒業
京都大学医学部附属病院 研修医
(旭丘高等学校(愛知県)出身)



高木 あかり さん

「学舎」

6年間を振り返り、ここが、自ら機会を見つけ実行する人にsupportiveな環境であることを実感します。1年目の春に研究室をたずね、先輩が愉快そうに猛烈な早口で質問に答える姿に大きな衝撃を受けました。知識はお友達、毎日アイデアを持ってディスカッションしにいかなくてはならないよ、というアドバイスにはその後実験をしている間幾度も立ち戻りました。学内ではセミナーやレクチャーが随時開かれ見聞を広めることができました。5年目からの臨床実習では、「どの科に行くのでもここで得た経験は医師として貴重な経験であるから」とよき同僚として成長してほしいという願いを感じながら時に厳しく指導いただきました。ぜひ新しい発見に心躍らせる楽しい学生時代を過ごされることを願っています。

基礎医学研究者 (MD 研究者) の育成

医学部においては、基礎医学研究者を育成するための道が種々用意されています。

MD-PhD コース

1年次より研究室を回り、各々の研究室での研究活動に参加するラボ・ローテーションを行い、4年次修了時点で学部を休学して大学院博士課程へ進学、医学研究に専念し、早期に医学博士の学位を取得後、学部5年次へ復学するカリキュラムです。



【写真】 MD-PhD コースでの活動風景

基礎医学研究者育成プログラム

東京大学、大阪大学、名古屋大学、京都大学の4大学が合同で、長期的視点で基礎医学研究者の育成プログラムを開発すべく、医学分野における教育体制の強化と研究の活性化に取り組んでいます。

1回生全員を対象としたプライマリーコースは医学部のカリキュラムに組み込まれており、アドバンスドコースでは選抜された学生20名程度を対象に論文精読会、基礎医学セミナー、ラボ・ローテーションでの研究成果発表、短期海外留学や学会参加へのサポート、4大学合同リトリート、コンソーシアムを組む連携大学間(福井大学、滋賀医科大学、神戸大学、京都大学)でのリトリート・交流会を行っています。



【写真】 第2回4大学合同リトリート(2012/8/16-17)

ラボ・ローテーション

1年次後期より6ヶ月単位で研究室を回り、各々の研究室での研究活動に参加します。ラボ・ローテーションを通じて、医学研究のさまざまな分野と手法を広く見聞し、講義だけでは分からないそれぞれの研究の実験を体験、その中で自分の研究者としての適性を判断し、性分にあった実験手法と分野を見いだすことを目的としています。さらに、多くの教員と身近に接することにより人的ネットワークを形成することができます。



医学部 人間健康科学科

School of Human Health Sciences

医学部人間健康科学科のホームページ：
<http://www.med.kyoto-u.ac.jp/>

入学についてのお問い合わせ：医学研究科 教務・学生支援室
(人間健康科学科教務掛) tel. 075-751-3906



【写真】細胞組織検査学習

語らいから学びあい... 創りあげる

人間健康科学科教育課程の概要

本学科では、「健康について科学すること」を教育課程の中心として取り上げ、新入生から『人間健康科学概論』において、「健康科学」に関する基盤形成をしていきます。4年間を通じてヘルスプロモーションの考え方を学習し、保健医療福祉分野において「健康科学」を実践しうる人材を育成します。

チーム医療に積極的に参画してリーダーシップを発揮できる医療専門職として、患者中心の医療を進めるために必要な共通理念・方法論を学習し、その基礎の上に立って高度先進医療に対応でき、国際的にも将来の医療を担うことのできる人材を育成します。

人間健康科学科が望む学生像

京都大学医学部がこれまで推し進めてきた医学研究並びに高度先進医療をさらに発展させ、豊かな保健・福祉社会を実現するため、人間健康科学科において健康科学を確立し、人々の健康を実現したいと考えています。

これを具体化するには、共に学び共に展開する人材が必要です。人間健康科学科は高度医療専門職を、そして将来の健康科学を発展させる人材を育成したいと考えています。恵まれた教育・研究環境で、そして学問を育む京都において、夢のあるチャレンジを志す若人を求めています。

授業科目の区分

人間健康科学科の授業科目は、全学共通科目、専門基礎科目、専門科目から成り立っています。全学共通科目は、個々の学問領域を超えた幅広い分野に共通する基礎的な知識および方法を教授するとともに、学生が高度な学術文化に触れることを通じて豊かな人間性を育むための教育を実施することを目的としています。専門基礎科目は、医学部人間健康科学科全専攻の学生個々の専門領域を超えて、医療従事者として共通する基礎的な専門知識を教授するものです。そして専門科目は、各専攻それぞれの専門分野における知識や技術を教授するものです。

●セメスター制の履修方法

セメスター制とは、1年を前期・後期の2学期に分けて、各学期ごとに履修科目登録と成績評価を行う制度です。人間健康科学科は基本的にセメスター制をとりますが、各教科実習や臨床実習の実施日時は京都大学全体のセメスター日時と一致しない場合があります。

●全学共通科目

人間健康科学科では卒業に必要な単位数を専攻毎に定めています。各専攻によって、特に履修を要する科目があります。

●専門基礎科目

専門基礎科目は、「専門基礎」と「臨床基礎」で構成され、医療専門職に進む学生が共通して学ぶべき医学・医療領域のコアカリキュラムと位置付けられる重要なもので、多専攻に共通する専門領域の基礎概念および基礎知識を理解するための科目です。全学共通科目と並行して第Ⅰセメスターより第Ⅳセメスターまでに、人間健康科学科の学生は多専攻共通で履修することとなります。

専門基礎は、人体構造、人体機能、健康科学、専門基礎Ⅰ、専門基礎Ⅱ、専門基礎Ⅲから、臨床基礎は、内科系臨床概論、外科系臨床概論、臨床各論から構成されています。全学共通科目として開講される臨床コミュニケーション論(看護・理学・作業対象)、リハビリテーション概論(理学・作業対象)は、該当専攻の学生に必須単位であり、専門基礎科目としての履修単位とみなされます。

●専門科目(看護学専攻)

看護学専攻では入学時から専門科目を開講します。第Ⅰセメスターでは「基礎看護学」「看護カウンセリング論」等により、独自の健康観や看護観を形成していく上で基盤となる考え方や理論を学習します。第Ⅱセメスターでは「基礎看護学技術論」「基礎看護学技術演習」等により、看護学において基礎となる援助技術の知識や方法論を学習します。第Ⅲ・Ⅳセメスターは「臨床基礎看護学」や「臨床基礎看護学技術演習」等により、臨床における援助技術の知識や方法論を学習します。

学年	1		2		3		4	
セメスター	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII
科目	全学共通科目				各専門科目			
	専門基礎科目(全専攻共通)				・看護学専攻 ・検査技術科学専攻 ・理学療法専攻 ・作業療法専攻			

第Ⅲセメスター以降は、成人、精神、母性、小児、在宅、地域の各専門領域の講義、演習、実習を開講します。これらの領域では専門基礎科目や基礎看護学・臨床基礎看護学の学習を踏まえ、領域の特性や捉え方、疾病をもつ人や状況に対するアセスメントなどの専門的知識と、領域特性に応じた援助技術の方法論を学習します。

第Ⅶ～Ⅷセメスターでは「在宅」と「地域」の演習と実習「統合実習」と「統合看護(卒業論文)」を開講します。第Ⅵセメスターまでの学習を振り返り、各人の課題に沿って研究的なプロセスをたどることにより、4年間の学習を統合し看護学を深めていくことができるようにしています。

●専門科目(検査技術科学専攻)

第Ⅰ・Ⅱセメスター(1年次)は、全学共通科目にて幅広い教養と見識を培う時期です。専門科目としては、医用イメージング概論(第Ⅱセメスター)のみが配当されています。

第Ⅲ・Ⅳセメスター(2年次)においては、基礎医学に関する講義を中心に問題を論理的に把握する能力を培います。生体の正常な機能と病因・病態を中心に、基礎医学の知識を総合的に理解する時期です。後期では臨床検査に関連する実習を行います。専門基礎科目を中心に編成されており、いずれ臨床医学の場で必要となる基礎医学を学習します。

第Ⅴ・Ⅵセメスター(3年次)では、臨床検査医学に必要な実習が主体となり、知識を経験に活かす時期となります。基礎医学の総論、実習を通じて学んできた知識を実習に活かし、臨床検査に関する技術を習得することにより、将来に向けて生きた知識と技術を体験します。

第Ⅶ・Ⅷセメスター(4年次)には、指導教員のもと各自が卒業研究を行います。また、3年次までに実習してきた臨床検査学全般にかかわる実践的な検査実務を、臨床実習として京都大学医学部附属病院の検査部、病理部、輸血部において、少人数単位で体得します。臨床検査技師の国家試験を受験しますが、その対策はもちろん、チーム医療教育、地域医療、医療の国際化など幅広い医療に関する問題、医工連携等に直結する学習を行います(臨床実習など)。

Message

在学生メッセージ



「作業療法の魅力に惹かれて」

作業療法専攻3年生
(嵯峨野高等学校(京都府)出身)

向井 歩美さん

人と関わる仕事ができるって魅力的だな、作業療法(OT)って何をやるのだろう、面白いことが学べそう、そんな思いで私はこの専攻を目指して入学しました。OTになるために学ぶべきことは本当にたくさんあります。京大での専門の授業は、専門基礎から総論・各論と専門性が深まって難しくなっていきますが、偉大な教授がたくさんおられるため、常に様々な好奇心を持って学ぶことができます。

また、OTについてもっと知りたい、OTを学ぶ人と繋がりをつくりたい、という思いで昨年から始まった関西作業療法学生交流会があります。同じOTを学んでいるとはいえ、各大学のカリキュラムや教授により、学べることは様々です。それらを共有し、また大学・回生を超えた OTS の繋がりをつくり、互いに良い刺激を得ていけたらと思います。今はスタッフ代表としてこの交流会に関わっています。

このメッセージを読んでくださっている皆さんは、作業療法って何だろう?何が出来るのだろう?と少しでも興味を持っていただいていると思います。京大ならではの自由に学べる環境があり、専門性の高いことが学んでいけます。学ぶべきことは常にたくさんあります。興味・意欲を持った皆さんと一緒に学んでいけることを願っています。



「人と人とのつながりが学びを豊かする。」

理学療法専攻3年生
(生野高等学校(大阪府)出身)

宮垣 さやかさん

京都大学といえば、個性豊かで偏差値の高いいろいろな人間が集まる大学であるというイメージを皆さんお持ちだと思います。自由さ、個性豊かさを存分に楽しめるのが京都大学です。全学共通の授業、部活動やサークル、その他の様々な活動を通じて、他学部他専攻、またいろいろな世界との交流の機会が京都大学にはあります。そのなかで学ぶことは、とても刺激的で魅力的です。

ですが、私の所属する人間健康科学科理学療法専攻の魅力は、実はそれだけではありません。

近年需要の高まっている医療技術、とくには理学療法を学べる学校の中で、最高学府であるこの学科の一番の特徴は、人と人とのつながりにあると思います。「理学療法」という専門分野のもとで、「小さなコミュニティ」で集まっているのは、巨大な京都大学の中では珍しいのではないかと思います。だからこそ、最高学府ならではの最新の研究がどんどんと行われているのと同時に、その最新さと距離がとても近い、ということがとても魅力的なのです。それは、授業、研究その内容だけでなく、それを伝えてくれる教授、先輩、クラスメイト、後輩、すべての距離が近いということによって可能になっています。

京都大学らしい個性豊かでないいろいろな刺激を受けながら、専門的で人間味のある知識を学んでいけるというのが人間健康科学科だけが持つ魅力だと思います。



●専門科目(理学療法学専攻)

理学療法学専攻では、第Ⅰセメスターから「理学療法総論」を学び、「理学療法見学実習」で実際の理学療法の現場を見学・体験させることによって理学療法への興味を深めます。

第Ⅲセメスターから第Ⅴセメスターにかけては理学療法評価学、運動機能評価学実習、各疾患別理学療法学などの専門科目が始まり、それまでに学習してきた基礎医学と臨床医学を結びつけるような講義および実習を行います。

第Ⅵセメスターから第Ⅶセメスターにかけては臨床評価実習および臨床実習を行い、臨床現場における理学療法の実験を経験します。臨床実習終了後、第Ⅷセメスターにかけて卒業研究と理学療法特論各種セミナー等の演習科目により、さらに理学療法学を深めていきます。

●専門科目(作業療法学専攻)

作業療法学専攻では、第Ⅰ・Ⅱセメスターで全学共通科目、専門基礎科目と平行し、作業療法適応学原理、作業学や臨床実習Ⅰ(早期臨床体験)により、作業療法への興味を深めます。第Ⅲセメスターでは作業分析学、作業療法評価学総論など作業療法の基盤となる専門科目の学習が始まり、身体障害、精神障害、発達障害の3領域の見学実習(臨床実習Ⅱ)など、専門課程を学ぶための基盤づくりを行います。

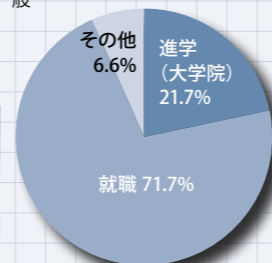
第Ⅳから第Ⅵセメスターにかけては、作業療法評価や作業療法治療学など作業療法の専門科目の学習、そしてそれらの技術を習得するための演習・実習を行い、第Ⅵセメスターで、講義や実習で学んだ評価手順と技術を習得するために、評価実習(臨床実習Ⅲ)を行います。第Ⅶ・Ⅷセメスターでは、より高度な臨床応用力をつけるために、作業療法の治療計画と治療体験を、臨床実習Ⅳを通して学び、卒業研究で将来の臨床家、研究者、教育者としての基盤を育みます。

卒業後の進路

2012年度実績

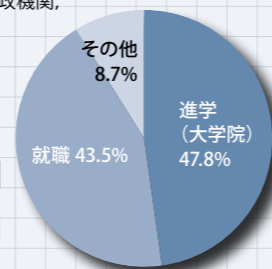
[看護学専攻] 医療系(病院、保健所、市町村、企業内健康管理部門など)、官公庁、一般企業、教育研究機関、大学院進学など

進学(13)	大学院 10 その他 3
就職(43)	病院 38 企業 1 官公庁 4
その他	4



[理学療法学専攻] リハビリテーションセンター、国公立病院、私立病院、老人保健施設、肢体不自由児施設、通所リハビリテーション施設、行政機関、教育機関、関連企業、大学院進学など

進学(11)	大学院 11
就職(10)	病院 6 企業 4
その他	2



人間健康科学科で取得可能な資格

人間健康科学科の所定の課程を修了し、卒業した者および卒業見込み者は、以下の厚生労働省が実施する国家試験の受験資格が与えられます。

[看護学専攻] 看護師、保健師(選択制)

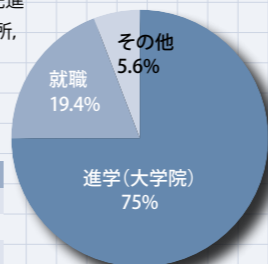
[検査技術科学専攻] 臨床検査技師

[理学療法学専攻] 理学療法士

[作業療法学専攻] 作業療法士

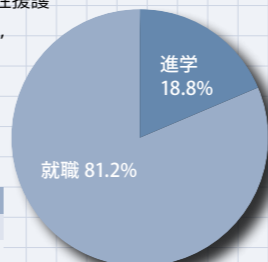
[検査技術科学専攻] 医療系(病院、診療所、保健所等)、教育研究機関、製薬等企業・研究所、医療機器メーカー、臨床検査センター、高度先進医療関係、科学捜査研究所、医療・保健行政、大学院進学など

進学(27)	大学院 27
就職(7)	病院 4 企業 3
その他	2



[作業療法学専攻] 医療系(病院、診療所、保健所、保健センターなど)、福祉系(児童福祉施設、精神障害者社会復帰施設、身体障害者社会福祉施設、老人福祉施設など)、関連企業、研究所、保健医療福祉行政機関、大学院進学など

進学(3)	大学院 3
就職(13)	病院 12 企業 1



Message

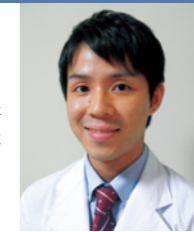
卒業生メッセージ

2011年 保健学科(現人間健康科学科) 検査技術科学専攻卒業
2013年 医学研究科人間健康科学系専攻 検査技術科学コース 修士課程修了
京都大学医学部附属病院検査部 臨床検査技師(京都教育大学附属高等学校(京都府)出身)

松尾 英将さん

人間健康科学を学んで

私は科学実験が好きだったので、それが生かせる職業に就きたいと考え入学しました。大学では医学物理学、工学などを網羅する臨床検査の学問の奥深さに魅せられ、大学院では血液疾患の研究に没頭しました。人間健康科学科には各分野をリードする素晴らしい先生方がおられ、研究設備も大変充実しています。附属病院やIPS細胞研究所で研究することも可能で、京都大学ならではの魅力といえるでしょう。現在私は臨床検査技師として働いており、患者さんの診断や治療に直結する仕事に日々やりがいを感じています。将来は検査業務と並行して、大学院時代より継続中の研究を進展させ、疾患の新規診断法や治療法に結びつく研究成果を世界に発信したいと考えています。京都大学は夢を実現できる場所です。皆さんも人の健康を支える学問に取り組んでみませんか。



2008年 保健学科(現人間健康科学科) 看護学専攻卒業
2008年-2011年 京都大学医学部附属病院 勤務
2013年 医学研究科人間健康科学系専攻 看護学科学コース 修士課程修了
医学研究科人間健康科学系専攻 博士後期課程1回生(西大和学園高等学校(奈良県)出身)

清水 彬礼さん

『ヒト』と『人』について考える経験

人間健康科学科では「健康について科学する」ことを中心に行っています。対象は人間ですが、その範囲は広く、「ヒト」であり「人」であると思います。したがって、健康について自然科学および人文・社会科学の側面からアプローチし、理解を深めることができるのがこの学科の特徴の一つだと考えています。さらに、この京都大学には各分野の第一線で活躍されている先生方がいらっしゃるの、各専攻の枠に留まらない視野を身につけることができる環境にあるのではないのでしょうか。実際に京都大学で学ぶことで、ただ国家資格を得るだけでなく、「ヒト」と「人」について考えることのできる力と経験を得ることができたことは、非常に意義のある事だったと思います。みなさんも、京都大学で学び、広い視野と経験を得てください。



講座紹介

看護学専攻

看護学の対象者は、あらゆるライフサイクルにある個人や家族はもとより、広く地域や国際社会にも及んでいます。また、病気の人だけでなく、疾病の予防や健康増進を含むあらゆる健康レベルにある人に関わっています。既成の枠にとらわれない新しい発想のもとで教育・研究を行い、新たな領域を開拓していくことをめざし、看護学専攻では、教育・研究体制として大講座制をとっています。

1. 基礎看護学講座
人間、健康、環境、生活など、基本的な概念に関連する事柄やそこから派生する健康現象について、実践の基盤となるエビデンスの探求や評価手法を開発し、看護学全体の基礎となる知識や方法論の体系化や理論の検証をめざして教育・研究を行います。

2. 臨床看護学講座
人の健康は身体的・精神的・心理社会的等様々な因子の統合として達成されます。臨床看護学講座では、主として成人期にある人のからだところの健康問題に対し、専門的な視点からアセスメントする方法や援助方法を開発し、実践の場で有効に活用できるよう、教育・研究を行います。

3. 家族看護学講座
少子化・核家族化が進む21世紀において、家族は非常に重要な社会的単位であり、健康生活を維持・増進するための一次的なサポートシステムです。家族看護学講座では、さまざまな家族・社会の形態や環境のなかで、夫婦が自立して次世代を生き育てることに直接あるいは間接的に参加できるよう、母子とその家族を取り巻く専門的な理論と技術について教育・研究します。

4. 地域・老年看護学講座
長寿・高齢化社会や少子化社会に対応してサクセスフルエイジング、介護予防、訪問看護等の地域高齢者に対する保健看護活動や地域組織活動、健康な街づくり、保健医療福祉の連携とネットワーク化等の地域看護の専門的な理論や技術について教育・研究します。



検査技術科学専攻

検査技術科学専攻は、近年の分子細胞生物学、遺伝子医療、移植医療、再生医療など医学および医療技術の急速な進歩に伴い、幅広い教養と専門医療職としてのより深い知識や最新の技術を習得した臨床検査技師を養成することを目的とします。本専攻は、基礎生体病態情報解析学、臨床生体病態情報解析学、ならびに情報理工医学の3講座からなり、基礎医学、臨床医学、遺伝子工学、画像診断学・情報科学を含めた生命科学のあらゆる分野を視野に入れた幅広い知識や技術を学び、さらに国際的にも活躍しうる研究者・教育者としての優れた人材を育成します。

1. 基礎生体病態情報解析学講座
基礎生体病態情報解析学講座では、難病、移植、再生、生殖医療等の高度医療を主とする生体情報解析に対応できる検査技術科学を開発・発展させるために、生体からの情報を抽出し遺伝子、分子レベルから細胞、組織にわたる生理的および病理学的基礎情報を分析します。これらの情報を基に病態解明のための分子診断検査、細胞情報解析ならびに形態学的解析技術等を開発し、これに関する教育・研究を行います。

2. 臨床生体病態情報解析学講座
分子生物学、遺伝子工学技術の急速な発展・進歩に伴い、難治疾患に対する高度先進医療の開発が医療現場で大きく進展しています。臨床生体病態情報解析学講座では、移植・再生医療、遺伝子治療をはじめとする先端科学の臨床への展開を支援する臨床検査のエキスパートとして必要な理論や技術について教育・研究します。

3. 情報理工医学講座
高度先進医療を支える生体医療情報解析において画像診断機器とそれを用いた画像診断技術が必要不可欠です。これらの診断機器や技術を開発・導入するうえでは、医学・医療分野の知識に加えて機器開発の基礎となる医用工学技術や情報科学の理論をも習得した人材が必要です。このような人材を育てるため、情報理工医学講座では、医工融合分野における最先端技術の研究開発および事業化に将来発展しうる教育・研究を行います。



理学療法学専攻

理学療法は、日常生活に必要な基本的動作能力に障害があったり、または障害を引き起こす可能性のある人々に対して社会生活に適応するために必要な援助技術や治療技術を提供する実践科学です。少子高齢化の進んだ今日では、理学療法士の職域は医療現場だけでなく地域医療や福祉の分野などにも急速に拡大し、保健・医療・福祉専門職としてバランスのとれた活動が求められます。また理学療法士は、医療専門職の中でもとりわけ自由裁量に基づいた判断と行動が必要とされ、そのため専門領域の知識や技術の習得だけでなく豊かな人間性と問題解決能力の涵養が必要とされます。理学療法学専攻は、このような社会的ニーズに応えることのできる理学療法士を養成します。

理学療法学専攻の教育目標のひとつは、科学的な根拠のある医療(Evidence Based Medicine: EBM)に基づいた判断ができる理学療法士を育てることにあります。本専攻における教育の他に例のない特徴は、四年次の臨床実習終了後、「症例検討セミナー」や「運動機能解剖セミナー」など、より臨床的な理学療法学への理解を深めることを目的とした演習科目を設けていることです。臨床実習後に教員の指導のもと、専門的な理学療法を大学病院で学ぶ「症例検討セミナー」や実践に役立つ専門的な「画像診断・整形外科セミナー」、実習で興味を持った解剖学に関して、さらに理解を深めるために解剖実習を行う「運動機能解剖セミナー」、卒業後の臨床研究に役立つ定量的な運動解析手法を学ぶ身体「運動解析セミナー」などがあり、これらのセミナーや卒業研究などを通して科学的なものの見方を養い、実践的な問題解決能力を育成します。

また、本専攻の最大の特徴は、附属病院で実践される先端医療を目の辺りにした臨床教育に学生が自ら参画できる環境にあるということです。理学療法におけるこの領域は世界的にも未知の部分が多く、今後の可能性が注目されることです。卒業後は、急性期、慢性期、回復期の医療機関だけでなく、保健・行政機関、リハビリテーションセンター、介護保険事業所、教育、研究機関などに就職し、幅広い分野でリーダーとして活躍する事が期待されます。

理学療法学専攻においては、このような近年の多様なニーズに対応すべく広い視野を持って保険・医療・福祉の幅広い分野で問題解決能力を発揮してリーダーシップをとる人材を育成しています。



作業療法学専攻

ひとの日々の生活は、身辺処理や生活管理など生活を維持する活動、職業や家事・育児・学業などの仕事に関する活動、遊びや余暇とさまざまな活動によって営まれています。生活の質、健康な生活、社会参加の内容は、そうした作業活動のありように左右され、病や障害はその作業活動に支障を来し、生活に障害をもたらします。作業療法学専攻は、健康科学の一環として「作業療法学」を確立し、より高度な専門性を備えた臨床、教育、研究に携わる人材を育成するため、臨床教育と研究を行います。

生活を科学する作業療法
作業療法は「適応の科学」と言われ、病や障害により日々の暮らしに支障を来している人々に対し、自律して生活に適応する能力の発達・回復・開発・維持を援助します。生活への適応困難は、生理機能、運動機能、認知機能、社会的機能などのいずれかの要因により、もしくは複数の要因が重なって生じます。生活に生じた問題を分析し対策をたてるためには、人の心や身体の仕事、モノの捉え方・判断の仕方、学習・記憶の仕方、社会規範の理解・対応の仕方、行為・動作として表現する仕組みなどに関する知識が必要となります。

作業療法学専攻では、適応機能の改善・回復を効果的に実践するための作業活動の特性を学び、対象者個々のニーズに合わせて作業を適応・段階づける知識・技術を獲得する作業分析、評価、援助法などを体系的に学ぶことができる教育プログラムを提供します。作業療法に限らず、リハビリテーションに関連する専門領域は、他の医療領域に比べて歴史が新しい領域であり、今後さらなる発展が要望されており、高度先進医療と相補する治療・援助技法として最も脚光を浴びています。その要望に応えるために、研究を遂行し絶えず精錬していき、研究を臨床の場に具体的に反映することができるよう人材を育成します。

明日を拓く作業療法
2007年度より大学院(医学研究科人間健康科学系専攻)が開設され、臨床研究と共に、近赤外線分光法、脳波、自律神経機能測定、神経心理学的検査、脳磁図などによる客観的指標の研究にも取り組み、京都大学病院と連携し、高度な臨床専門職、教育・研究職を育成しています。





薬学部

Faculty of Pharmaceutical Sciences

薬学部のホームページ：
<http://www.pharm.kyoto-u.ac.jp/>

入学についてのお問い合わせ：
薬学部教務掛 tel. 075-753-4514



【写真】学部3回生の学生実習風景

創薬の革新, 育薬の探究, そして医療と社会への貢献

薬学部が望む学生像

京都大学薬学部は総合科学としての薬学の基礎体系を習得させ、創薬、医療薬学に関わる科学者、技術者、薬剤師を育成することを目標としています。

薬科学科：薬科学科の主たる使命は医薬品の創製です。自ら考え、探求し、創造する豊かな心を持つ人材が求められます。

薬学科：薬学科の主たる使命は最適な薬物治療の実現です。医療の進歩と発展を担うため、向上心と探求心を持ち続けられる人材が求められます。

薬学部への誘い

薬は、人類の健康に大きく貢献し、不可欠なものとなっています。薬学は、この薬を創造、創製し、適正に使用するための学問を行う場です。薬の開発は先端的な科学と技術の融合の上に成り立っていますので、薬学を通して社会に貢献するためには、化学系、物理系、生物系、医療系など幅広い専門知識と医療人としての心を学ぶことが必要です。

京都大学における薬学の教育・研究組織は昭和14年に医学部薬学科として、有機化学系、分析化学系を中核に出発し、その後、薬学に対する社会的要請の広がりに対応して、生命科学系分野、医療系分野など研究分野を加え、総合科学としての薬学の教育、研究体制を整え、現在に至っています。

現在、薬学部では、近年の急速な生命科学の進歩、医療の高度化に対応するために、新しい概念に基づく医薬品の創製・発展、医療への貢献に対応できる教育が求められており、その一環として、平成18年度から薬剤師国家試験受験資格が6年間の履修期間を要するという教育制度の変更も行われました。そこで、本薬学部では、この薬学教育、研究の大きな変革に対応するため、将来の医薬品の創製を担う創薬科学研究者、技術者養成を目指す4年制の薬科学科と、高度な医療を担い、それを指導できる薬剤師、医療薬学研究者、技術者養成を目指す6年制の薬学科の2学科を設置し、それぞれの目的に適した人材の育成に努めています。また大学院では、薬科学専攻と薬学専攻、医薬創成情報科学専攻の3つの専攻を設け、学部で養われた学力、技能を基盤として、より広い視野に立つて薬学関連領域の学識を深め、研究能力を養うことを行っています。さらに、教育・研究の施設・環

境の充実にも努め、最近総合研究棟および教育棟の新設、本館の大改修を行いました。また、文部科学省21世紀COEプログラムをはじめ、創薬、医療薬学分野の特色ある研究・教育プログラムにも採択され、創薬科学および医療薬学の充実した教育に努めています。薬学は先端科学研究と医療での社会的貢献が同時に可能な学術領域です。医薬品の創製と医療への貢献を目指す学問の場として、薬学部にご期待をいたします。

薬学部の教育

●創薬科学研究者と高度な医療を支える薬剤師を育てる

薬学は疾患の治癒、健康の増進をもたらす医薬品の創成、生産、使用を目的とした総合科学です。薬学の基礎は物理学、化学、生物学です。これらの基礎科学の統合と応用により、薬学の教育・研究を進展させます。最近の医療技術の進歩と高齢化社会の問題等により、薬学に求められる社会的意義の重要性はますます増大しております。医薬品の研究開発や適正使用は人の健康や生命に関わるものです。薬学に携わる人間は単に学問的素養のみならず、高い社会性、道徳性が求められます。京都大学薬学部は4年制の総合薬学科で創薬科学、医療薬学の研究者、技術者の養成を目指してきました。平成18年度より京都大学薬学部は創薬科学研究者、技術者養成を目指す4年制の薬科学科と、高度な医療を支える薬剤師、医療薬学研究者、技術者の養成を目指す6年制の薬学科の2学科となりました。

●1～2回生(薬科学科、薬学科共通)：全学共通科目を中心とした履修と専門教育への準備

1回生では教養・自然系基礎科目からなる全学共通科目と基礎専門教育科目を履修します。これらの科目は幅広い学問に接して高い教養を身につけるとともに、専門科目を学ぶための基礎学力、思考力を身につけることを目的としています。全学共通科目は人文・社会系科目、自然系科目、外国語科目からなっております。さらに、専門基礎教育

科目として薬学倫理・概論、薬学生物学、薬学物理化学、基礎有機化学なども履修します。2回生では、全学共通科目と専門基礎教育科目として科学英語を履修するとともに、専門教育の科目も履修します。

●3～4回生(薬科学科)：専門科目の講義と実習

3回生では薬学の専門知識・実験技術を学ぶための専門教育科目を中心とした科目を履修します。大学院教育に結びつく高度な専門知識を学ぶ研究基盤教育科目も一部入ってきます。主として午前中は講義、午後は専門実習を行います。実習は全て必修科目で薬学の全ての専門分野に関する実験技術を習得します。

4回生では主として特別実習を行います。特別実習はほぼ1年にわたって行われます。特別実習では希望する研究室に配属し、教員の指導、助言を受けながら、特定の専門領域の新しいテーマの研究に取り組みます。特別実習は薬学研究の現状を知り、将来の進路を考える上でも重要なものです。

●3～6回生(薬学科)：専門科目の講義と実習

3回生では薬学の専門知識・実験技術を学ぶための専門教育科目を中心とした科目を履修します。大学院教育に結びつく高度な専門知識を学ぶ研究基盤教育科目も一部入ってきます。主として午前中は講義、午後は専門実習を行います。実習は全て必修科目で薬学の全ての専門分野に関する実験技術を習得します。

4回生前期では主として午前中は講義、午後は医療薬学ワークショップを行い、医療薬学分野全体の研究領域について学びます。4回生後期から特別実習が行われます。特別実習は6回生まで行われます。特別実習では希望する研究室に配属し、教員の指導、助言を受けながら、医療薬学を中心とした種々の領域の新しいテーマの研究に取り組みます。特別実習は医療薬学研究の現状を知り、将来の進路を考える上でも重要なものです。5回生では特別実習に加えて、医療における薬剤師の役割と職能を理解し、薬剤業務等を学ぶため、京都大学医学部附属病院薬剤部と学外の調剤薬局で5ヶ月間の実務実習を行います。

Message

在学生メッセージ



京都大学薬学部の魅力

薬科学科4回生
(札幌南高等学校(北海道)出身)

松田 優佳さん

新薬をつくりたいという夢と、「自由の学風」への憧れから、私は京都大学薬学部を志望しました。今になって、やはりその選択は間違っていないと感じています。

まず、創薬の基礎となる幅広い知識を、3回生までの講義と専門実習から身に付けられることは、京大薬学部の魅力だと思います。また、4回生から配属される研究室では、更に専門的な知識を学び、自分のテーマを持って主体的に研究を行うことができ、研究者となるための環境が充実しています。

私は現在、同じく創薬を志す仲間から刺激を受けながら、薬品有機製造学分野で研究に励んでいます。大学では、やりたいことに打ち込むことはもちろん、モチベーションを高め合えるような仲間と出会うこともできるでしょう。皆さんも、京都大学で充実した学生生活を送りませんか。



「6年制の魅力」

薬学科6回生
(高松高等学校(香川県)出身)

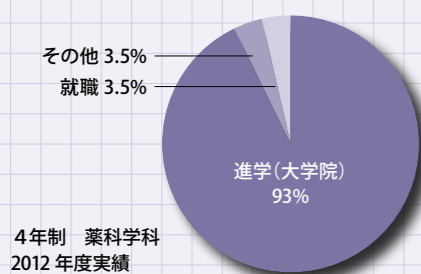
西谷 直也さん

私は以前から、薬学の研究者になって病気の人の役に立ちたいと思っていました。そのためには、やはり基礎についてはもちろんのこと、臨床について深い理解を持っている必要があるのではないかと考えました。京都大学薬学部薬学科は環境が充実しているため、薬剤師免許を取得し、臨床についての知識も持ちながら、薬学に関する研究を行うことができそうだと思います。実際に、5回生で行われる実務実習では、病院や薬局で薬剤師の仕事の間近に見ながら体験することができ、薬学の知識だけでなく、多くのものを得ることができました。現在は、生体機能解析学分野において研究を行なっています。薬剤師になるための勉強ばかりでなく、優秀な先輩、後輩達とともに本格的に研究ができることはとても魅力的だと感じています。Join us!



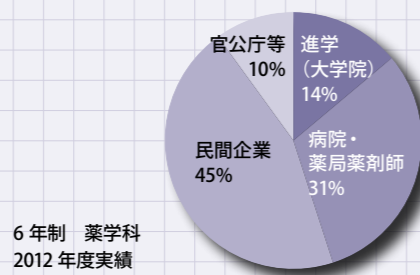
卒業後の進路

薬科学科：9割以上が大学院へ進学します。修士課程を修了した学生の3割が博士課程に進学します。大学院修了者の就職先には、企業、国公立研究機関、大学等教育機関、医療機関などがあり、修士課程修了者では7割が製薬会社に就職しています。



4年制 薬科学科 2012年度実績
就職先の例(修士課程修了者)
武田薬品工業(株)／第一三共(株)／大日本住友製薬(株)／富士フィルム(株)／資生堂など

薬学科：卒業生のうち、約1割が博士課程に進学します。卒業生の就職先には、医療機関、薬局、企業、国公立研究機関などがあり、職種も薬剤師、研究職など様々です。



6年制 薬学科 2012年度実績
就職先の例
京都大学医学部附属病院／広島大学病院／医薬品医療機器総合機構／武田薬品工業(株)／アステラ製薬(株)／日本調剤(株)など

薬学部で取得可能な資格
薬学部卒業生にとって最も重要な資格は薬剤師です。薬剤師とは、厚生労働大臣の免許を受けて医薬品の製造、調剤、供給に従事できる者のことであり、公衆衛生の向上および増進に寄与し、国民の健康な生活を確保することを任務とします。薬剤師の免許は、薬剤師国家試験に合格したものに与えられ、6年制の薬学科で卒業見込みの者及び卒業生が薬剤師国家試験に受験することが出来ます。また、平成29年度入学者までは、4年制の薬科学科卒業生も必要な要件を満たせば、個別審査の上、薬剤師国家試験受験資格が与えられることがあります。このほかに、教員職員免許状(薬科学科)などの資格が取得できます。

学部カリキュラム

薬学科 (6年制)	学部1年	学部2年	学部3年	学部4年	学部5年	学部6年	薬剤師国家試験			
	全学共通科目 早期体験学習	専門科目 全学共通科目	専門科目 専門実習	特別実習 専門科目 事前学習	特別実習 事前学習 病院・薬局実務実習	特別実習 アドバンスト医療系 講義・演習	博士1年	博士2年	博士3年	博士4年
薬科学科 (4年制)	学部1年	学部2年	学部3年	学部4年	修士1年	修士2年				
	全学共通科目	専門科目 全学共通科目	専門科目 専門実習	特別実習 専門科目						

学科紹介

薬科学科

医薬品の設計と合成そして生体分子との相互作用に関わる諸問題を、構造と機能ならびに作用と動態などの側面から研究する総合科学として、薬科学の基礎と応用に関する知識と技術を学びます。4年次には研究室に配属され最先端の研究に触れる特別実習を行います。卒業生の多くはさらに広い視野にたった専門知識を深め、研究能力を養うために、大学院(博士前期課程)に進学します。

薬学科

医薬品の適正使用を目的とした総合科学として、薬学の基礎と応用に関する知識と技術を学びます。1年次には早期体験学習が実施され、4～6年次には特別実習、病院実習、調剤薬局実習が行われます。薬学科は高度な薬剤師の養成を目指しますが、さらに広い視野にたった専門知識を深め、研究能力を養うことを希望する学生は大学院(博士課程)に進学します。

研究室紹介

薬科学専攻

薬品合成化学：高須 清誠 教授

- 1) 生理活性天然化合物の合成
- 2) 高次分子変換のための実践的方法論の開拓
- 3) 活性種の特性を活かした高官能基選択的な変換反応の開拓
- 4) 生体内で特異機能を発現する人工低分子の設計と開発
- 5) 有機金属反応剤の活性化と不活化手法の開拓

薬品分子化学：竹本 佳司 教授

- 1) プロセス研究を指向した環境調和型有機合成反応の開発
- 2) 金属の特性を利用した高立体選択的な新反応の開拓
- 3) 生理活性天然有機化合物及びその類縁体の全合成研究
- 4) 機能性複素環化合物の合成とバイオプローブとしての利用
- 5) 多点分子間相互作用するホスト分子の設計と生体機能の構築

薬品資源学：伊藤 美千穂 准教授

- 1) 二次代謝機能発現に関する研究、特にテルペノイドの生合成機構の解明
- 2) 生薬ならびに薬用植物に含まれる生理活性成分の研究
- 3) 薬用植物の実態と多様性に関する調査研究
- 4) 吸入投与による精油の生薬薬理学的研究

薬品機能解析学：松崎 勝巳 教授

- 1) 抗菌性ペプチドの作用機構の解明と創薬への展開
- 2) アルツハイマー病発症機構の解明と予防・治療法の開発
- 3) 膜タンパク質の構造形成原理の解明
- 4) 受容体の機能解析と創薬
- 5) NMRによる生体分子の構造解析

構造生物化学：加藤 博章 教授

- 1) X線結晶構造に基づいたABCトランスポーターの構造生理学
- 2) ペルオキシシオム膜タンパク質の膜局在化メカニズムの構造生物学
- 3) 精密立体構造に基づく酵素の触媒作用の構造的起源の解明
- 4) X線結晶構造解析による生物時計の構造と機能の解明

創薬機能解析学：石濱 泰 教授

- 1) プロテオーム一斉解析法の開発
- 2) シグナル伝達プロテオームに関する研究

- 3) 膜とタンパク質の相互作用および脂質質のダイナミクスに関する研究
- 4) 脂質微粒子の調整と生物物理学的研究

精密有機合成化学：川端 猛夫 教授

- 1) 動的不斉制御の方法論と不斉反応への利用
- 2) 有機触媒による精密反応制御
- 3) 分子のキラリティーに基づく高次構造の構築
- 4) 分子認識および超分子化学に関する研究
- 5) 生理活性化合物の創出を指向した新規合成法の開発

生体分子認識学：竹島 浩 教授

- 1) 小胞体Ca2+シグナリングに関する研究
- 2) 中枢系の機能制御と情報伝達に関する研究
- 3) 筋細胞の膜構築と機能に関する研究

生体機能解析学：金子 周司 教授

- 1) イオンチャネルなどの膜輸送タンパク質を対象とする創薬、機能解析、薬効解析、安全性評価、病因論、ゲノム学に関する研究
- 2) 痛みの物質的基盤および鎮痛薬の作用機序に関する研究
- 3) 薬物依存や薬物有害事象の分子機構に関する研究
- 4) 生命科学用語オントロジーの研究

遺伝子薬学：三宅 歩 講師

- 1) 細胞増殖因子(FGF)の脂肪組織、骨・軟骨、胎形成などにおける役割の解明
- 2) 遺伝子探索法による新規細胞増殖/分化因子遺伝子の探索と構造解析
- 3) 遺伝子機能抑制小型魚類の作成による新規遺伝子の個体レベルでの機能解析
- 4) 遺伝子欠損マウスの作成による新規遺伝子の機能解析とその分子機構の解明
- 5) 組織形成、組織修復の分子機構の解明と再生医学への応用

生理活性制御学：井垣 達史 教授

- 1) 細胞競合の分子機構に関する研究
- 2) 細胞間コミュニケーションを介した組織成長制御機構に関する研究
- 3) がんの発生・進展機構に関する研究

生体情報制御学：中山 和久 教授

- 1) 低分子量GTPaseによる細胞内タンパク質輸送の調節に関する研究

Message

卒業生メッセージ

2005年 総合薬学科卒業
2007年 薬学研究科 修士課程修了
米国スクリプス研究所生物化学科
博士研究員
(岡山朝日高等学校(岡山県)出身)



猪熊 翼 さん

京大で薬学を学ぶことのメリット

京大薬学部において私が特に実感したことは分野間の垣根の低さです。薬学という学問は有機化学、物理化学から生命化学と非常に幅広く一見それらはお互い異なった分野に見えます。しかしここ京大薬学部ではそれぞれの分野のトップランナー達がお互いに知恵を出し合いながら切磋琢磨して世界に先駆けて新しい知見を得るために日々奮闘しています。私は京大での生活を通じて自分の専門分野の垣根を越えた広い視野で物事を把握するということを学びました。現在私は海外の研究室で有機化学をベースとして抗HIV薬の開発研究を行っていますがそこでも京大薬学部で培った経験は大きな財産となっています。

これから京大薬学部へ入られる方にも是非この京大薬学部の環境に触れていただき、さらなる飛躍への足掛かりとしてもらえればと思います。

2005年 総合薬学科卒業
2007年 薬学研究科 修士課程修了
田辺三菱製薬株式会社
開発本部データサイエンスセンター 勤務
(京都教育大学附属高等学校(京都府)出身)



兵頭 和美 さん

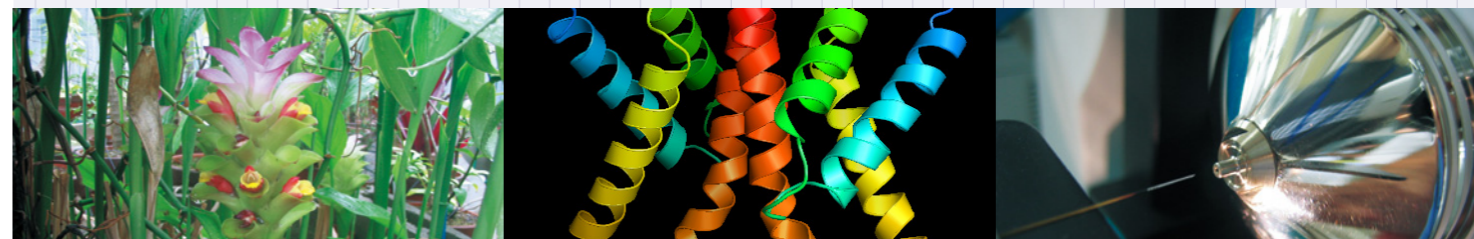
「京都大学は夢への第一歩」

世界中の患者さんの命を救える新薬を創りたいという思いから薬学部に入学しました。

私は今、製薬会社で新薬を開発するための臨床試験の計画を立案したり得られた結果を解析する業務を行っています。グローバルで効率よく新薬を開発するためには、幅広い知識、独創的な発想、問題解決力、コミュニケーション能力、英語力が必要です。

在学時、充実した環境の中で自由な発想で研究を行い、先生方や同僚、時には英語で海外からの留学生と議論した経験が、今の私を支えています。京都大学薬学部で学ぶことで、新薬を開発するための即戦力を身につけることができた実感しています。

京都大学で学ぶことは、みなさんの将来にとって大きな糧となるはずで、視野を広げ、やりたいことを見つけ、自らの力で問題解決できる人になり、世界で活躍してください。



- 2) 多様なエンドサイトーシス経路の調節に関する研究
- 3) メンブレントラフィックによる細胞分裂の調節に関する研究
- 4) メンブレントラフィックとタンパク質分解の共役に関する研究

神経機能制御学：根岸 学 教授

- 1) 神経ネットワーク形成、神経可塑性の分子メカニズムの研究
- 2) 中枢神経系におけるプロスタノイド受容体の情報伝達機構の研究
- 3) 三重体G蛋白質及び低分子量G蛋白質による神経機能調節の研究
- 4) ストレス伝達子の発現機構

生体機能化学：二木 史明 教授

- 1) 細胞機能・遺伝子を制御する生理活性蛋白質の創製
- 2) 細胞膜透過ペプチドベクターの開発とメカニズム
- 3) 鋳鉛フィンガー型転写因子のDNA認識と機能解析
- 4) 細胞内ターゲット(核・ミトコンドリアなど)の化学と分子設計
- 5) 環境応答型機能性ペプチドのデザイン

薬品動態制御学：橋田 充 教授

- 1) 医薬品の体内動態の分子機構の解明と動態モデルに基づく数理的解析
- 2) 治療の最適化を目的とする薬物の体内動態制御法、製剤設計法の開発
- 3) タンパク質医薬品の臓器、細胞特異的ターゲティング技術の開発
- 4) 遺伝子医薬品を対象とするドラッグデリバリーシステムの開発
- 5) 薬物の経粘膜・経皮吸収の機構解析とコンピュータ吸収予測法の開発

薬品作用解析学：久米 利明 准教授

- 1) 中枢神経作用薬の薬理学を主要研究課題とする
- 2) 中枢神経変性疾患におけるニューロン死の機序の解析とその保護因子の探索
- 3) 胎仔血清に由来する神経保護セロフェンド酸の作用機序の解析
- 4) 生体および天然物に由来する神経保護活性物質の探索研究
- 5) ニューロン生存と神経再生を制御する細胞内機能分子に関する研究

臨床薬学教育：矢野 育子 准教授

- 1) 医薬品の適正使用に関する教育・研究
- 2) 薬物動態と薬効の速度論的解析に基づく個別化投与設計に関する研究

病態機能解析学：佐佐 英郎 教授

- 1) 脳疾患、心疾患、がん、糖尿病などでの生体機能変化をインビボ解析する分子イメージングの開発とそれによる病態及び薬物作用の解明に関する研究
- 2) 病態の特性に基づく標的部選択的移行、選択的活性化をおこす機能性画像診断・治療薬の創薬研究
- 3) 生理活性金属化合物の生体作用の解明と治療への応用に関する研究
- 4) 薬物血中濃度データに基づく医薬品の適正使用

病態情報学：高倉 喜信 教授

- 1) 遺伝子治療・DNAワクチン療法を旨とした核酸医薬品開発
- 2) 核酸ナノデバイス/ナノゲルの開発
- 3) RNA干渉を利用した疾患治療システムの開発
- 4) 多機能細胞治療剤の開発

医療薬理学：松原 和夫 教授

- 1) 医薬品の体内動態と薬効・毒性に関する基礎と臨床
- 2) 薬物トランスポーターの分子・細胞生物学的解析と臨床応用に関する研究
- 3) 病態時の薬物動態・薬効の変動要因解析と患者個別投与設計に関する研究
- 4) 薬物相互作用のin vitro予測・評価系の開発に関する研究
- 5) 薬物トランスポーター代謝酵素の遺伝的多型とテーラーメイド医療

医薬創成情報科学専攻

薬理ゲノミクス・ゲノム創薬科学：平澤 明 准教授

- 1) 最先端質量分析に基づくがんのバイオマーカー探索
- 2) 最先端質量分析に基づくがんのゲノム創薬
- 3) 生体内オフオンG蛋白質共役型受容体のリガンド探索
- 4) 遺伝子改変動物、病態動物を用いた遺伝子の個体レベルの機能解析
- 5) 患者個人の遺伝子多型情報に基づいた至適臨床薬物療法の実現

ケモゲノミクス・薬品有機製造学：大野 浩章 准教授

- 1) ゲノム/プロテオーム情報取扱い型創薬研究
- 2) 新規複素環骨格構築法の開発と創薬テンプレートへの応用

- 3) 新規フラグメント合成法の開発と長鎖ペプチド合成への応用
- 4) ペプチド/ペプチド類似体をプローブとするケミカルバイオロジー研究
- 5) 抗癌剤、抗ウイルス剤、抗癌剤の分子設計・合成研究

システムバイオロジー：岡村 均 教授

- 1) 再生、老化における分子時計の細胞内時間ネットワーク機構を解明する。
- 2) 分子時間の異常による慢性疾患(高血圧、発症、神経変性疾患)の発症機構を解明し、時間を基にした新しい病気の理解、その治療法を開発する。
- 3) 哺乳類生体リズムにおける時間の生成と調節の仕組みを、細胞、組織、生体という多層レベルで解明する。
- 4) リガンド、受容体の解析による時間を調節する創薬研究

システムケモセラピー(制御分子学)：掛谷 秀昭 教授

- 1) 多因子疾患(癌、神経変性疾患、免疫疾患、糖尿病等)に対する次世代化学療法の開発を指向した先端ケミカルバイオロジー研究
- 2) 創薬リード化合物の開拓を指向した新規生理活性物質の天然物化学・天然物薬学
- 3) ケモインフォマティクス、バイオインフォマティクスを活用したシステムケモセラピー研究およびメタシナールケミストリー研究
- 4) 有用物質生産・創製のための遺伝子工学的研究(コンビナトリアル生合成等)

統合ゲノミクス：五斗 進 准教授

- 1) バイオ情報を統合するバイオインフォマティクス技術の開発研究
- 2) ゲノムと生体内化学反応の知識に基づく合成可能な天然物の予測
- 4) 医薬品開発に伴う化学構造変換の知識に基づく薬らしさの予測
- 5) 薬物間相互作用、薬物・標的間相互作用のネットワーク解析

分子設計情報：馬見塚 拓 教授

- 1) バイオ分子の生命機構の理解に向けた情報抽出技術の高精度化技術による知識発見
- 2) 先端情報科学技術の創出による生命情報解析・創薬技術の高度化
- 3) 薬物投与データからの生体分子間ネットワーク推定による創薬インフォマティクス
- 4) 生体分子の生命機構の理解に向けた情報抽出技術の高精度化
- 5) システムズバイオロジー・計算機による模倣からの生命現象の解析・理解



工学部

Faculty of Engineering

工学部のホームページ：
<http://www.t.kyoto-u.ac.jp/>

入学についてのお問い合わせ：
工学部教務掛 tel.075-753-5039



【写真】 建築本館の外観

自由な発想と独創性に基づく社会貢献

工学部が望む学生像

- ・高等学校での学習内容をよく理解して、工学部での基礎学理の教育を受けるのに十分な能力を有している人。
- ・既成概念にとらわれず、自分自身の目でしっかりと物事を確かめ、それを理解しようとする人。
- ・創造的に新しい世界を開拓しようとする意欲とバイタリティに満ちた人。

工学部への誘い

学問の本質は真理の探究です。その中で工学は人類の生活に直接・間接に関与するテーマを扱っています。そのため、地球社会の持続的な発展や文化の創造といった問題についても責任を負う立場にあります。工学部では、このような考え方に立って教育・研究を行います。教育にあたっては、しっかりとした基礎学力、高度な専門能力、高い倫理性、ならびに豊かな個性を兼ね備えた人材育成を目指しています。

京都大学工学部の歴史は、明治30(1897)年6月、京都帝国大学が創設され、分科大学の一つとして同年9月に理工科大学が開校したことに始まります。大正3(1914)年7月、理工科大学は理科大学と工科大学に分離されました。大正8(1919)年2月、分科大学の制度が

学部制に改められ、工科大学が工学部となりました。工学部は創設以来、本学の歴史とともに歩み、それぞれの時代の学問的・社会的要請に応えるように拡充整備され、今日では工学の分野のほとんどを網羅した本学最大の学部へ発展しました。大学院重点化に伴う工学部の改組により、平成5年度に工業化学科、平成6年度に物理工学科、平成7年度に電気電子工学科と情報学科、そして平成8年度に地球工学科及び建築学科が誕生し、現在では6学科体制となっています。

また、平成15年10月には京都大学桂キャンパスが開講し、現在では工学研究科のほとんどの専攻が移転を終えています。桂キャンパスでは主に大学院教育を実施し、学部教育は吉田キャンパスで実施しますが、第4学年の特別研究(卒業研究)を主に桂キャンパスで行います。

工学部の教育

●「自由の学風」と「学問の基礎重視」

工学部の教育の特徴は、京都大学の伝統である「自由の学風」の下で、「学問の基礎を重視する」ところにあります。「自由の学風」は、既成概念にとらわれず、物事の本質を自分の目でしっかりと科学的に見るということに基づいています。そこでは、学問に対する厳しさが要求され、それが「学問の基礎を重視する」とつながります。一般的には「工学部は応用を中心とする学部である」と考えられているので、上のように「基礎重視」というと、やや異質な印象をもたれるかも知れません。しかし、京都大学工学部では、基礎となる学理をしっかりと学んでおくことが、将来の幅広い応用を可能とするための必須条件であるという信念の下に、この教育方針を貫いています。

●第1・2学年では全学共通科目の履修に力を入れる

第1学年から第2学年にかけては、教養科目と自然科学基礎科目を主として履修します。これらの科目は、国際高等教育院を主体として京都大学の全学部ならびに研究所、研究センター等が、全学の学生が履修できるように開講しているもので、「全学共通科目」と呼ばれます。講義以外にも演習、ゼミナール、講読、実験、実習など、様々な形で行われ、これらの科目を履修することによって、専門分野を学ぶための基礎力を養うとともに、幅広い学問に接して高い教養を身につけ、人間としての視野を広げるよう工夫されています。

●高学年ほど専門科目がふえる

京都大学工学部では、各学科によって多少の差異はありますが、第1学年においても工学部各学科によって開講される専門基礎科目を履修します。専門基礎科目は第2学年になると数が増え、特に第2学年後期以降はかなりの数の専門基礎科目を履修することになります。そして、第2あるいは第3学年以降で専門科目を学びます。

●第4学年では特別研究(卒業研究)に取り組む

第4学年では、特別研究(卒業研究)を行います。教員の指導・助言を受けながら、各自で専門分野の新しいテーマに関する研究に取り組み、その結果を学士論文にまとめます。学生は各研究室に配属され、研究の最先端に接しながら、教員や大学院生と膝を交えて議論を重ね、創造的な研究活動を体験します。この授業科目はどの学科でも必修になっています。そして、所定の単位を修得し、学士論文を完成すれば、学士(工学)の学位を取得することができます。

●カリキュラムの特徴をつかむ

京都大学工学部では、学生が特定の専門分野の知識を修得するだけでなく、なるべく広い視点から科学・技術の発展を見通し、創造的に新しい世界を開拓していける人材を養成したいと考えています。そのために、いずれの学科でも基礎科目を重視し、伸びのある思考力と実践力を養うようにしています。また、カリキュラムは各学科の特色を十分生かすように工夫されており、更に近い専門分野のカリキュラムには共通性・相互融通性を持たせて、幅広く柔軟な学習ができるようにしています。なお、必要な場合には、他学科や他学部の科目を履修することもできます。



【写真】 桂キャンパスの様子

Message

在学生メッセージ



広がる可能性

工業化学科 創成化学コース4回生
(熊本高等学校(熊本県)出身)

沢田 理紗さん

私は素晴らしい先生方、十分すぎる設備、意識が高い優秀な学生、このすべてが揃っている環境の中で成長していきたいと思い、京大に入学しました。また、高校時代になんとなく化学が好きになったため、工業化学科を選びました。現在は研究室に配属され、最先端の研究に一歩だけ足を踏み出したところです。未知のことばかりで毎日わくわくしています。

私は3回生までに、興味がある一般教養科目を受け、知識と思考を深めてきました。また、数学や化学の基礎的な部分も学びました。先生方や友人の力も借りて、分からないところは議論しながら楽しく学んできました。

京大では、「自由の学風」とあるように自分自身でどのように考えたり行動したりすることができます。皆さんもこの京大の環境を生かしてご自身の可能性を広げていってください。



「選択肢が広く、かつ深く学べる環境」

電気電子工学科4回生
(高松高等学校(香川県)出身)

植田 有希子さん

将来家電を作りたいという漠然とした思いと、権威のある研究者が多く在籍し、研究設備も充実しているという情報から私は電気電子工学科を選びました。ここでは電気・電子以外に情報分野など多角的な勉強ができると同時に、世の中のニーズが多い分野であるため自分の将来に対する可能性も広がると感じました。

今年度から研究室が決まり、宇宙に関する卒業研究に取り組んでいますが、京大の「選択肢は広く、内容は深く学べる環境」は他にはないものではないかと思っています。

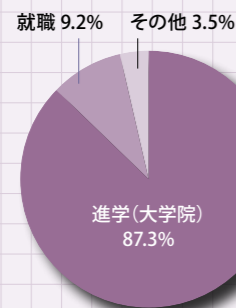
また勉強以外にもサークル活動やアルバイトにも打ち込むことができ、尊敬する先輩方も多くいて、日々刺激を受ける中で人間的にも成長できる環境が整っていると思います。ぜひこのような京大の自由な学風のもとで様々な物事に取り組み、学生生活を謳歌してください。



卒業後の進路

2012年度実績

本学部卒業生の5分の4以上(平成24年度約87%)の者が大学院修士課程へ進学しています。将来、大学の研究職に就くことを希望する者のほか、近年の科学技術の進展に伴い、企業においても、高度な研究能力を有する人材を求めているため、大学院に進学を希望する学生は増加しています。



工学部で取得可能な資格

在学中に所定の授業科目を修得することによって、測量士、建築士、電気主任技術者、無線従事者、危険物取扱者、ボイラー取扱主任者等の学科試験の全部または一部が免除されます。(また、卒業後に一定の実務期間を経ることを受験資格を得られるものもあります。)

Message

卒業生メッセージ

2012年 地球工学科卒業
工学研究科都市環境工学専攻
修士課程2回生
(都立西高等学校(東京都)出身)

五味 良太さん



本当の意味での自由

近年話題になっている環境問題に取り組みたいと思い、地球工学科を受験しました。1,2回生の間は専門もかじりながら、一般教養科目について広く学びましたが、3回生のコース分けで環境工学コースに配属されてからは、環境分野の科目について深く学ぶようになりました。現在は大学院で、水質汚染について生物学的な観点から研究をしています。学部時代の4年間を振り返って思うことは、京都大学では自分の好きなことを好きなだけできた、ということです。アルバイトを2つかけもちしていた時期もありましたし、3回生の時にはイギリスに短期留学もしました。自分の好きなことを好きなだけ追求できる、そんな環境が京都大学にはあります。

2009年 情報学科卒業
情報学研究科数理工学専攻
博士後期課程3回生
(札幌西高等学校(北海道)出身)

前田 一貴さん



自由を活かせる者よ集え

学部時代は情報学科の数理工学コースに所属し、応用数学を幅広く学びました。京都大学は「自由の学風」で知られていますが、実際に私は多種多様な授業をのびのびと受けさせていただき、教員に提示された小さなきっかけから教科書を超えるレベルまで自分の頭で自由に考えた経験が、現在の研究活動においても大いに役に立っていると感じています。大学は講義を受けて知識を得る場としてよりも、様々な人々と出会い刺激を受け、創造をする場としての機能が重要であると私は考えています。京都大学には教員・学生ともに個性溢れる人材が集い、また工学部で卒業研究を行うために配属される研究室には最先端の設備が揃っています。学生生活を送るうえでは理想的な環境であると言えるでしょう。皆さんもぜひ京都大学に来て、ここでしかできないことに挑戦してみてください。

2002年 物理工学科卒業
2005年 工学研究科機械物理学専攻
修士課程修了
トヨタ自動車(株) 東富士研究所FC開発部 勤務
(東大寺学園高校(奈良県)出身)

城森 慎司さん



知識のその先を研ぎ澄ませ

エンジニアを取り巻く環境は急速に変化しています。社会人になった今、重要なのは単なる工学知識ではなく、クリエイティブな発想や信念、粘り強さ、そして様々な人とのコミュニケーション力など、まさに総合力なのだと思っています。京大はそんな「器の大きな」エンジニアになるためにもってこいの場所です。私も入学当初はそのスケールの大きさに戸惑いしましたが、感性豊かな人間が集うキャンパスで思いっきり揉まれ、泣き、笑い、そして励まし合うことで成長できたと感じています。そしてその経験が今も糧になっています。京大は、恐れを知らずに体当たりしていく若者を大きく包み込んでくれる懐の深さと、先人が築いてきた偉大な英知を直球で注入してくれる厳しさを持ち合わせた、まさに皆さんにとってエキサイティングな場所となることでしょう。

学科紹介

工学部及び各学科の詳細については、「工学部紹介冊子2014」をご覧ください。また、「工学部紹介冊子2014」については、前頁の連絡先にお問い合わせください。

地球工学科

地球工学(Global Engineering)は、文明に必要な資源・エネルギーの技術体系、文明を支える基盤としてのインフラ(社会基盤施設)の技術体系、人間・自然環境の均衡を維持する技術体系の3つの部門と、それらの有機的な融合部門によって構成されています。地球工学が貢献すべき科学技術は多岐にわたりますが、「Think globally and act locally」の理念で、地球全体の合理的な開発・保全と人類の持続可能な発展を支える学問です。地球工学科では、上記の理念のもとで、様々な領域にまたがる科学技術を総合的に理解する見識を養うとともに、より専門的な科学技術に対しては、世界最先端の知識を習得してもらい、実社会における高度な研究や実務を遂行できる能力を養成することを目標として教育を行っています。

2011年度より、国際的技術者の養成を目的とし、全授業を英語で受講できる国際コースを開設しています。



[写真] 地盤の力学試験の様子

建築学科

人間の生活環境を構成し、安全で健康にして快適な生活を発展させるよりどころとなる建築は、多様な技術を総合して行われる創造的な努力によって作りだされます。建築は人間生活のあらゆる面に深く係わるヒューマンな技術です。このような特色から、教科課程も自然科学、人文・社会科学の広い分野にまたがり、卒業後の進路も、建築設計及び施工に従事する建築家、建築構造技術者及び設備環境技術者、行政的な指導・監督にあたる建築行政担当者、大学・研究機関で新しい技術を開発する研究者、各種開発事業に携わるプランナーなど実に多様です。したがって建築学科では自然科学だけでなく、人文・社会科学、さらには芸術にも深い関心をもつ学生もひとしく歓迎し、いずれもその才能を十分に伸ばせるような教育を行っています。



[写真] 設計演習講評会の様子

物理工学科

新時代に向けて、新しいシステム、材料、エネルギー源の開発、宇宙空間の利用など、数多くの工学的課題があります。これらに取り組む新技術を創造するためには、基礎的学問を十分に修得しておくことが必要です。物理工学科はそのための基礎的な教育・研究の場を提供します。同学科には機械システム学、材料科学、宇宙基礎工学、原子核工学、エネルギー応用工学の5つのコースがあり、一体となって教育を行っています。また、大学院では、工学研究科の機械理工学、マイクロエンジニアリング、航空宇宙工学、原子核工学、材料工学の各専攻、エネルギー科学研究科と情報学研究科に属するいくつかの専攻が、エネルギー理工学研究所、原子炉実験所、再生医科学研究所及び工学研究科附属量子理工学教育研究センターなどの協力のもとに、学際的広がりをもつ基礎的研究と幅広い専門教育を行っています。



[写真] クリーンルームにおける微細加工実験の様子

電気電子工学科

電気電子工学は、現代のあらゆる産業や社会生活の基盤として欠くことのできない科学技術を支えており、21世紀社会の発展のための多くの課題(たとえば高性能で安全な情報通信ネットワーク、ナノテクノロジーによる新しい機能をもった素子や装置、正確な診断技術や人に優しい医療技術、エネルギー生成と利用の高効率化など)において重要な役割を担っています。電気電子工学科では、幅広い領域にわたる総合的な知識と視野を持つ高度な専門性に加えて、高い独創性、倫理性をもった人材の育成をめざしています。そのため、カリキュラムも基礎的な共通科目を学習した後、各自の志望に応じて選択する高度な専門科目を通して、最先端の科学技術を理解し、さらなる発展を担うための基礎を広く身につけることができるよう組まれています。



[写真] 第2学年での実験風景

情報学科

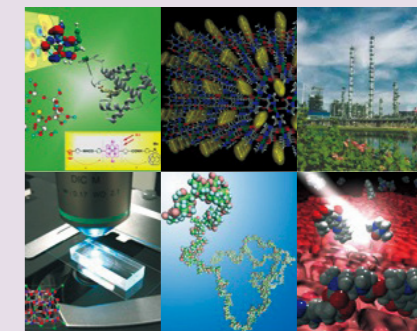
現在の高度情報化社会においては、対象とするシステムはますます巨大化・複雑化し、工学の様々な専門分野に関係する数理モデルの解析、または、複雑システムから得られた膨大な情報のかたまりであるビッグデータの分析が必要となります。このような情勢に対処するためには、システムの機能とそこに流れる「情報」の本質を究明し、それにもとづいて効率的なデザインを考えることが大切です。情報学科では数学や物理を基礎とした数理的思考で高度なシステムの実際問題を解決し、計算機のハードウェア、システム・ソフトウェア、情報システムを設計・活用できる人材を育てることを目標として、基礎から応用までの総合的な教育研究を行っています。なお、第1学年終了時に数理工学コースと計算機科学コースに分かれます。



[写真] 宿泊研修に参加した92名の情報学科1回生

工業化学科

化学は様々な物質を作り出す反応とそのプロセス、物質に機能を与える物性などを対象とする学問で、人々の豊かな生活を支えるとともに、最先端科学技術の発展に大きな貢献をしています。工業化学科では、化学に関連した幅広い分野で活躍できる人材の育成を目的として教育を行います。第1学年では化学・物理学・数学などの自然科学基礎科目と、語学や人文社会科目を学習します。第2学年前期から工業化学科としての専門基礎科目が始まります。第2学年後期より、創成化学コース、工業基礎化学コース、化学プロセス工学コースに別れて、専門教育を受けます。第4学年には各コースの研究室に所属して卒業研究を行い、研究者・技術者としての高度な知識を習得します。



[写真] 工業化学科での最先端化学の研究



農学部

Faculty of Agriculture

農学部のホームページ：
<http://www.kais.kyoto-u.ac.jp/>

入学についてのお問い合わせ：
農学部第一教務掛 tel. 075-753-6012



【写真】上：DNAの電気泳動／下左：ハクサイを喰うハスモンヨトウの幼虫／下中：ロボットコンバインによるイネ収穫／下右：MALDI/TOFMSを用いた生体高分子の解析

生命・食料・環境

農学部が望む学生像

農学は、生物学のみならず、化学、物理学、社会科学等の多様な基礎知識を必要とするいろいろな学問分野から成り立っています。21世紀の重要課題である生命・食料・環境に関わる様々な、かつ複合的な問題に立ち向かっていくためには、特定の専門に偏らない広い視野に立った総合的な取り組みが必要です。本学部は、それぞれの分野に共通する基礎的科目を系統的に教育するとともに、学科毎に異なる高度な専門教育を実施することにより、広い視野と高度な専門知識を持った多様で優れた人材を養成することを目的としています。したがって、各学科が対象とする様々な課題に果敢に挑戦する意欲を持ち、それぞれの専門教育に必要な学力を有する人材を求めています。

農学部への誘い

衣食住は人間の生活にとって必要不可欠な条件です。食物はもとより、私たちの身の回りの多くのものが農林水産業や畜産業に関わりを持っています。21世紀を迎えて、地球環境を守りながら、あまねく人類の健康で文化的な生活を保障するために、農学はますます重要な使命を担っています。

農学と聞くと古くさくて何となく現代的でないイメージを持つ方もし

れません。しかし、今や農学はバイオテクノロジーやロボット工学など最先端の技術を駆使しながら、品種改良や食品の機能の向上、農業生産の効率化をめざす学問です。より環境にやさしい農業をおこなうために、人工衛星などを利用したリモートセンシングやIT技術も積極的に取り入れられています。また、自然条件のみならず、地域の経済的・社会的・文化的諸条件を総合的に見わたしながら、今後人類がどのようにして持続的に発展を続けていくべきかを考えていくことも、農学の重要な課題です。今日の農学は、分子・細胞レベルから生態系・地域レベルまでを対象とした生命系の総合科学へと発展しているのです。

京都大学農学部は1923年、農林水産業の技術向上に貢献すべく、農作園芸学科(農学科)、林学科、農芸化学科、農林生物学科、農林工学科、農林経済学科の6学科が設置されてスタートしました。それ以来、さまざまな社会の変化とその要請に対応しながら、生物学のみならず、化学、物理学、社会科学などを基盤とし、「生命・食料・環境」をキーワードとする幅広い教育と研究を行う体制を作り上げてきました。創設以来、1万8千名に及ぶ卒業生を社会に送り出し、食料の生産・加工技術や環境の保全・管理技術の発展に大きく貢献しています。

現在わが国は食料の実に60%を輸入に依存しています。一方、地球上では多くの人々が飢えに苦しみ死に瀕しています。食料は人類が快適で平和に暮らしていく上で欠かすことのできないものです。しかし、地球温暖化や砂漠化などの環境問題が深刻になりつつある中で、これ

からの人間の活動にはなおいっそうの自然との調和が求められています。食料の生産も例外ではありません。できるだけ環境に負担をかけない方法や技術を見つけていかなければならないのです。

この大きな課題に、皆さんもぜひチャレンジしてください。

農学部の教育

●専門知識の習得と広い視野の育成：6学科を準備

農学部は、農学とそれに関連する学識とともに高い倫理性を身につけた社会人を育てることを目的としています。さらにそのような人材に(1)人類が直面する課題に対して、幅広い視野から科学的解決法を構想する能力(2)農林水産業及び食品・生命科学関連産業の意義と重要性を理解し、その発展に寄与する能力(3)生命・食料・環境に関わる世界水準の自然科学・社会科学研究を理解する能力を備えさせることをめざしています。

この目的を実現するため、農学部では、資源生物科学科、応用生命科学科、地域環境工学科、食料・環境経済学科、森林科学科、食品生物科学科の6学科を設置し、本学の最大の特徴である自由の学風を尊重しながら、ものごとを広い視野から総合的に判断することができる人材の育成に取り組んでいます。

人間社会は、地球上の動植物や微生物などさまざまな生物と持続的に共存しながらそれらを利用して利用しています。生物を資源として利用しようとする場合、生物が生命を維持している仕組みや、食物連鎖や物質循環をとおしてどのような生態系を形成しているのかについての広く深い理解が欠かせません。また人間の活動をより自然と調和のとれたものに改善していくためには、工学的な技術や社会科学の手法を用いた分析も必要になります。それぞれの学科で求められる専門知識の基礎をしっかりと身につけながら、関連する分野にも積極的に興味をもって視野を広げていくことが求められます。

●どのように学びはじめるのか：第1年次

農学部では入学時に学ぶ学科が決まり、それぞれの学科で4年間の

一貫教育がおこなわれます。農学では生物学、化学、物理学などの自然科学に加えて、社会科学の手法も用いられますが、各学科のカリキュラム(授業計画)にはこれらの教養科目と専門科目が、クサビ状に組み合わせられて構成されています。これら学業とクラブやサークル活動などをどのように組み合わせるかは、それぞれの新生入生がまず頭を悩ます難問です。そのような時にも相談できる教員を、クラス担任制度などで農学部はそなえています。

第1学年で大切なことは、学科にとらわれない幅広い学識を養うことです。そこで、1年間は全学共通科目を重点的に学びます。例えば、自然科学、人文・社会科学、語学などの基礎教養科目を履修します。保健体育科目などへの参加も出来るし、留学生とのふれあひも多い国際教養科目を加えるなどして自分のカリキュラムを作ります。全学共通科目の履修は、第2学年(特に夏までの前期期間)にかけても続きますが、参考になる書籍や論文などは吉田キャンパスの附属図書館や電子ジャーナルで入手でき、また総合博物館も貴重な資料を提供してくれます。

●どのように学びを高めるのか：第2・3年次

第2学年の後期(秋から冬)になると、専門基礎科目の割合も増えていよいよ第3学年からの本格的な専門教育に備えます。農学部の専門科目では講義に加え、実験、実習、ゼミナールが重視され各学科において必要とされる実験技術・手法に関する密度の高い教育が実施されます。これらのスタートが第2学年から始まるのです。農学部図書室や附属農場、附属牧場、演習林、舞鶴水産実験所など関連教育研究施設との繋がりも強くなってきます。農学部は京都大学の中でも派遣留学生(京都大学から外国へ留学する学生)の数が多く、国際交流活動の最も盛んな学部の1つです。将来への抱負と希望をもって派遣留学に挑戦する学生が多くいます。

第3学年は専門科目の受講で終始します。研究者への第1歩としても重要なプロセスですが、同時に研究分野(研究室)への分属という大きな選択をする時期です。将来の方向も考えて分野訪問などで情報を収集しながら体系だった講義の選択が求められます。農学部の各学科では、それぞれに工夫をこらしたシステムで各分野への分属を決定します。

Message

在学生メッセージ



自分が最も輝ける場所

応用生命科学科4回生
(明和高等学校(愛知県)出身)

長谷川 裕以さん

皆さん、やりたいことは決まっていますか？
明確にはないという方がほとんどでしょう。しかし、焦る必要はありません。やりたいことを見つける機会は、京都大学にいくらでも転がっています。そして応用生命科学科は、そのような機会に特に恵まれた科なのです。
専門科目では、基礎的なことに加え、最先端の技術や未解明の事柄まで教わることができます。学生実験やソフトボール大会を通して、同回生や先輩・後輩との繋がりを深められますし、研究室見学や企業見学、更には進路の相談から気軽なお喋りまで先生方と交流できる場も設けられています。研究室配属後は、一層深く専攻分野を学べます。
求めれば求めるだけ得られる、やりたいことをやりたいだけできる、そんな環境がここにあります。人生の中で貴重な数年間を、ぜひこの京都大学で輝かせましょう。



「知と自由への誘い」その本当の意味

食料・環境経済学科4回生
(土浦第一高等学校(茨城県)出身)

上村 直也さん

古都京都への憧れ、そして自由の学風に惹かれ関東の片田舎から出てきました。農学部は個性的でユニークな仲間や教授が多く、知的好奇心を刺激される日々を送っています。実習では近隣の農家訪問から北海道、東南アジア、果てはアフリカに調査に行く機会もあります。「自由」というのは響きが良いですが、裏を返せば全て自己責任ということ。自分で動かなければ何も起きません。京大では自分の頭で考え動くことが求められます。最近は大から留学や研修といった手段で海外に出られる機会も増えてきました。私も豪メルボルン大学と燗ウィーン大学にそれぞれ留学しています。また旅が趣味で40カ国ほどに足を運びました。自分で道を拓いていこうという方、ぜひ京大の門を叩いてください。自ら求め動けば応えてくれる人や環境が、ここにはあります。



●どのように学びを結ぶのか：第4年次

ほとんどの農学部生は、第4学年で研究分野に分かれて課題研究(卒業研究)に1年間取り組み、卒業論文を仕上げます。教員の指導や助言を受けながら、大学院生とともに未知の分野の研究に取り組む最初のステップです。従って、この1年間は自身の研究、研究分野のゼミナール、そして進学希望者は大学院入学試験の受験準備に没頭する生活となります。以上により所定の単位を修得した学生は、学士(農学)の学位を取得して卒業することになります。さらに研究を深めようとする多くの学生は大学院へ進学します。

●どこで学ぶのか：自然に抱かれて

農学部の教育の大部分は、京都大学吉田キャンパス北部構内の農学部総合館で行われます。一部は、総合館の北に位置する農学・生命科学棟や、宇治キャンパス(京都府宇治市)、農学部附属の農場(大阪府高槻市;近い将来に京都府木津川市に移転の予定です)・牧場(京都府京丹波町)でも行われます。いずれの施設も学習環境は整備され、自然環境や文化的景観などにも囲まれた立地で、勉学するものに励ましと優しさを与えてくれます。

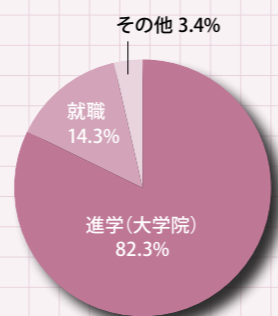


[写真] 左：実機を用いた授業風景/右：3回生の学生実験風景

卒業後の進路

2012年度実績

卒業生の8割以上が大学院に進学しています。就職先については、公務員、公的研究機関の研究員、化学・食品等の製造業、バイオテクノロジー関係の産業、あるいは商社・金融・保険・コンピュータ関係など、幅広い分野で活躍しています。



就職先の例

農林水産省/京都府/大阪ガス(株)/ハウス食品(株)/カゴメ(株)/エーザイ(株)/ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス(株)/伊藤忠商事(株)/三菱重工業(株)/(株)三井住友銀行/AIU 保険(株)/(株)ウィルゲート

農学部で取得可能な資格

農学部では、教育職員免許状の取得を目的とした教職課程をはじめ、食品衛生管理者及び食品衛生監視員の資格取得、測量士及び測量士補の資格取得の教育課程、樹木医補の資格認定のための教育課程を設けているなど、専門職に必要な資格や受験資格が取得できます。

Message

卒業生メッセージ

2011年 資源生物科学科卒業
2013年 農学研究科農学専攻
修士課程修了
奈良県庁 勤務
(智辯学園高等学校(奈良県)出身)



櫻井 宏樹さん

『農学という「実学」を学んで』

私が農学部を志すようになったのは、幼い頃から植物に興味を持っていたことと、農学が食糧生産という実際の問題に直結する学問だと考えたからでした。大学時代の授業では植物だけでなく様々な生物に関する幅広い知識が得られ、生物に対する視野を広げることができました。卒業研究では作物の品種改良に関する研究を行い、実験だけでなく実際に植物を栽培するという貴重な体験をさせて頂きました。現在私は故郷から農業を見直したいということで奈良県に入り、農業普及活動を行っています。農学部で学んだ農学の知識と実際に現場を見て問題を解決しようとする姿勢は現在の仕事で非常に役立っており、改めて農学が実学であることが肌で実感しています。皆さんも是非、机上の空論に終始しない農学という学問の扉を叩いてみてください。

2006年 森林科学科卒業
2008年 農学研究科地域環境科学専攻
修士課程修了
株式会社ミツカン 勤務
(県立千葉高等学校(千葉県)出身)



齋藤 亮太さん

『大学時代に学んだ大切なこと』

私は、生物や自然、環境といった分野に興味があった程度で、正直、何か高い志があつて京大農学部に入ったわけではありませんでした。しかし、農学部の授業は非常に刺激的で、私がいた森林科学科では、山に入ってひたすら木や草に触れてみたり、植物の持つ特性を分子レベルで考えてみたりと、自ら学ぶ意欲をかきたててくれるような面白い経験ばかりでした。「なぜ」そうなるのか、「どうして」こうなるのか、その繰り返しにより、本質を追究すること。私が大学時代に学んだことであり、今の仕事においても通じる大切なことです。そのような姿勢で好きな研究に没頭できる風土も、研究に対してとことん侃諤論議できる多くの志高い学友がいることも、京大の魅力だと思います。是非、京大でたくさんの方に挑戦し、充実した学生生活を楽しんでください。

学科紹介

資源生物科学科

資源生物科学科は、陸地や海洋に生育・生息する資源生物の生産性および品質の向上を、環境との調和を図りながら追求することを目標に、研究・教育を行っています。また、このような資源生物を、外敵や病気から守る技術を開発したり、生育・生息に好ましい環境を持続的に保つ策を探るとともに、有用物質・遺伝子の有効利用やこれまで生産性が見込めなかった劣悪な環境に適した、新しい品種の創出を目指すなど、資源生物を対象に基礎から応用に至るまでの研究を多面的に行っています。

作物学、育種学、蔬菜花卉園芸学、果樹園芸学、栽培システム学、植物生産管理学、植物遺伝学、植物生理学、栽培植物起源学、品質評価学、品質設計開発学、動物遺伝育種学、生殖生物学、動物栄養学、生体機構学、畜産資源学、生物資源情報学、海洋生物環境学、海洋生物増殖学、海洋分子微生物学、海洋環境微生物学、海洋生物生産利用学、海洋生物機能学、雑草学、熱帯農業生態学、土壌学、植物病理学、昆虫生態学、昆虫生理学、微生物環境制御学、生態情報開発学

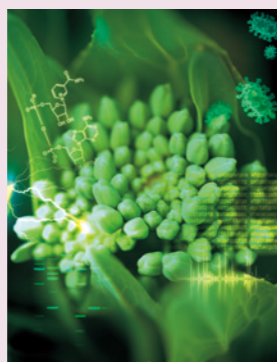


[写真] イネの開花時期が熟期を決める

応用生命科学科

生物資源の生産・加工・利用・保全の諸側面に含まれる化学的・生物学的原理の探求とその応用に関する様々な分野の教育・研究に携わっています。すなわち、微生物、植物、動物など、生物の生命現象や生命機能を化学、生物学、生化学、物理学、生理学、分子生物学などを基盤として深く探求・理解する(バイオサイエンス)、一方その成果を農・医薬、食品、化粧品を初めとする生活関連有用物質の高度な生産や利用に適用する(バイオテクノロジー)ための基礎教育と先端的研究を行っています。

細胞生化学、生体高分子化学、生物調節化学、化学生態学、植物栄養学、発酵生理及び醸造学、制御発酵学、生体機能化学、生物機能制御化学、エネルギー変換細胞学、応用構造生物学、分子細胞育種学、植物分子生物学



[写真] 化学の視点から生命現象を解き明かす

地域環境工学科

地域環境工学科は環境と調和した効率的な食料生産、地球環境も含めた環境・エネルギー問題の解決、環境共生型農村社会の創造をめざし、工学・技術学をツールに研究・教育を行います。水循環の制御による貴重な水資源の合理的な利用、アセットマネジメント(農業水利施設の効率的な維持管理と更新)による生産環境の充実、生態系と調和した大気・水・土壌環境の実現、農村計画と住民主体による地域づくり、持続的食料生産のためのエネルギーの変換、利用、最小の入力で最大の効率を得る植物工場や精密農業、そのためのロボット化および農畜水産物の生物センシングなど、様々な研究を通して豊かな21世紀社会を構築します。

施設機能工学、水資源利用工学、水環境工学、農村計画学、農業システム工学、フィールドロボティクス、生物センシング工学



[写真] 植物工場

食料・環境経済学科

食料・環境経済学科では、私達の生活に最も関連の深い食料問題と環境問題の研究と教育に携わっています。この問題を国内だけでなく世界的な次元で捉え、途上国の貧困問題、人口問題、技術開発普及、農林水産物の貿易問題あるいは食品安全性、さらに農山漁村の社会経済生活について研究しています。その際、有限な地球環境資源の保全と両立する持続可能な資源循環型社会のあり方について学際的・総合的な研究・教育を行っています。

農業食料組織経営学、経営情報会計学、地域環境経済学、食料環境政策学、森林経済政策学、国際農村発展論、比較農史学、農学原論



[写真] 中国陝西省の退耕還林事業の現場

森林科学科

森林は、樹木をはじめとする動植物や菌類からなる生態系を形成しており、生活に必要な木材や紙などの木質資源を供給する一方、災害を防ぎ、気候を維持するなど環境保全機能を有しています。森林科学科では、自然を保護し豊かな社会を作るため、森林とそのバイオマス資源を研究対象として、生態系、生物多様性、管理と生産、緑地工学、地球環境化学、材料工学、有機化学、分子生物学、細胞生物学、バイオマスエネルギー、社会科学的アプローチなど、学生一人ひとりの多様な興味に合わせて、オリジナルティ豊かな教育を受けることができます。

森林・人間関係学、熱帯林環境学、森林利用学、森林生物学、環境デザイン学、山地保全学、生物材料設計学、林産加工学、生物繊維学、樹木細胞学、複合材料化学、生物材料化学、森林生態学、森林水文学、森林生化学、森林育成学、森林情報学、エネルギーエコシステム学、生物圏情報学



[写真] 環境を守り、森の恵みと生き物を科学する

食品生物科学科

食品生物科学科では、食品を構成する物質の構造と機能、新しい食品機能を持つ物質や遺伝子の探索、疾病を予防する機能や栄養性・安全性などに優れた食品の創成と効率的な生産、並びに地球規模での食環境など、食料全般に関する諸問題を動物、植物、微生物を対象に研究し、教育を行います。これにより、食料科学の学術の進展のみならず、健康の維持・増進や食糧不足の改善など、多様な社会的問題の解決に寄与し、豊かな食生活の確立に貢献することを目指しています。

栄養化学、生体情報応答学、生命有機化学、農産製造学、酵素化学、食品分子機能学、食品生理機能学、生物機能変換学、食環境学



[写真] 健康増進を目指す未来型「パスタ」を創る

Voices

京大生に聞いてみよう！

Theme:1

京都大学の魅力って？

京大生たちに「京都大学の魅力」を聞いてみました。実際に生活する彼らならではの生の声を聞いてみて下さい。

Voice 01



清水 沙紀 / Saki Shimizu
文学部 3 回生
(小松高等学校(石川県)出身)

京都大学は、教員も学生も他の場所では出逢えない人達ばかり。まさに未知との遭遇です。いろんな刺激を受けて充実した学生生活を送ってください。

Voice 08



サラマリー・クレアピラード / Sarah Marie Claire Villard
文学部(交換留学生)
(フランス出身)

いろいろな人との交流で、新しい自分を発見できたというサラさん。更なる交流も楽しみにです。

Voice 09



村上 遼 / Ryo Murakami
理学部 4 回生
(城北埼玉高等学校(埼玉県)出身)

文豪のような出で立ちで登場した村上さん。哲学的な回答をいただきました。でも理学部です。

Voice 10



中澤 紀慧 / Kie Nakazawa

医学部人間健康科学科 3 回生
(南砺総合高等学校福野高等学校※現南砺福野高等学校(富山県)出身)

最先端の研究環境と個性あふれる人達、そこから導き出される可能性は無限大です。

Voice 02



森岡 優季子 / Yukiko Morioka
教育学部 3 回生
(若狭高等学校(福井県)出身)

やりたい！という強い気持ちがあれば、様々な機会が自ずとやってきます。

Voice 03



吉見 悠河 / Yuuga Yoshimi
工学部 3 回生
(福知山成美高等学校(京都府)出身)

「自由の学風」と言われる京都大学。あなたの「自由」を探しに来てください。

Voice 04



チェ ガヒ / Choi Gahee
日本語・日本文化研修留学生
(大韓民国出身)

京都大学のシンボルと言えばこの2つ。学生達の憩いの場にもなっています。

Voice 11



小野 太陽 / Taiyo Ono
工学部 3 回生
(山口高等学校(山口県)出身)

遊びと学びとを両方活かせるのが京大です。よく遊び、よく学びましょう。

Voice 12



伊藤 延也 / Nobuya Ito
工学部 2 回生
(旭丘高等学校(愛知県)出身)

やりたい事を好きにだけ！それを寛容する土壌が京都大学にはあります。やる時はとことんやる。そうすることで新しい世界が拓けます。

Voice 05



マバヤ ゴーデン / Mabaya Goden
農学研究科研究生
(ジンバブエ出身)

古くからの文化や風景を守る京都は、世界遺産の街。その魅力は万国共通です。

Voice 06



溝渕 克仁 / Katsuhito Mizobuchi
総合人間学部 2 回生
(土佐高等学校(高知県)出身)

刺激的な仲間や環境を通して、新しい自分を見つけてください。

Voice 07



水谷 汐里 / Shiori Mizutani
工学部 1 回生
(愛知淑徳高等学校(愛知県)出身)

いろんなタイプの「スゴイ人」が集まる京都大学。尊敬できる人達との出会いは刺激的です。

Voice 13



ティムデリース・メイヤー / Tim de Riese-Meyer
経済学部(交換留学生)
(ドイツ出身)

留学生との交流の機会も多い京都大学。KIZUNAという交流スペースもあります。

Voice 14



山本 彩加 / Ayaka Yamamoto
薬学部 2 回生
(広島女学院高等学校(広島県)出身)

大学生活を楽しむために必要な仲間や環境がそろっています。

Voice 15



堀内 幸之助 / Kounosuke Horiuchi
文学部 1 回生
(秋田高等学校(秋田県)出身)

充実した環境の中で興味のある研究や活動とことん追求できます。

Voices

京大生に聞いてみよう！

Theme:2

受験生へのメッセージ

現役京大生が実際に経験してきた受験への秘訣を聞いてみました。役立つ勉強法が見つかるかも！？



金村 尚美 / Naomi Kanamura
法学部4回生
(基町高等学校(広島県)出身)

受験すると決めたからには、自分を信じて強い気持ちを持ち続けましょう。



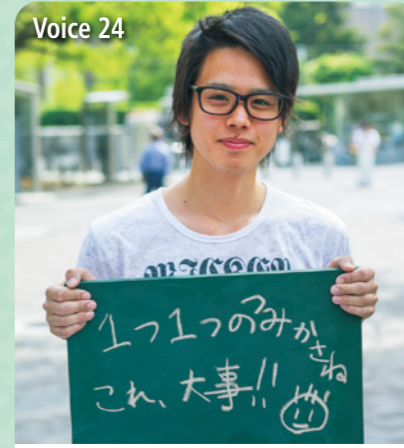
柴垣 貴史 / Takafumi Shibagaki
経済学部2回生
(明和高等学校(愛知県)出身)

だらだらやるより集中して効率アップ！自分なりの勉強法を見つけてください。



藤原 咲樹 / Saki Fujiwara
法学部1回生
(岡山朝日高等学校(岡山県)出身)

受験生は健康第一。無理は禁物です。風邪やインフルエンザにもご注意ください。



野村 秋文 / Akifumi Nomura
工学部2回生
(下関西高等学校(山口県)出身)

小さなことからコツコツと。着実に実力をつけていきましょう。



近藤 七海 / Natsumi Kondo
総合人間学部2回生
(頌栄女子学院高等学校(東京都)出身)

規則正しい生活で自分のペースをしっかり保ちましょう。



吉見 そよ香 / Soyoka Yoshimi
医学部人間健康科学科1回生
(福知山成美高等学校(京都府)出身)

そう信じて、日々のベストを尽くしていれば、きっと未来は拓けてきます。



王星 / Wang Xing
経済学部1回生
(杭州第二高校(中華人民共和国)出身)

勉強に疲れたらこの大学案内冊子を読んで休憩しましょう。



新井 優希 / Yuuki Arai
文学部2回生
(大阪教育大学附属高等学校池田校舎(大阪府)出身)

結果が出ないときこそ燃えるときです。諦めの悪さで乗り越えましょう。



山本 弥佳 / Mika Yamamoto
教育学部4回生
(藤島高等学校(福井県)出身)

支えてくれる人達への感謝の気持ちは忘れてはいけませんよね。



末定 晃美 / Akimi Suesada
経済学部3回生
(広島学院高等学校(広島県)出身)

自分を信じて頑張り続けられれば、きっと結果はついてきます。



中原 慶子 / Keiko Nakahara
工学部2回生
(長崎西高等学校(長崎県)出身)

自分との戦いを経て臨む試験本番。それまでの努力があなたを支えてくれます。



小村 健人 / Kento Komura
農学部2回生
(城ノ内高等学校(徳島県)出身)

自分のペースを大切に、試験本番まで走り切ってください。



寺柿 万理子 / Mariko Teragaki
医学部医学科3回生
(四天王寺高等学校(大阪府)出身)

努力をしても報われないことはあります。ただ合格した京大生は、必ず努力をしています。



山路 栞 / Shiori Yamaji
農学部3回生
(新潟高等学校(新潟県)出身)

初心忘るべからずです。あの頃のピュアな気持ちを大切にしましょう。



西村 俊祐 / Shunsuke Nishimura
薬学部1回生
(丸亀高等学校(香川県)出身)

過去のことでもよくよ悩むより、試験本番やその先の未来のことを考えて、新たな気持ちで頑張りましょう。